

「館林市地域福祉計画」及び「館林市障がい者計画」
に関するアンケート調査報告書

令和4年2月

館林市

目次

第1部 調査概要	1
第2部 調査結果	5
I. あなたご自身について	5
II. 「福祉」について	8
III. 「近所・地域との関わり」について	12
IV. 障がい者施策などについて	24
V. 地域活動やボランティア活動などについて	30
VI. 福祉サービスなどについて	38
VII. 成年後見制度について	48
VIII. 生活困窮者の自立支援について	53
IX. 災害について	55
第3部 考察	63
第4部 資料編	67
1. 自由回答	67
2. 調査票	112

第 1 部 調査概要

第1部 調査概要

1. 調査の目的

令和4年度に新たな「第四次館林市地域福祉計画」及び「第四次館林市障がい者計画」を策定するため、市民の福祉に関する意識や地域活動やボランティア活動への参加意識を聞くとともに、障がいのある方の施策についての意見も伺い、次期計画の基礎資料とするために調査を実施しました。

2. 実施概要及び回収結果

■調査対象者

区分	調査対象者数	調査対象
18歳以上の男女	2,000人	無作為抽出

■実施概要

項目	詳細
調査対象地域	館林市全域
調査形式	アンケート調査
配布・回収方法	郵送配布・回収, インターネット回答
調査時期	令和3年8月18日～9月9日

■回収結果

調査票配布数	回収数	有効回収数	有効回答率
2,000	1,114	1,112	55.6%

3. 分析・表示について

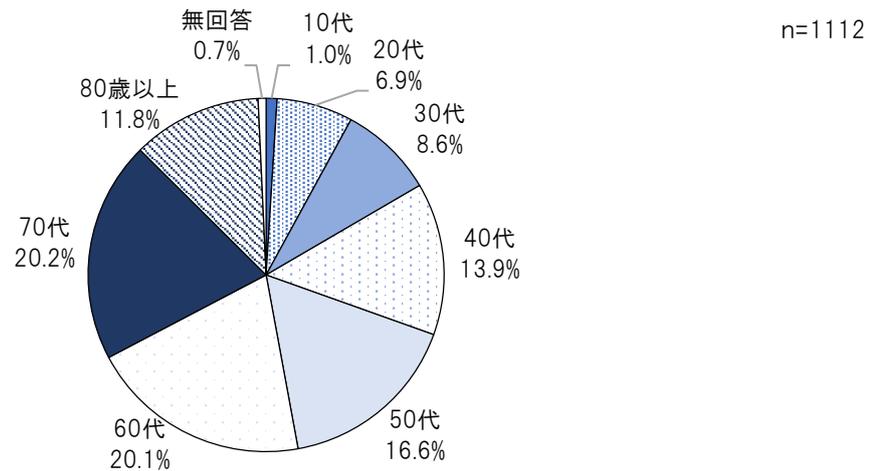
1. 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。このため比率が0.05未満の場合には0.0と表記しています。また、合計が100.0%とならないこともあります。
2. 複数回答の項目については、原則として、その項目に対しての有効回答者の数を基数とし、比率算出を行っています。このため、比率計が100%を超えることがあります。
3. グラフ中の(n=〇〇)という表記は、その項目の有効回答者数で、比率算出の基礎となります。
4. クロス集計については、集計の都合上、無回答者を除いた集計となっている部分があるため、単純集計の結果と合致しない場合があります。

第 2 部 調査結果

第2部 調査結果

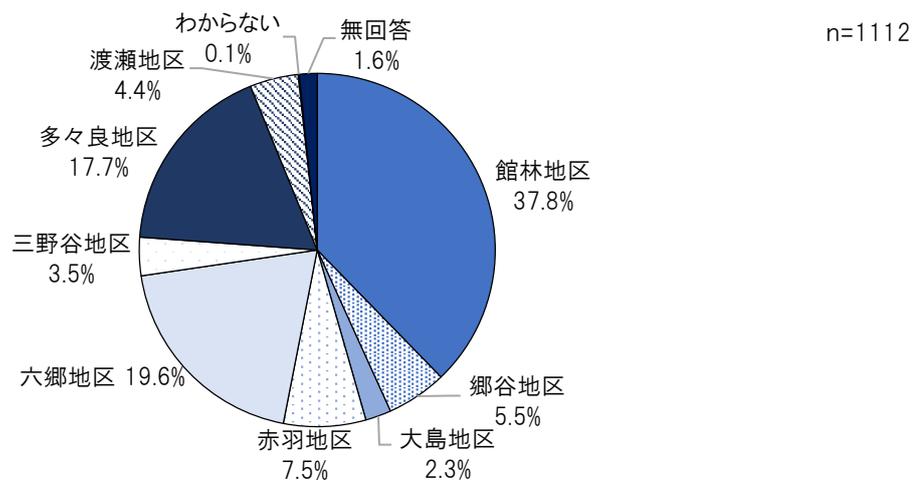
I. あなたご自身について

問1 あなたの年代はどれですか。(ひとつだけ○)



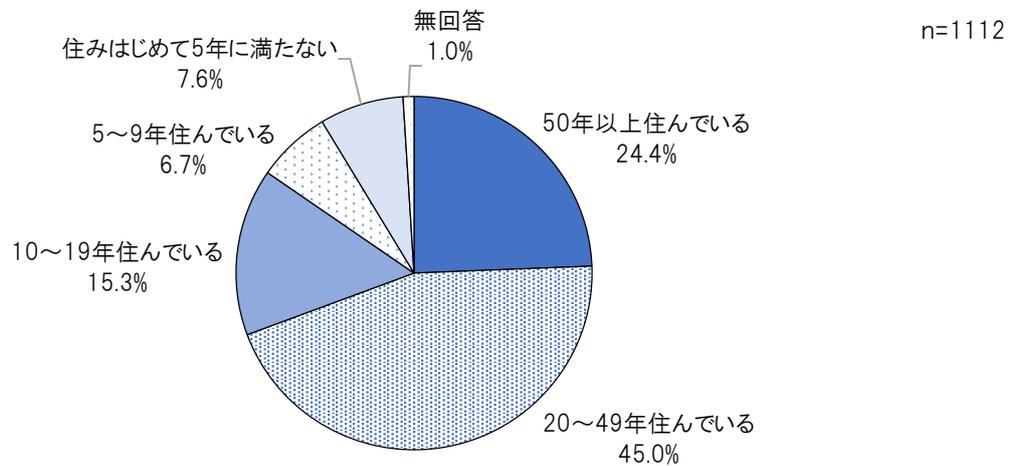
回答者の年齢は、70代が20.2%で最も多く、次いで60代が20.1%、50代が16.6%などとなっています。

問2 あなたは、現在どの地区にお住まいですか。(ひとつだけ○)



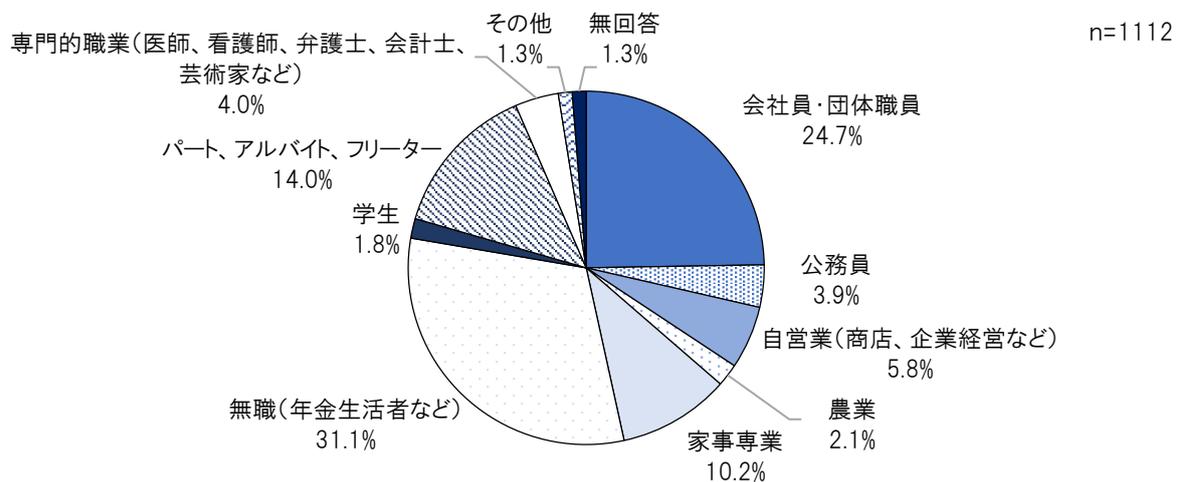
回答者が住んでいる地区は、「館林地区」が37.8%で最も多く、次いで「六郷地区」が19.6%、「多々良地区」が17.7%などとなっています。

問3 あなたは、現在の地区（問2で回答された地区）に何年住んでいますか。（ひとつだけ○）



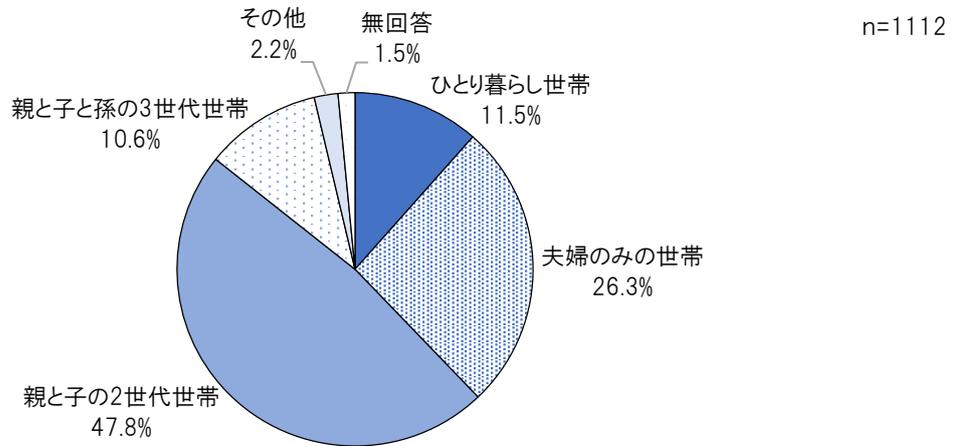
回答者の居住年数は、「20～49年住んでいる」が45.0%で最も多く、次いで「50年以上住んでいる」が24.4%、「10～19年住んでいる」が15.3%などとなっており、8割強の方が10年以上現在の地区に住んでいる状況となっています。

問4 あなたの主な職業は何ですか。（ひとつだけ○）



回答者の主な職業は、「無職（年金生活者など）」が31.1%で最も多く、次いで「会社員・団体職員」が24.7%、「パート、アルバイト、フリーター」が14.0%などとなっています。

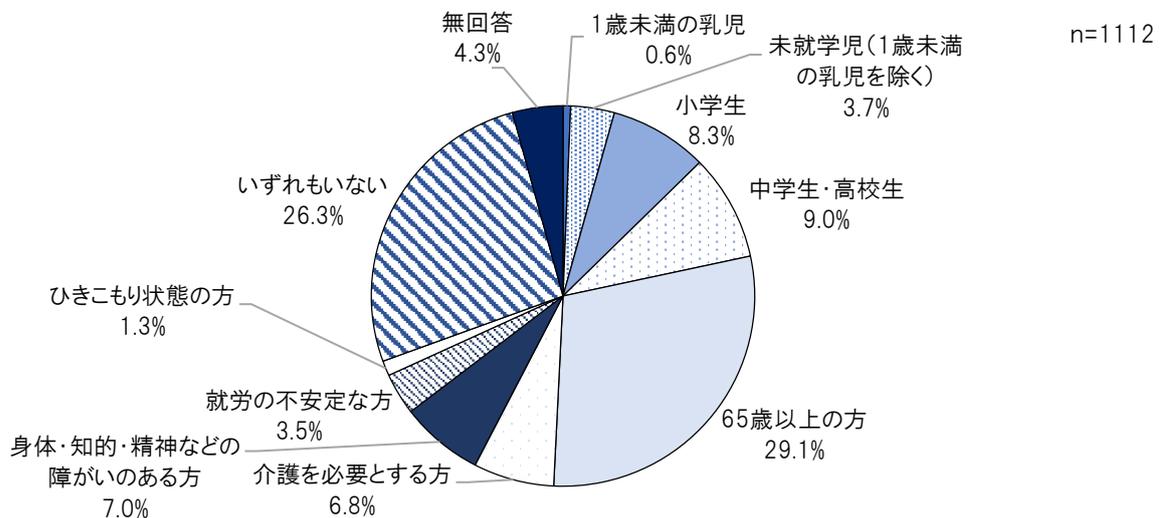
問5 あなたの家族構成はどのようになっていますか。(ひとつだけ○)



回答者の家族構成は、「親と子の2世代世帯」が47.8%で最も多く、次いで「夫婦のみの世帯」が26.3%、「ひとり暮らし世帯」が11.5%などとなっています。

問6 あなた、もしくは同居の家族に次の方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

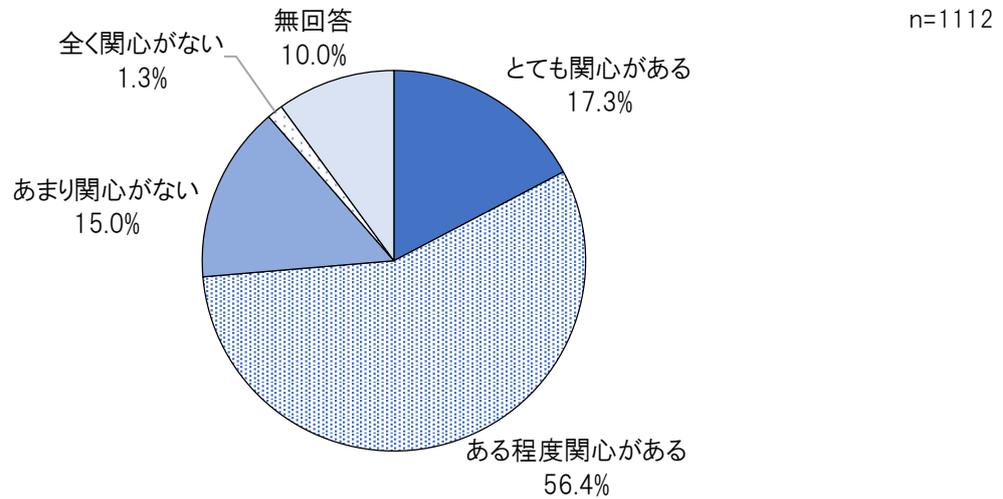
(1歳未満の乳児、未就学児(1歳未満の乳児を除く)、小学生、中学生・高校生、65歳以上の方、介護を必要とする方、身体・知的・精神などの障がいのある方、就労の不安定な方、ひきこもり状態の方)



回答者の同居家族では、「65歳以上の方」がいる割合が29.1%で最も高く、次いで「いずれもない」が26.3%、「中学生・高校生」が9.0%などとなっています。

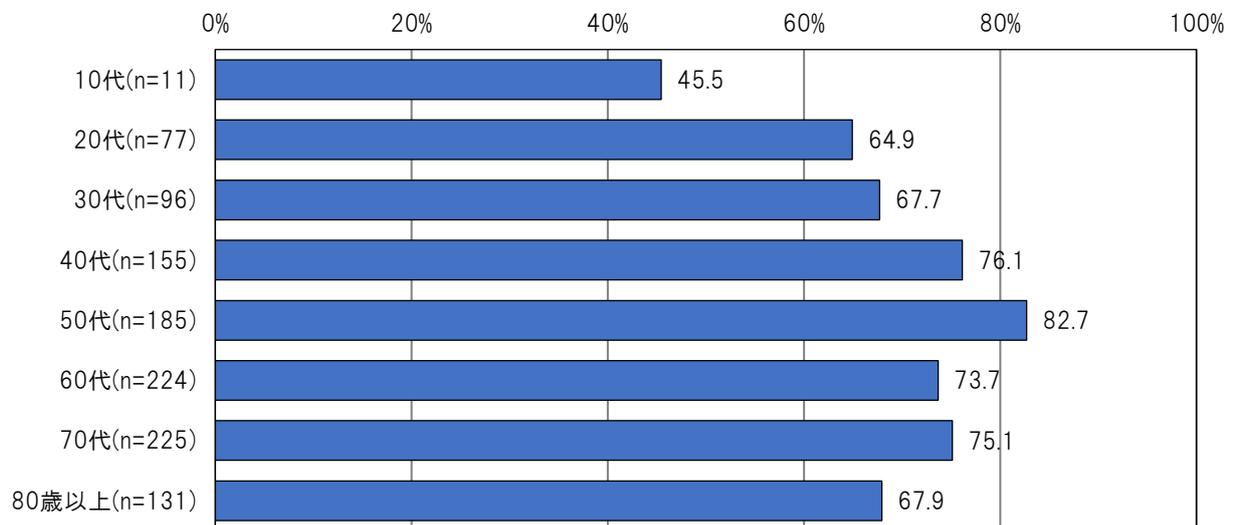
Ⅱ. 「福祉」について

問7-(1) あなたは「福祉」に関心をおもちですか。(ひとつだけ○)



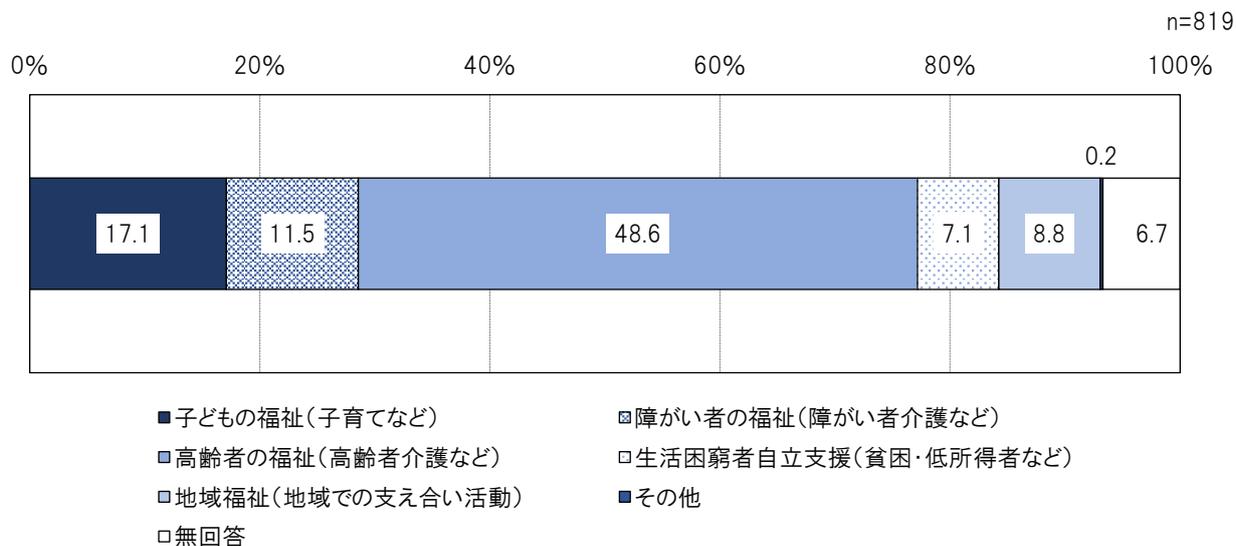
福祉に「関心がある（とても+ある程度）」の割合は、73.7%となっています。

【「福祉」に関心がある（年代別）】



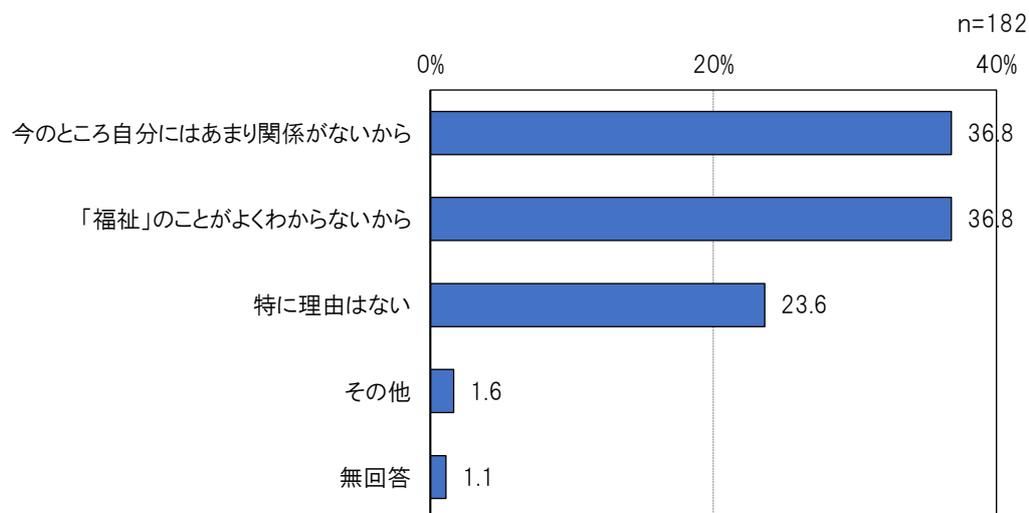
福祉に関心がある人を年代別に見ると、50代が82.7%で最も多く、次いで40代が76.1、70代が75.1%などとなっています。

問7ー(2) 特にどの福祉の分野に関心をおもちですか。(ひとつだけ○)



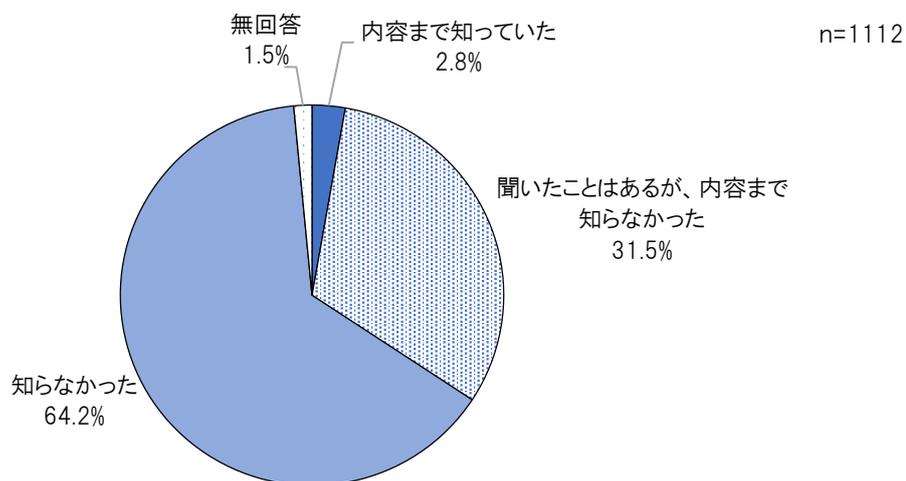
回答者が関心を持っている分野は、「高齢者の福祉（高齢者介護など）」が48.6%で最も多く、次いで「子どもの福祉（子育てなど）」が17.1%、「障がい者の福祉（障がい者介護など）」が11.5%などとなっています。

問7-(3) 「福祉」に関心がない理由は何ですか。(ひとつだけ〇)



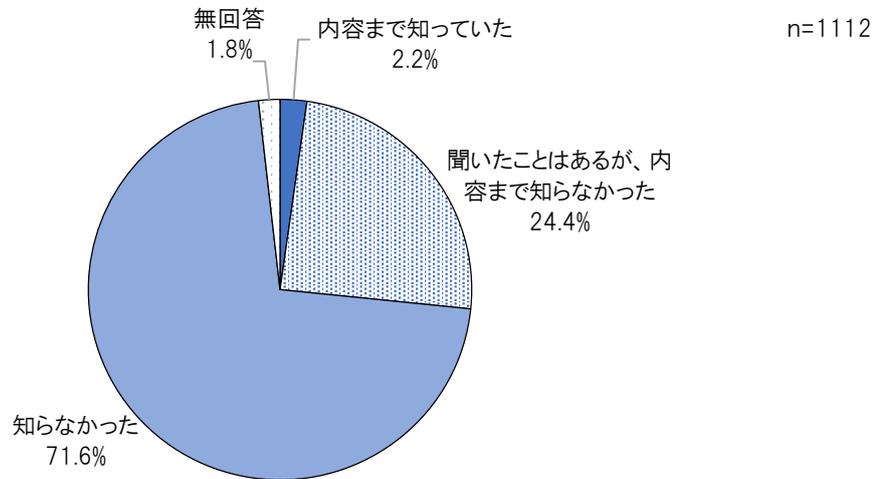
福祉に「関心がない（あまり+全く）」と回答した理由では、「今のところ自分にはあまり関係がないから」と「福祉」のことがよくわからないから」がともに36.8%で最も高くなっています。

【問8 あなたはこの調査をみる前から「地域福祉計画」を知っていましたか。(ひとつだけ〇)



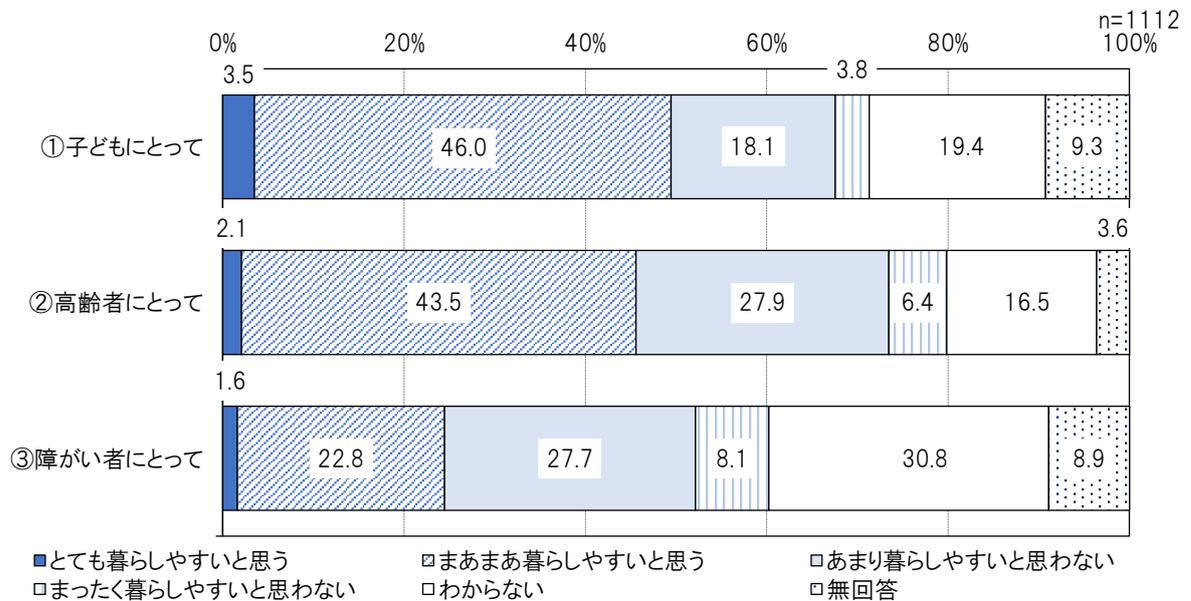
「地域福祉計画」を知っていたかについて、「内容まで知っていた」が2.8%、「知らなかった」が64.2%となっています。

問9 あなたはこの調査をみる前から「障がい者計画」を知っていましたか。(ひとつだけ○)



「障がい者計画」を知っていたかについて、「内容まで知っていた」が2.2%、「知らなかった」が71.6%となっています。

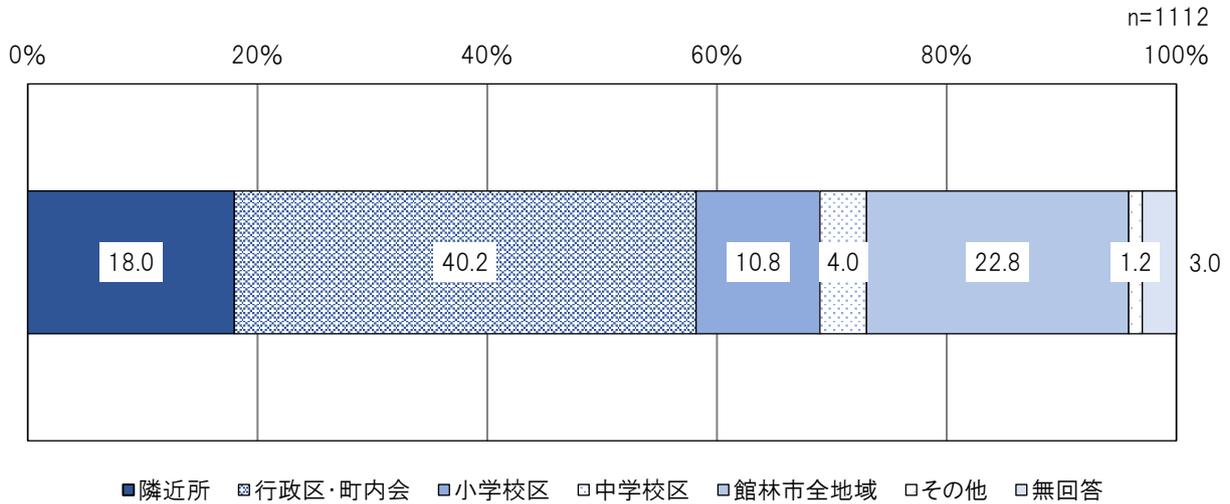
問10 館林市は子どもや高齢者、障がいのある方にとって暮らしやすいまちだと思いますか。(それぞれひとつだけ○)



暮らしやすさについて「子どもにとって」では、「暮らしやすい（とても+まあまあ）」が49.5%、「高齢者にとって」では45.6%、「障がい者にとって」では24.4%となっています。「障がい者にとって」の項目では、「わからない」が30.8%で最も多くなっています。

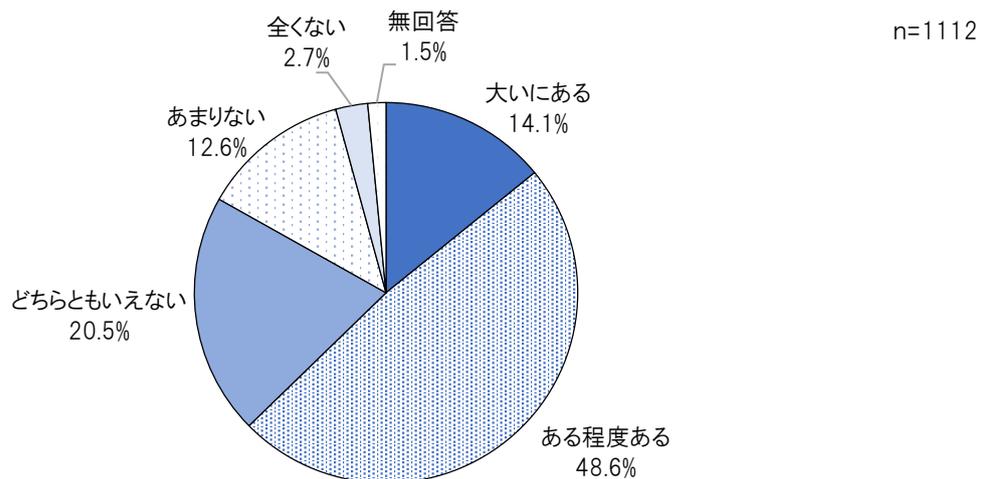
Ⅲ. 「近所・地域との関わり」について

問 1 1 あなたが考える「地域」の範囲をお答えください。(ひとつだけ○)



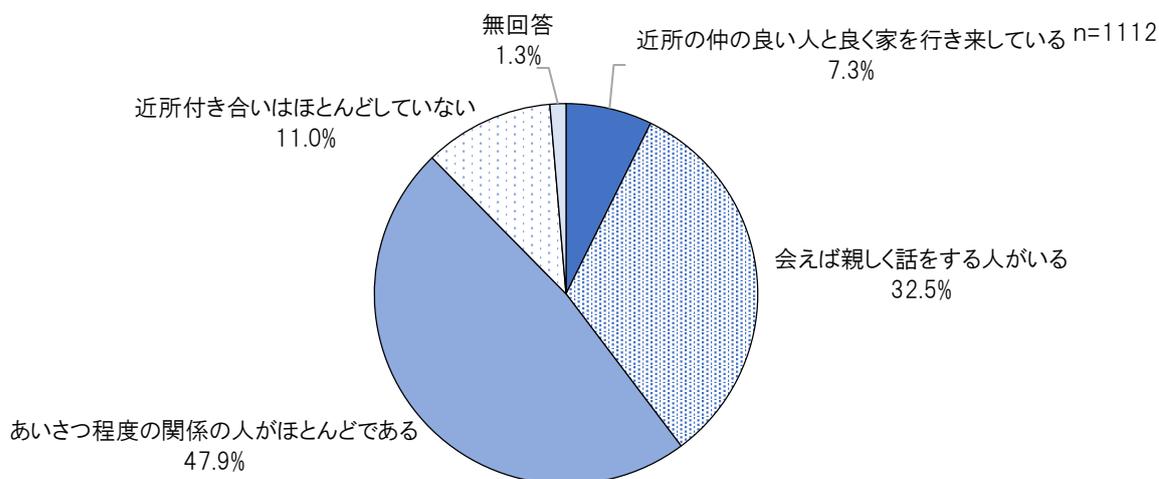
回答者が考える「地域」については、「行政区・町内会」が40.2%で最も多く、次いで「館林市全域」が22.8%、隣近所が18.0%などとなっています。

問 1 2 あなたは、今住んでいる地域に愛着がありますか。(ひとつだけ○)



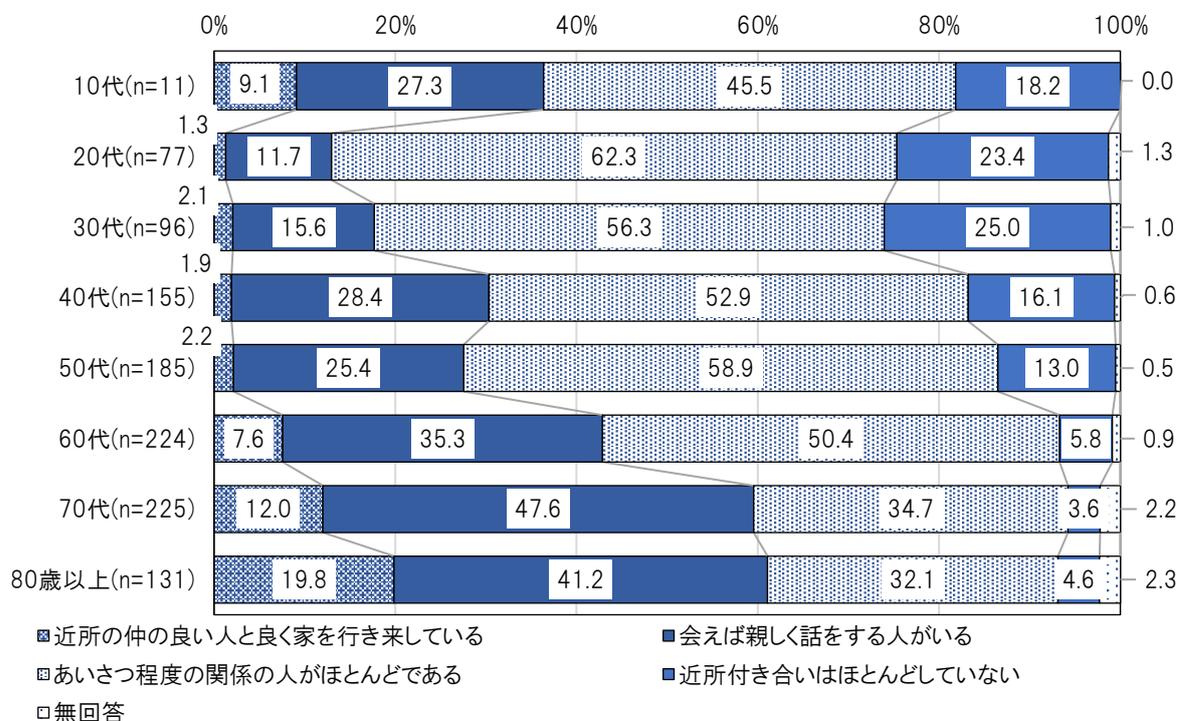
今住んでいる地域に愛着があるかについて、「ある（大いに+ある程度）」の割合が62.7%、「どちらともいえない」が20.5%、「ない（あまり+全く）」が15.3%となっています。

問13 あなたは、ふだん近所の人とどの程度の付き合いをされていますか。(ひとつだけ○)



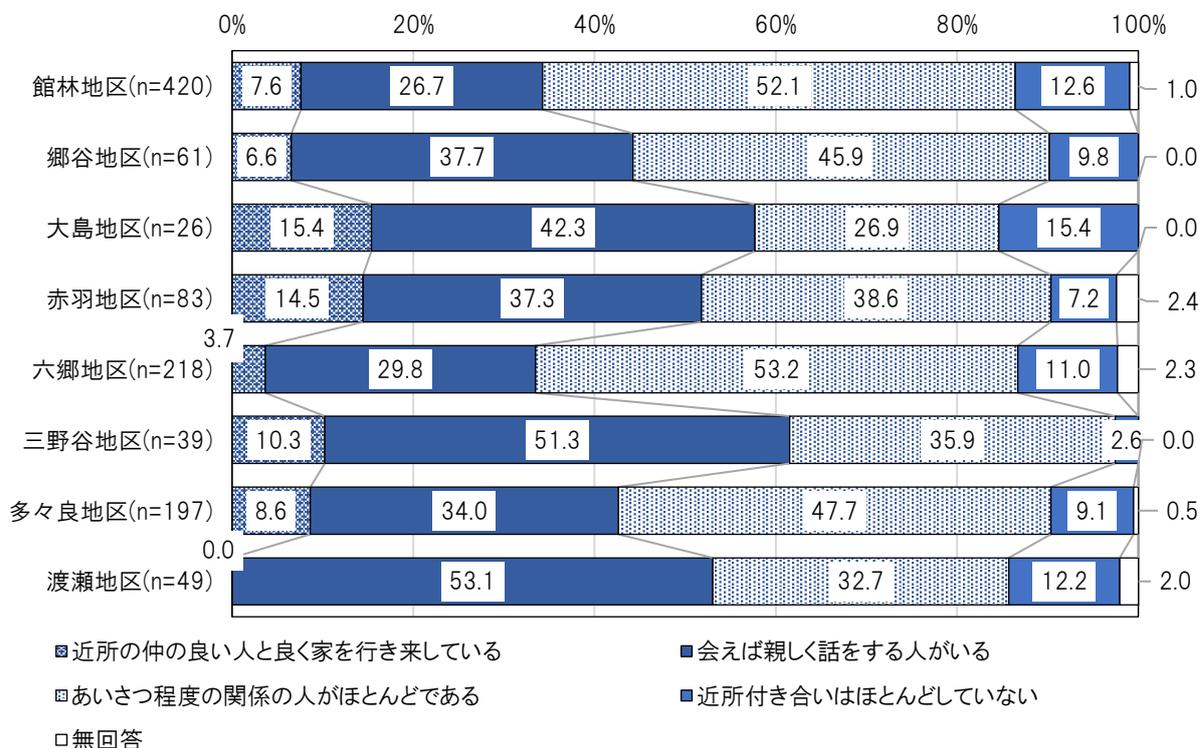
近所の人との付き合いの程度では、「あいさつ程度の関係の人がほとんどである」が47.9%で最も高く、次いで「会えば親しく話をする人がいる」が32.5%などとなっています。

【近所の人との付き合いの程度（年代別）】



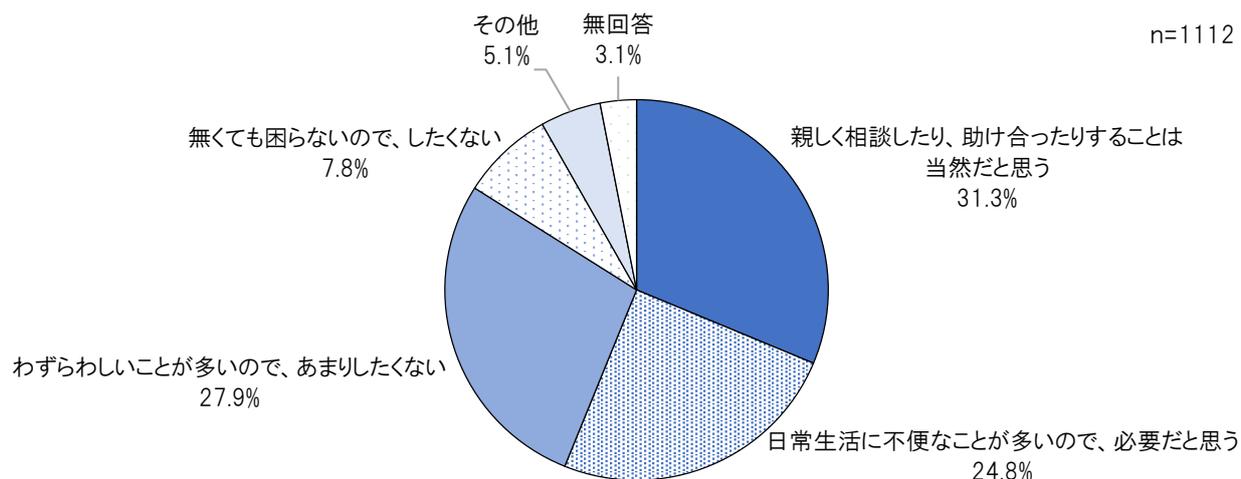
年代別で見ると、「会えば親しく話をする」以上の割合は、80歳以上で61.0%と最も高く、次いで70代で59.6%、60代で42.9%などとなっています。

【近所の人との付き合いの程度（地区別）】



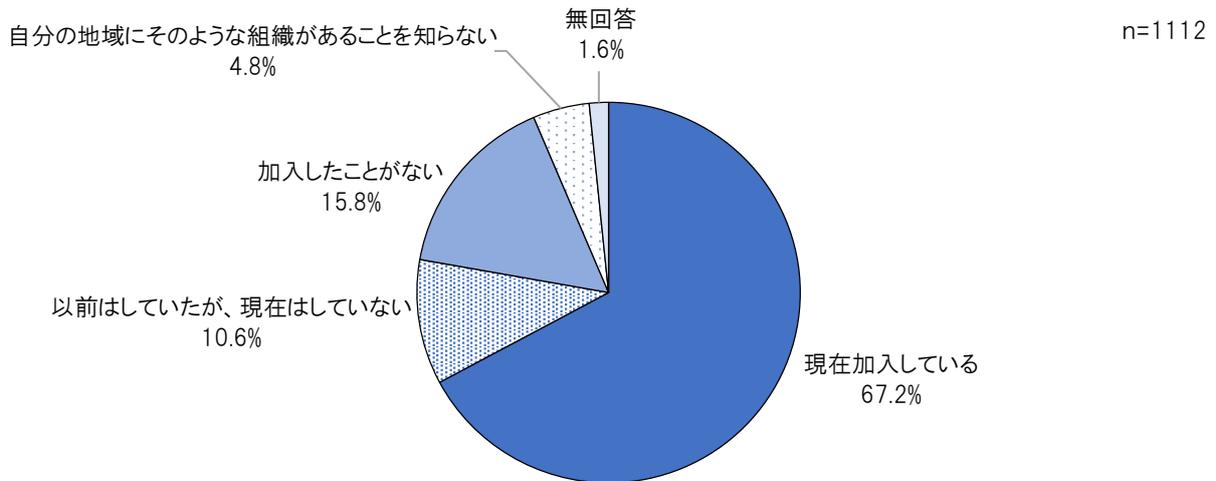
地区別で見ると、「会えば親しく話をする」以上の割合が「大島地区」、「赤羽地区」、「三野谷地区」、「渡瀬地区」で高くなっています。

問 1 4 あなたの近所付き合いに対する考え方に近いものはどれですか。(ひとつだけ○)



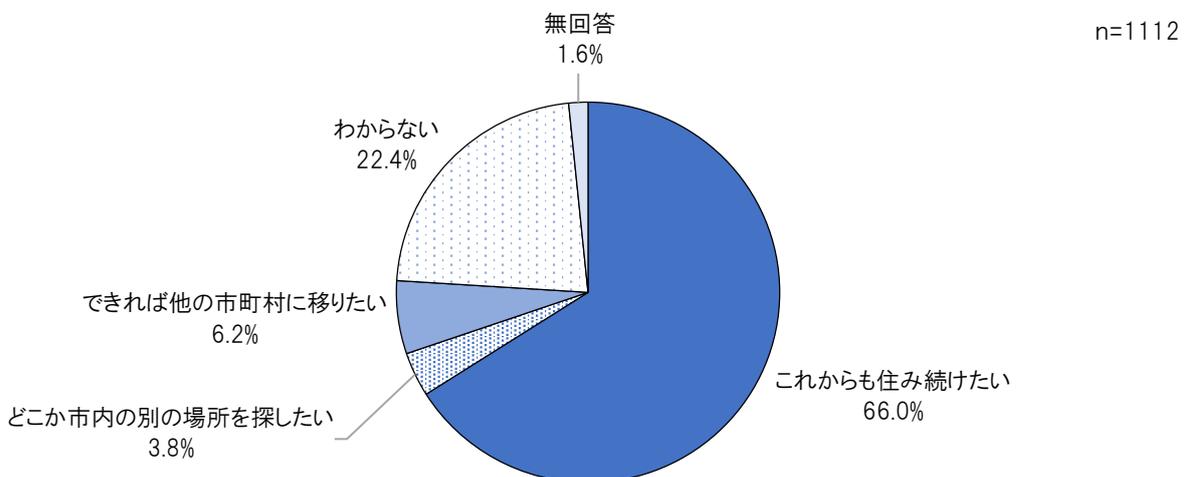
近所付き合いに対する考え方では、「親しく相談したり、助け合ったりすることは当然だと思う」が31.3%で最も高く、次いで「わずらわしいことが多いので、あまりしたくない」が27.9%、「日常生活に不便なことが多いので、必要だと思う」が24.8%などとなっています。

問 1 5 あなたは、行政区や町内会に加入していますか。(ひとつだけ○)



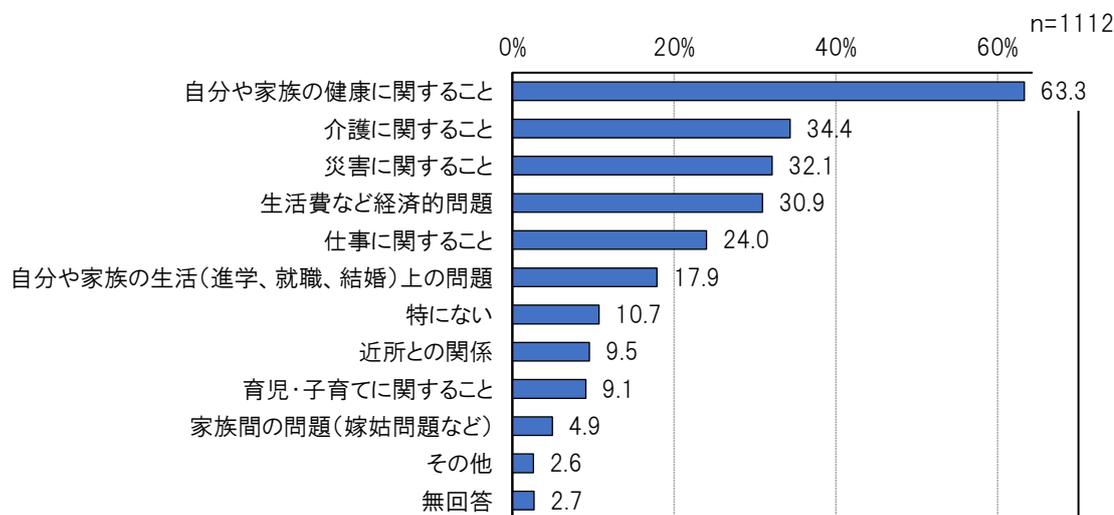
行政区や町内会への加入状況については、「現在加入している」は 67.2%、約 3 割の方は加入していない状況となっています。

問 1 6 あなたはこれからも現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。(ひとつだけ○)



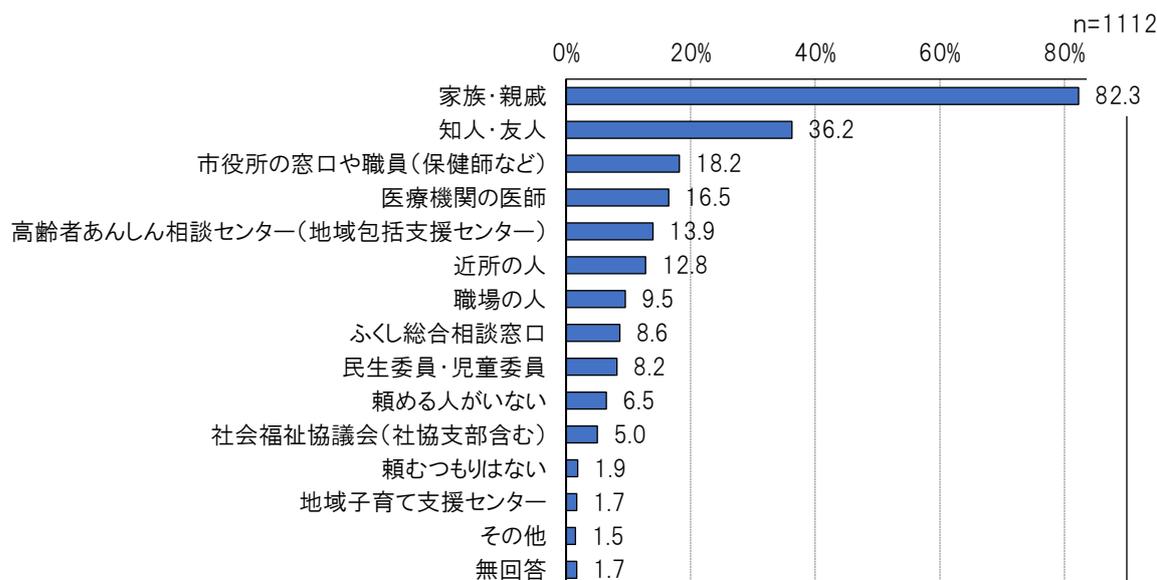
現在住んでいる地域に住み続けたいと思うかについて、「これからも住み続けたい」が 66.0% で最も高く、次いで「わからない」が 22.4%、「できれば他の市町村に移りたい」が 6.2% となっています。

問17 あなたは、毎日の暮らしの中で、次のどのようなことに悩みや不安を感じていますか。(あてはまるものすべてに○)



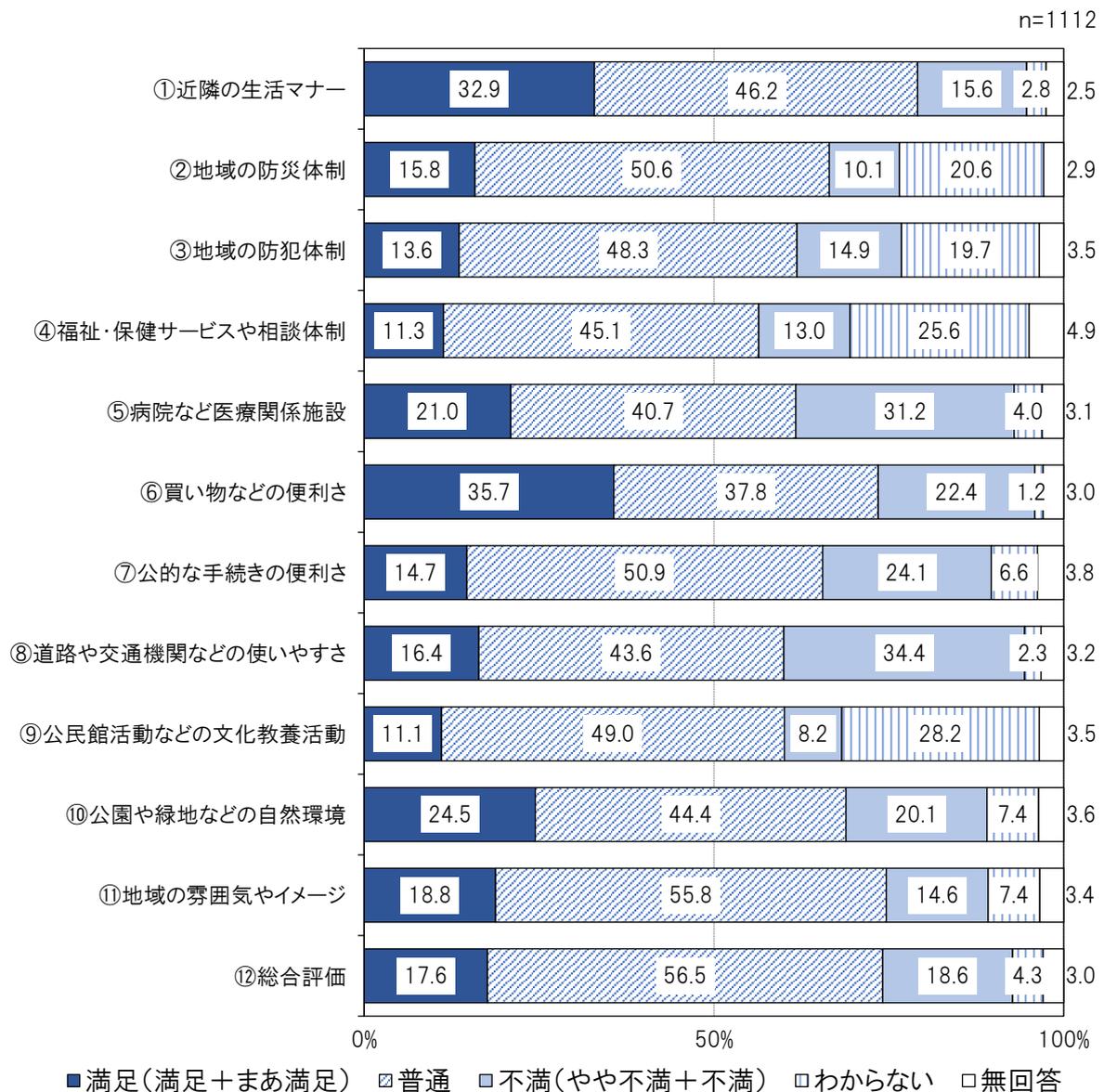
回答者が毎日の暮らしの中で悩みや不安を感じていることは、「自分や家族の健康に関すること」が63.3%で最も高く、次いで「介護に関すること」が34.4%、「災害に関すること」が32.1%などとなっています。

問18 あなたは、暮らしの中で相談や助けが必要なとき誰に頼みたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



暮らしの中で相談や助けが必要な時に誰に頼むかは、「家族・親戚」が82.3%で最も高く、次いで「知人・友人」が36.2%、「市役所の窓口や職員(保健師など)」が18.2%などとなっています。

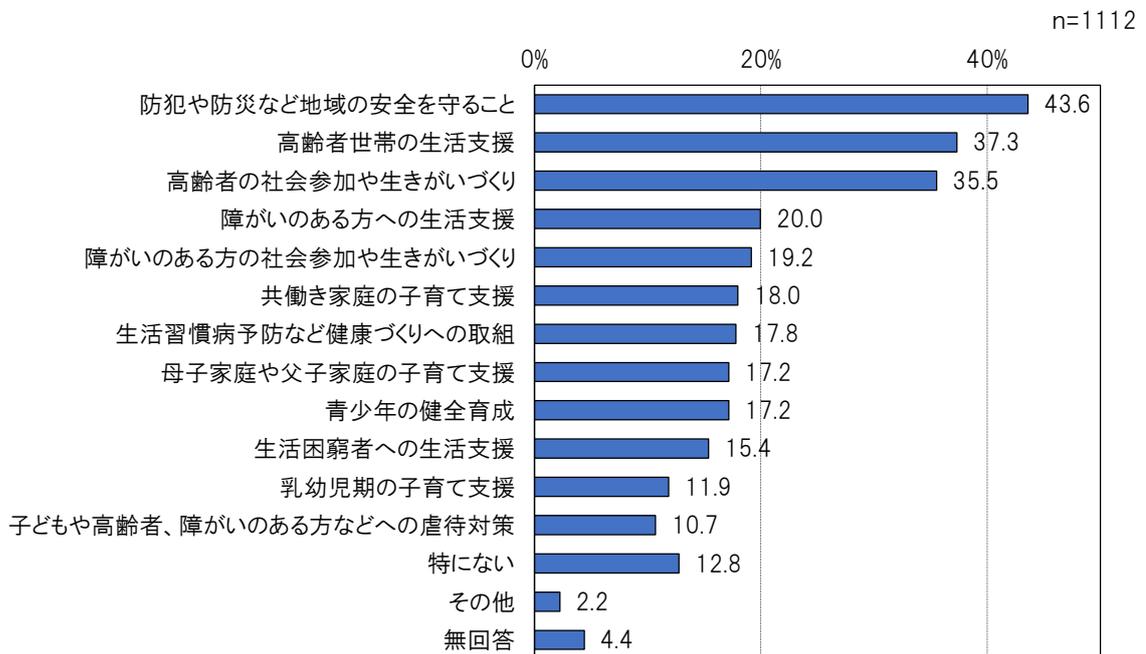
問19 あなたが現在住んでいる地区の暮らしやすさはいかがですか。(それぞれひとつだけ○)



現在住んでいる地区の暮らしやすさについて、「満足(満足+まあ満足)」では、「①近隣の生活マナー」、「⑥買い物などの便利さ」が3割を超え高くなっています。

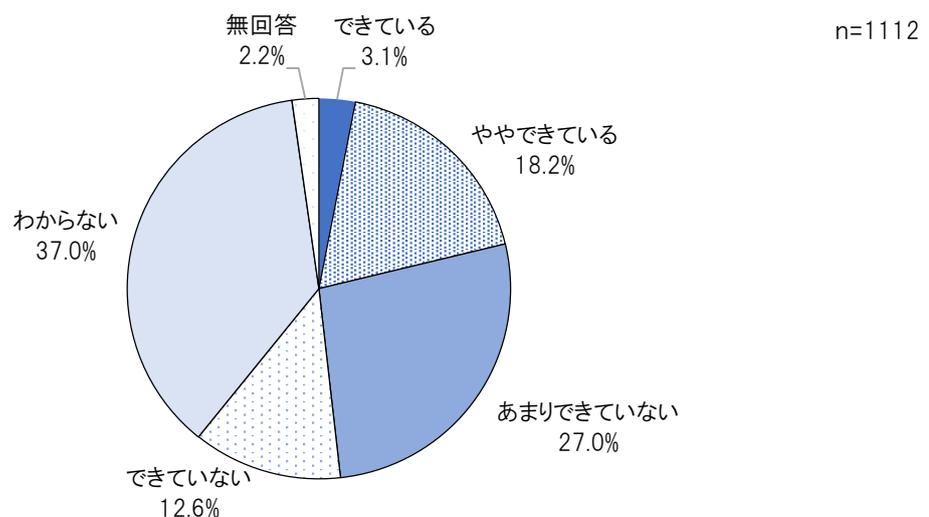
また、「②地域の防災体制」、「③地域の防犯体制」、「④福祉・保健サービスや相談体制」、「⑨公民館活動などの文化教養活動」については、「わからない」が約2割から3割と比較的割合が高くなっています。

問20 あなたの身近な地域には、地域住民が取り組むべき課題や問題としてどのようなことがあると思いますか。(あてはまるものすべてに○)



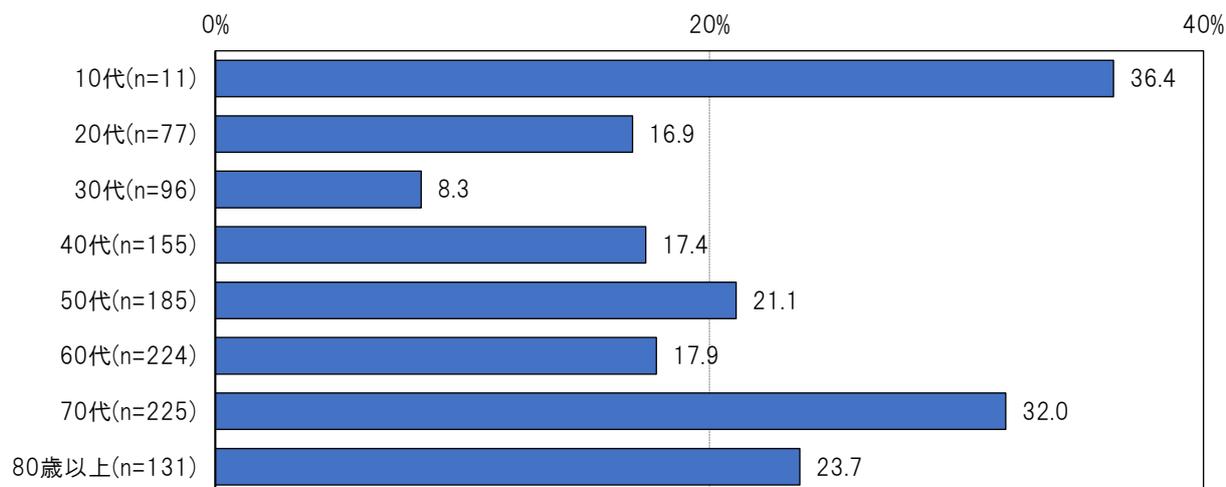
身近な地域の地域住民が取り組むべき課題や問題では、「防犯や防災など地域の安全を守ること」が43.6%で最も高く、次いで「高齢者世帯の生活支援」が37.3%、「高齢者の社会参加や生きがいつくり」が35.5%などとなっています。

問21 あなたは、コミュニティ活動や地域の課題などについて、身近な地域で情報を共有するしくみができていると思いますか。(ひとつだけ○)



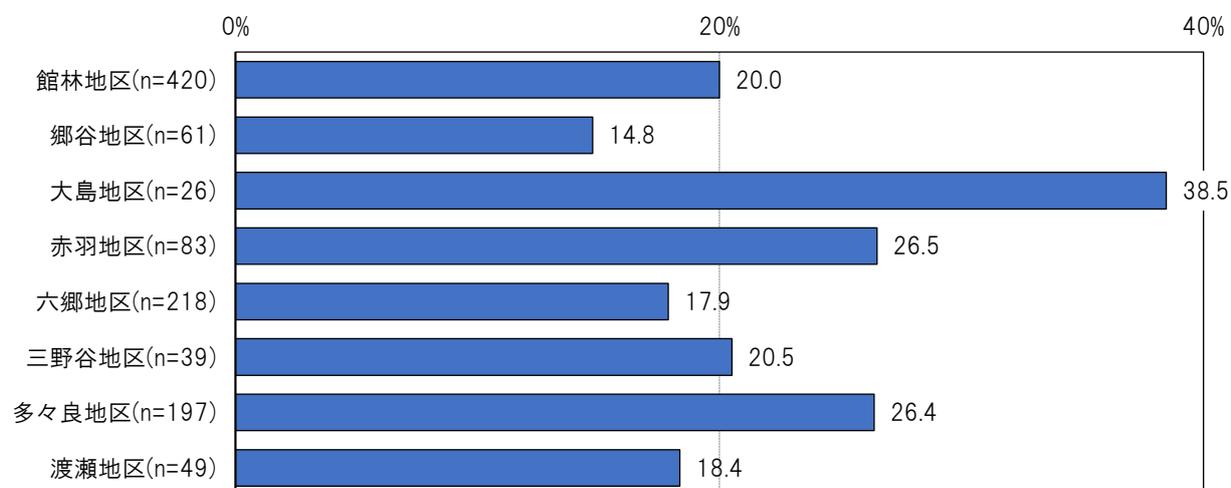
コミュニティ活動や地域の課題などの情報を身近な地域で共有するしくみについては、「できる（できている+ややできる）」が21.3%、「できていない（あまりできていない+できていない）」が39.6%、「わからない」が37.0%となっています。

【身近な地域で情報を共有するしくみができていると思う（年代別）】



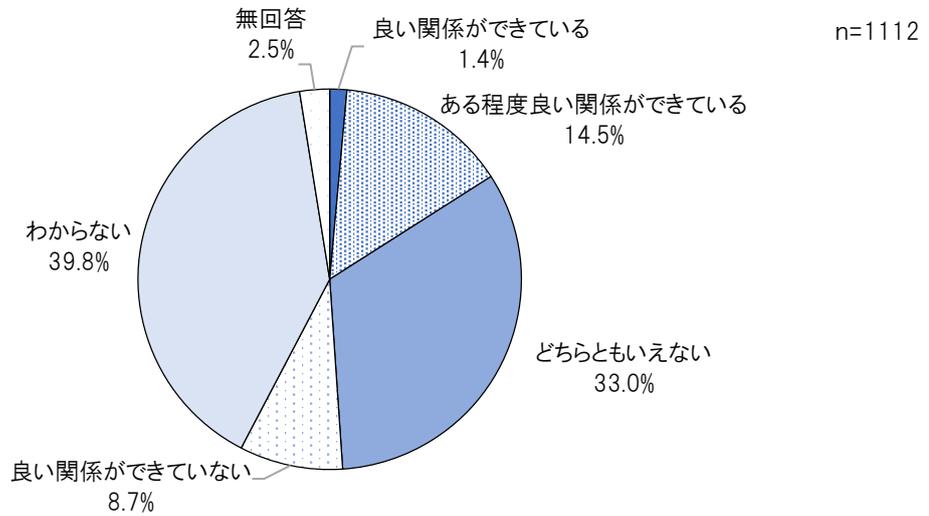
「できている（できている+ややできている）」の割合を年代別に見ると、10代が36.4%で最も高く、次いで70代が32.0%、80歳以上が23.7%などとなっています。

【身近な地域で情報を共有するしくみができていると思う（地区別）】



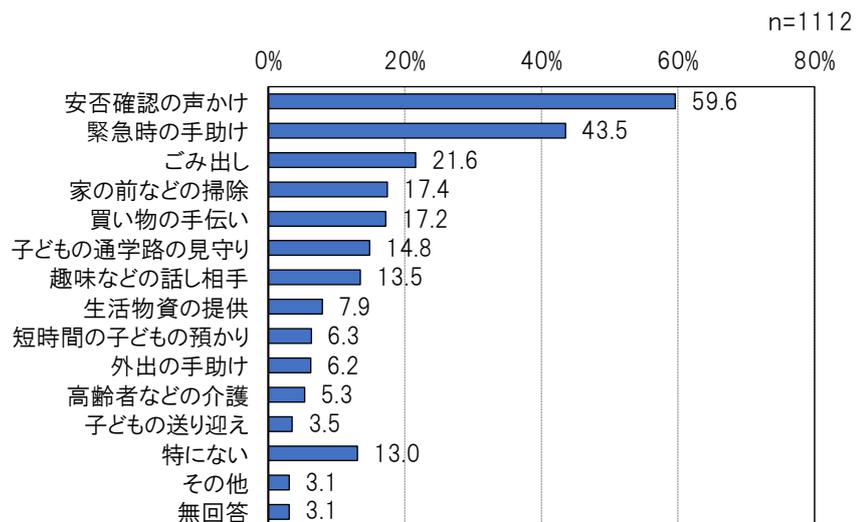
「できている（できている+ややできている）」の割合を地区別に見ると、「大島地区」が38.5%で最も高く、次いで「赤羽地区」が26.5、「多々良地区」が26.4%などとなっています。

問22 あなたは、住民と行政のパートナーシップについて、どのように思いますか。(ひとつだけ○)



住民と行政のパートナーシップについて、「わからない」が39.8%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が33.0%、「関係ができていない（良い+ある程度良い）」が15.9%、「よい関係ができていない」が8.7%となっています。

問23 隣近所で、高齢者や障がいのある方の介護・介助や子育てなどで困っている家庭があった場合、あなたはどのような手助けができますか。(あてはまるものすべてに○)



隣近所での助け合いのできることについては、「安否確認の声かけ」が59.6%で最も高く、次いで「緊急時の手助け」が43.5%と高くなっています。

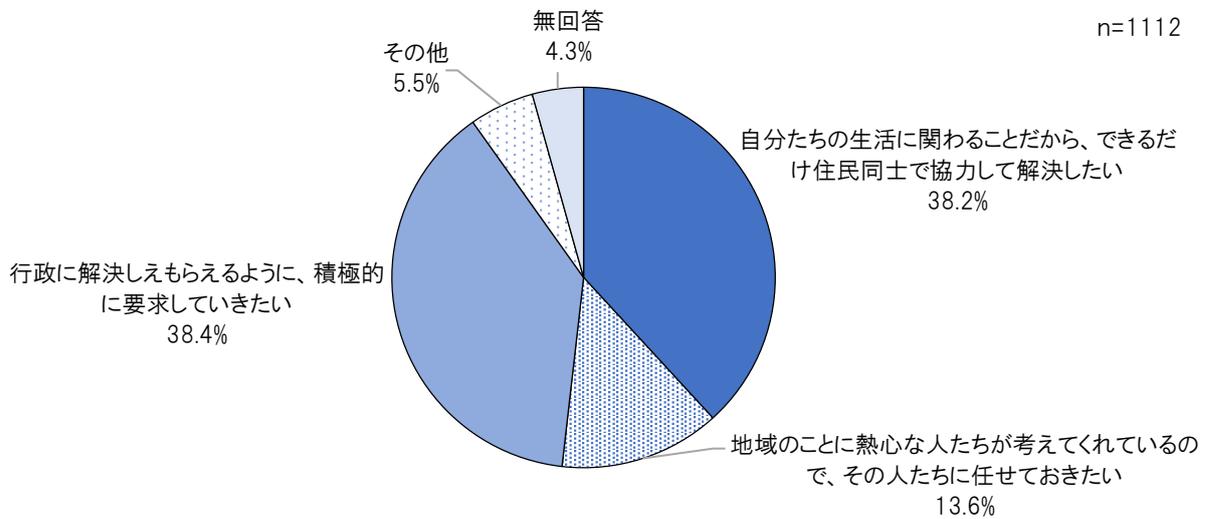
【隣近所での助け合いのできること（年代別）】

（単位：％）

	安否確認の声かけ	趣味などの話し相手	買い物の手伝い	ごみ出し	外出の手助け	家の前などの掃除	短時間の子どもの預かり	子どもの送り迎え	子どもの通学路の見守り	高齢者などの介護	緊急時の手助け	生活物資の提供	特にない	その他	無回答
全体	59.6	13.5	17.2	21.6	6.2	17.4	6.3	3.5	14.8	5.3	43.5	7.9	13.0	3.1	3.1
10代(n=11)	45.5	0.0	0.0	36.4	0.0	0.0	9.1	0.0	27.3	0.0	54.5	0.0	9.1	0.0	0.0
20代(n=77)	55.8	18.2	20.8	10.4	7.8	10.4	15.6	5.2	14.3	7.8	50.6	11.7	13.0	2.6	1.3
30代(n=96)	55.2	21.9	20.8	18.8	6.3	13.5	11.5	9.4	17.7	7.3	52.1	9.4	19.8	4.2	2.1
40代(n=155)	64.5	15.5	18.7	11.0	3.9	10.3	5.2	4.5	12.9	5.2	49.0	9.0	12.3	1.9	1.3
50代(n=185)	60.0	9.2	17.8	21.6	10.3	17.3	8.6	3.8	15.7	5.9	55.1	5.9	11.4	2.7	2.7
60代(n=224)	67.4	9.4	21.4	25.0	9.4	20.1	4.0	3.6	15.2	4.9	48.2	8.5	10.3	1.3	2.2
70代(n=225)	63.6	15.6	16.4	33.3	3.1	23.1	4.4	1.8	16.0	4.0	35.1	4.9	11.1	3.1	3.1
80歳以上 (n=131)	42.0	12.2	6.1	16.0	3.1	19.8	2.3	0.0	10.7	5.3	16.0	9.9	19.8	6.9	8.4

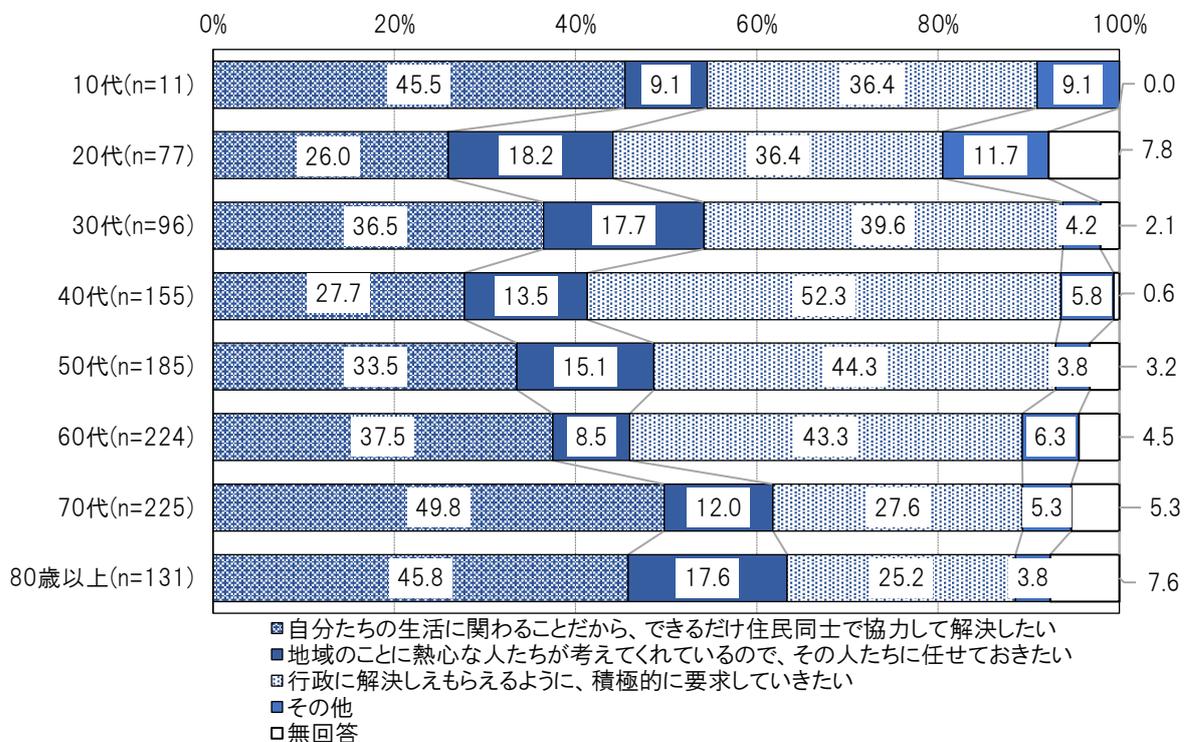
年代別に見ると、各年代において「安否確認の声掛け」と「緊急時の手助け」の割合が高くなっています。

問24 日常生活の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。(ひとつだけ)



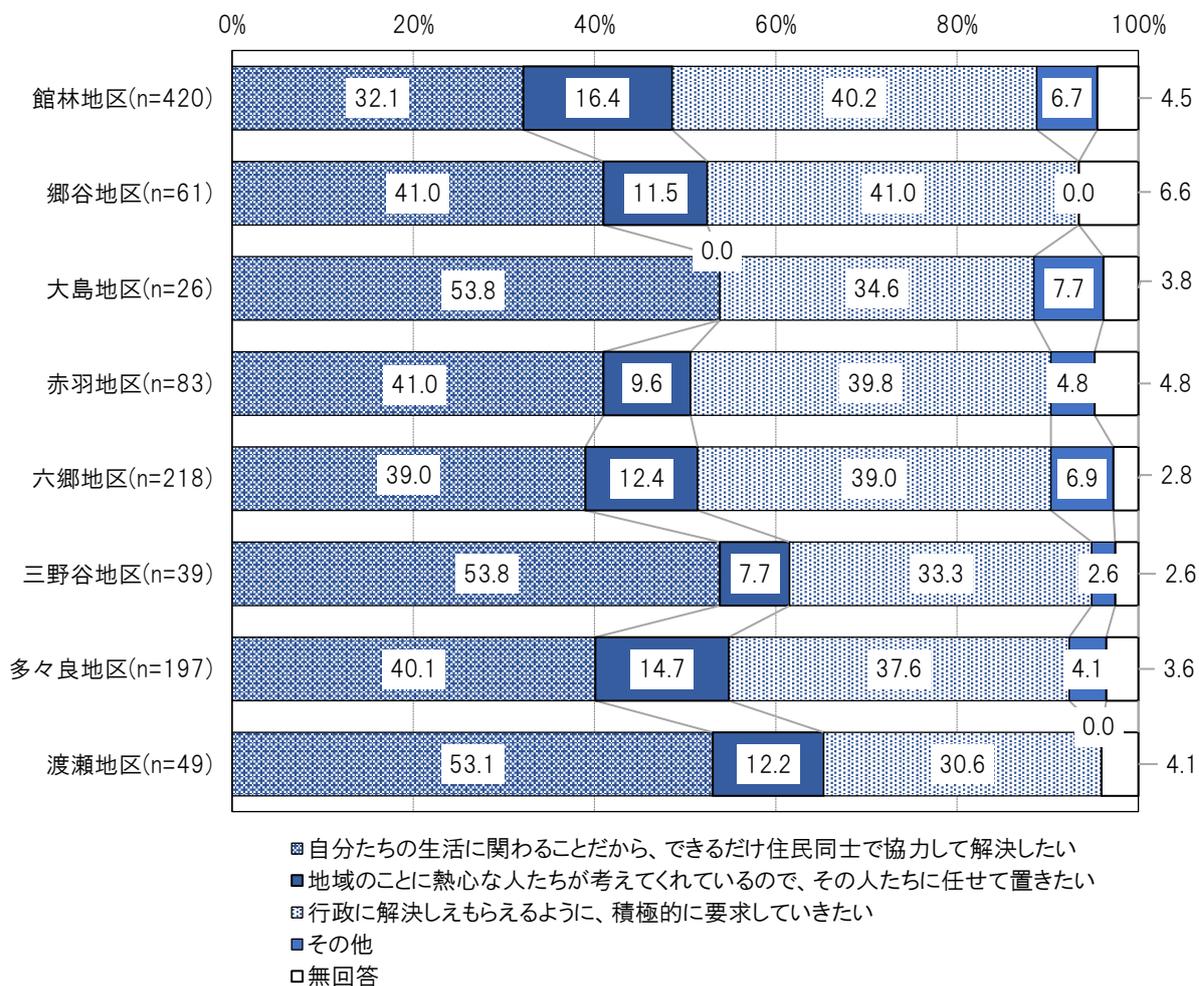
地域課題の解決方法については、「行政に解決してもらえるように積極的に要求していきたい」が38.4%で最も多く、次いで「自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい」が38.2%、「地域のことに熱心な人たちが考えてくれているので、その人たちに任せておきたい」が13.6%となっています。

【地域課題の解決について（年代別）】



年代別に見ると、「地域で解決すべき」と考える割合は80歳以上が63.4%で最も多く、次いで70代が61.8%、10代が54.5%などとなっています。

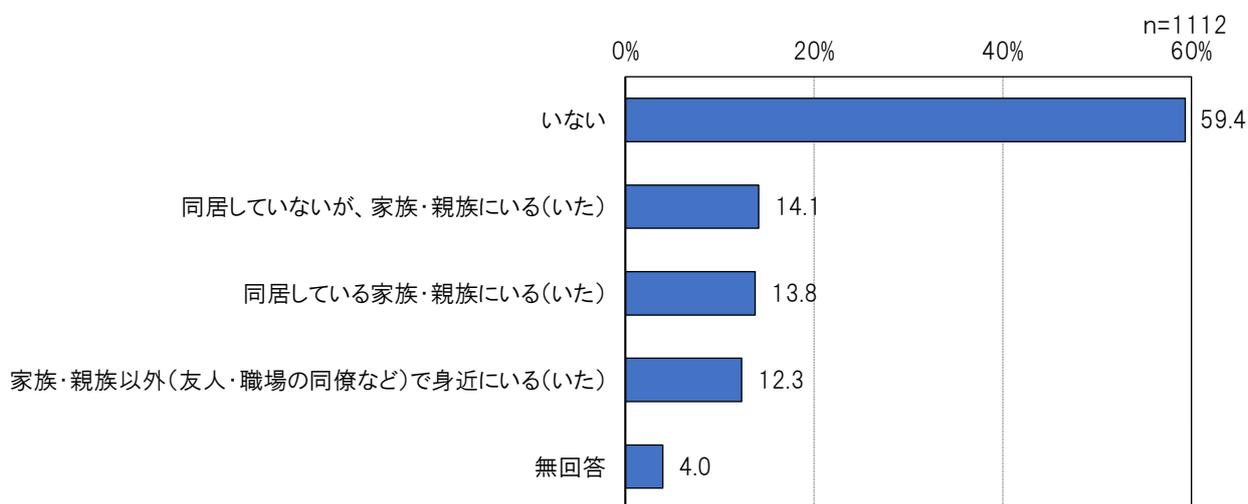
【地域課題の解決について（地区別）】



地区別で見ると、全ての地区で「地域で解決すべき」と考える割合が5割を超えており、特に「大島地区」、「三野谷地区」、「渡瀬地区」では「自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい」の割合が5割を超えて高くなっています。

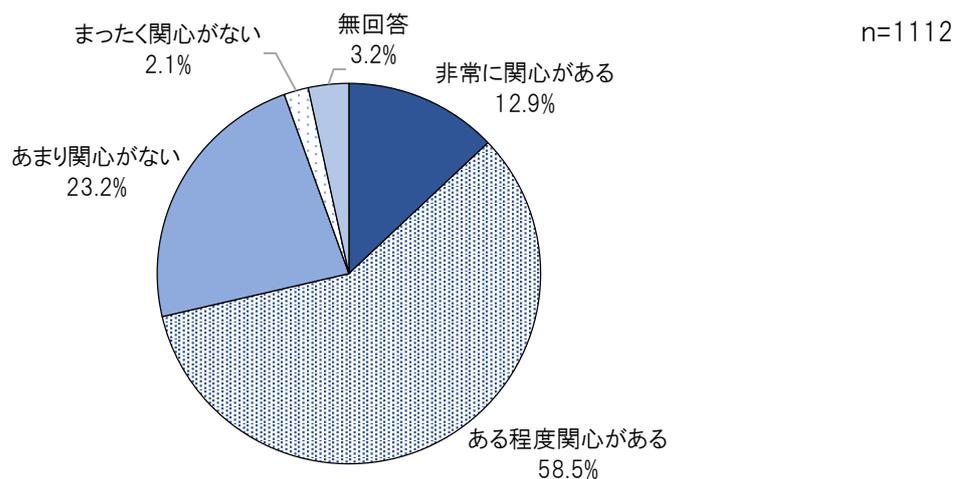
IV. 障がい者施策などについて

問25 あなたの周囲には、障がいのある方はいますか。(あてはまるものすべてに○)



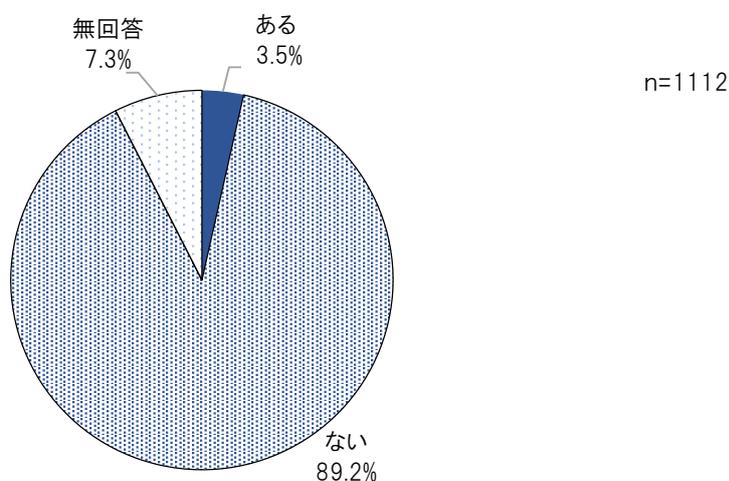
周囲に障がいのある方がいるかについて、「いない」が59.4%で最も高く、次いで「同居していないが、家族・親族にいる(いた)」が14.1%、「同居している家族・親族にいる(いた)」が13.8%などとなっています。

問26 あなたは、障がいのある方の問題について関心を持っていますか。(ひとつだけ○)



障がいのある方の問題についての関心については、「関心がある(非常に+ある程度)」が71.4%となっています。

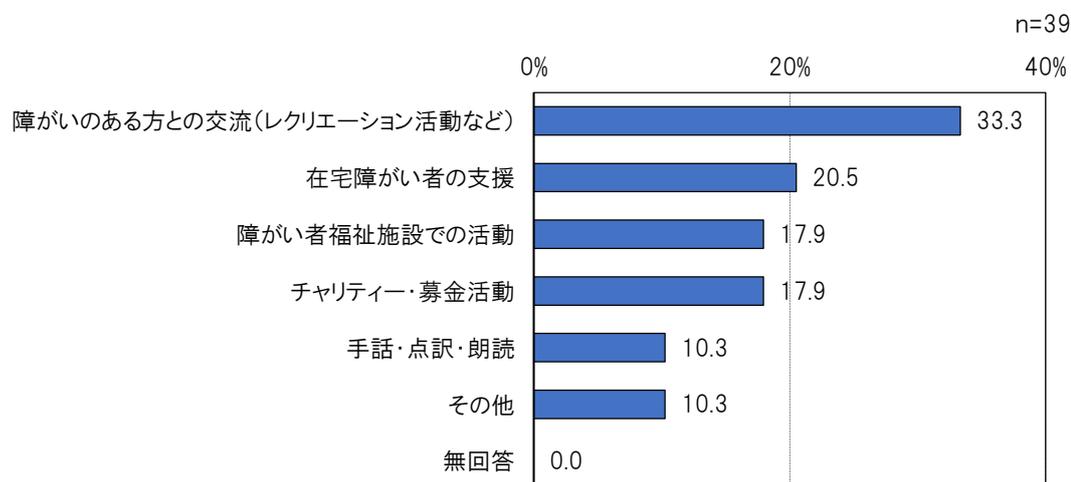
問27-（1） あなたは、この1年以内に、障がいのある方にかかわるボランティア活動などに参加したことがありますか。（ひとつだけ○）



この1年以内に、障がいのある方にかかわるボランティア活動などに参加したことがあるかについては、「ある」が3.5%、「ない」が89.2%となっています。

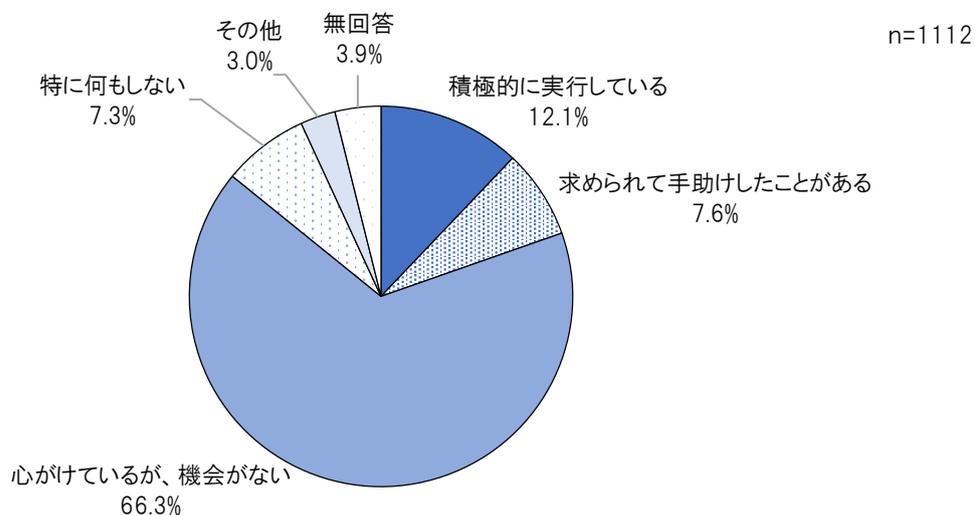
（問27-（1）で「1」を選んだ方におたずねします。）

問27-（2） あなたが、この1年間に参加した障がいのある方にかかわるボランティア活動は次のどれですか。（あてはまるものすべてに○）



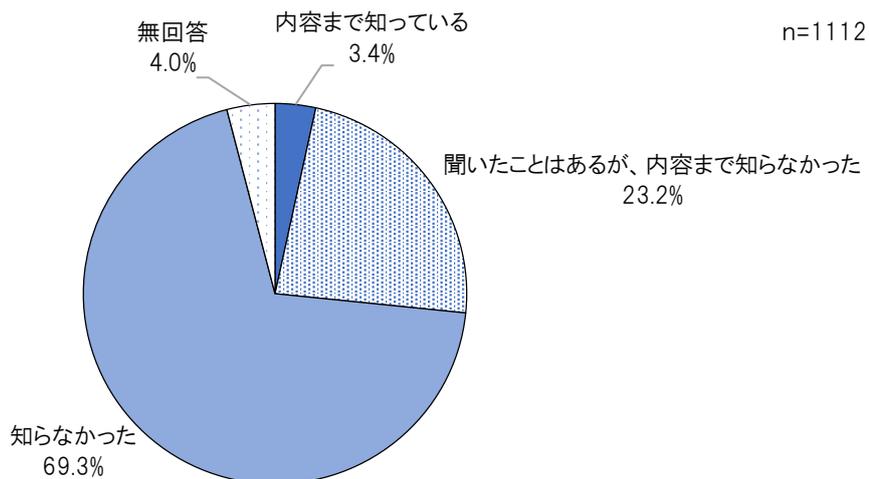
参加した活動では、「障がいのある方との交流（レクリエーション活動など）」が33.3%で最も高く、次いで「在宅障がい者の支援」が20.5%などとなっています。

問28 障がいのある方が外出しやすいまちづくりのためには階段やスロープで車いすの手助けをしたり、交差点で誘導をしたり、バス・電車で席を譲るなど、市民一人ひとりの協力が必要です。普段、まちで困っている人を見かけた時、あなたは手助けをしていますか。(ひとつだけ○)



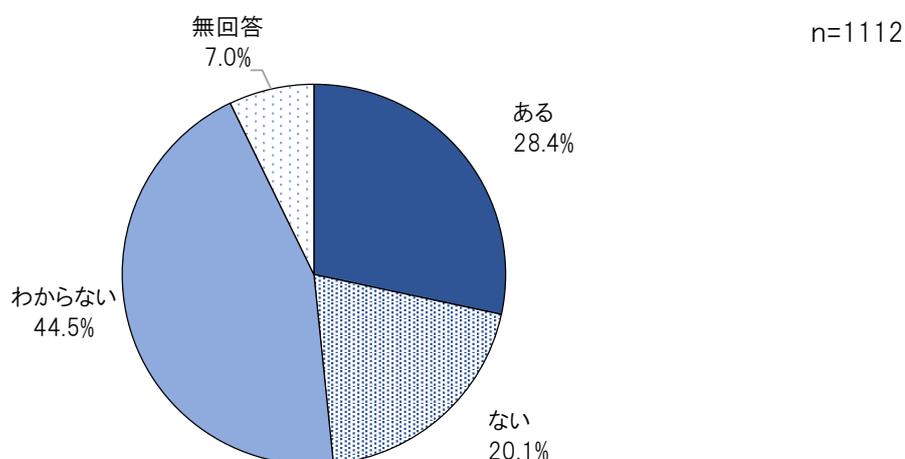
まちで困っている人を見かけた時、手助けをしているかについて、「心がけているが、機会がない」が66.3%で最も高く、次いで「積極的に実行している」が12.1%、「求められて手助けしたことがある」が7.6%などとなっています。

問29 あなたは「障害者差別解消法」を知っていますか。(ひとつだけ○)



「障害者差別解消法」を知っているかについて、「内容まで知っている」が3.4%、「知らなかった」が69.3%となっています。

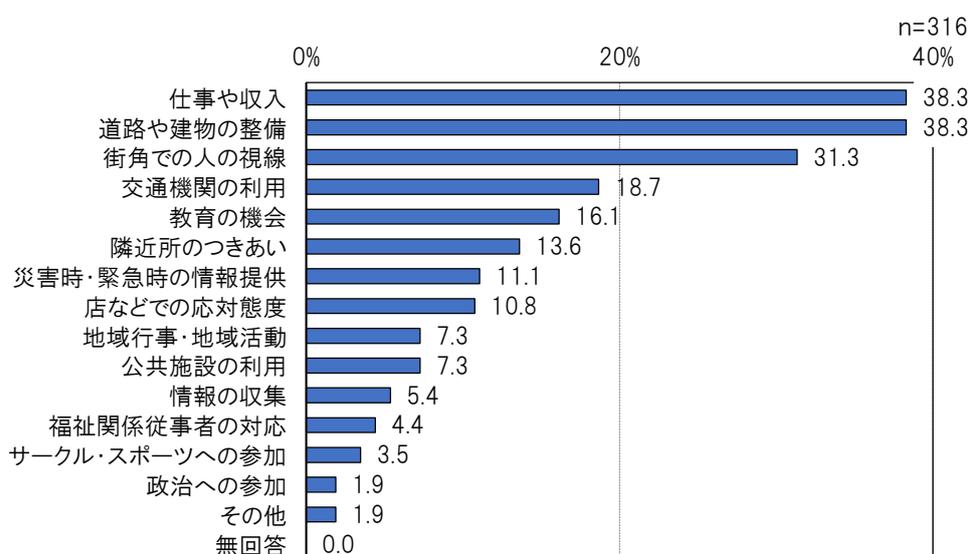
問30-(1) あなたは、日常生活や地域で、障がいのある方に対する差別・偏見、または配慮のなさを感じるがありますか。(ひとつだけ○)



日常生活や地域で、障がいのある方に対する差別・偏見、または配慮のなさを感じるがあるかについては、「ある」が28.4%、「ない」が20.1%、「わからない」が44.5%となっています。

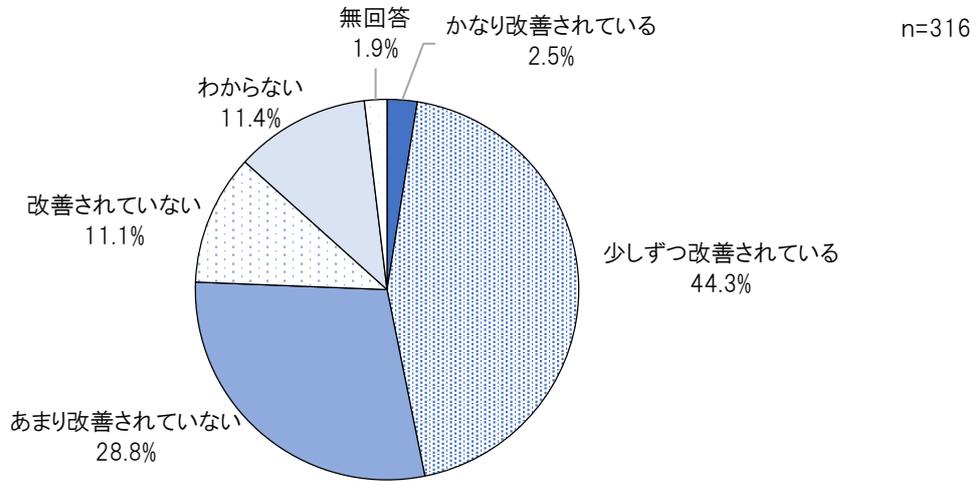
(問30-(1)で「1」を選んだ方におたずねします。)

問30-(2) 主にどのようなところに、障がいのある方に対する差別や偏見などを感じますか。(2つまで○)



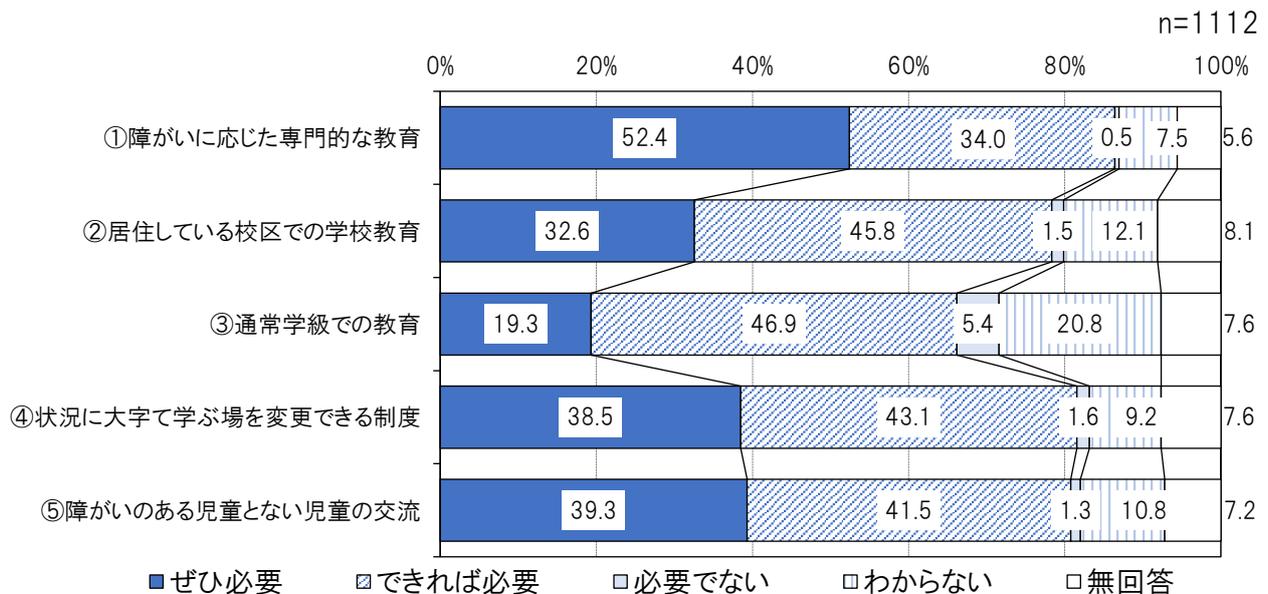
どのようなところに、障がいのある方に対する差別や偏見などを感じるかについては、「仕事や収入」、「道路や建物の整備」が38.3%で最も高く、次いで「街角での人の視線」が31.3%、「交通機関の利用」が18.7%などとなっています。

問30-(3) 障がいのある方に対する差別・偏見は改善されてきていると思いますか。
(ひとつだけ○)



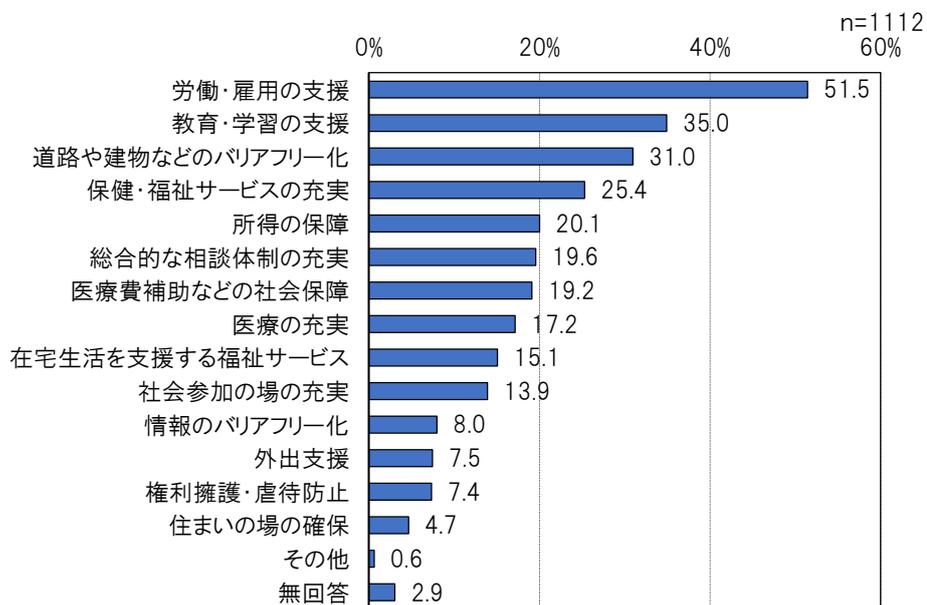
障がいのある方に対する差別・偏見が改善されているかについて、「改善されている（かなり＋少しずつ）」が46.8%、「改善されていない（あまり＋改善されていない）」が39.9%、「わからない」が11.4%となっています。

問31 あなたは、障がいのある児童の教育についてどうあるべきだとお考えですか。(それぞれひとつだけ○)



障がいのある児童への教育について、すべての項目で「必要（ぜひ＋できれば）」の割合が6割を超え高くなっています。特に「①障がいに応じた専門的な教育」の「ぜひ必要」が5割を超え高くなっています。

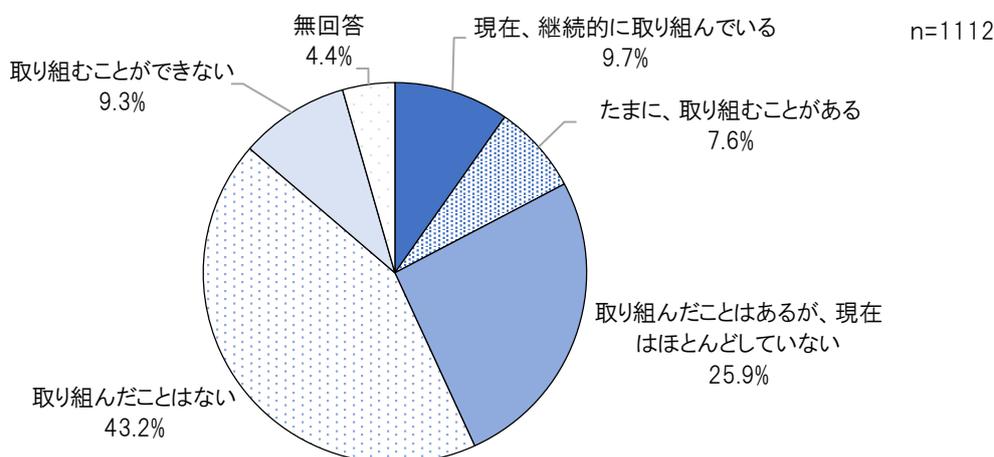
問3 2 館林市が障がいのある方にとって暮らしやすいまちになるには、次のうちどの分野に重点的に取り組むことが必要だと思いますか。(3つまで○)



重点的に取り組む必要があると思う分野は、「労働・雇用の支援」が51.5%で最も高く、次いで「教育・学習の支援」が35.0%、「道路や建物などのバリアフリー化」が31.0%などとなっています。

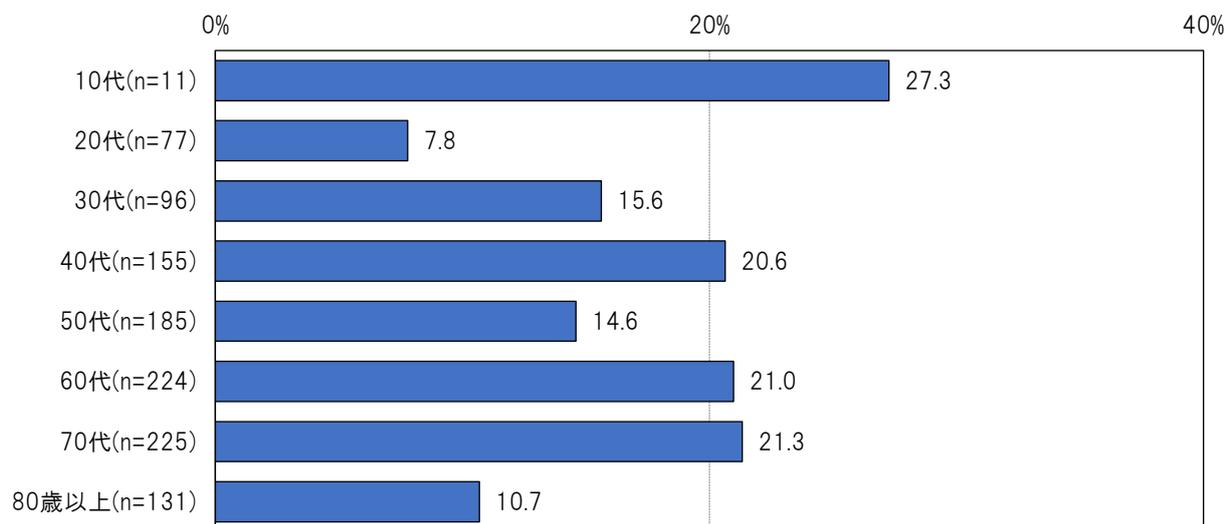
V. 地域活動やボランティア活動などについて

問33-（1） あなたは、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動などについて、取り組んでいますか。（ひとつだけ○）



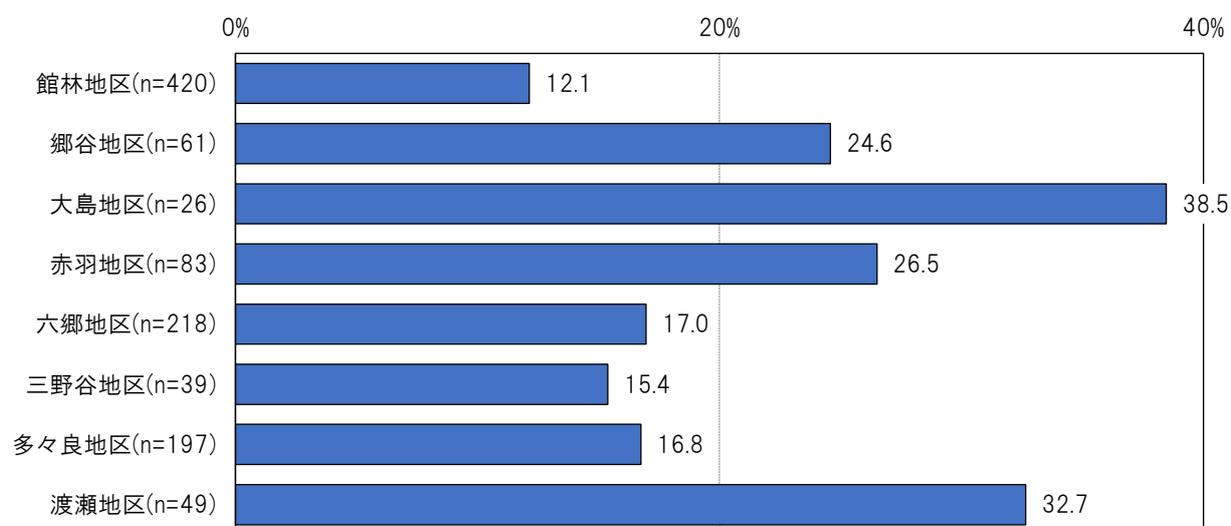
地域活動やボランティア活動の取組状況は、「取り組んでいる（継続的＋たまに）」が17.3%となっています。

【地域活動やボランティア活動、各種の支援活動などに取り組んでいる（年代別）】



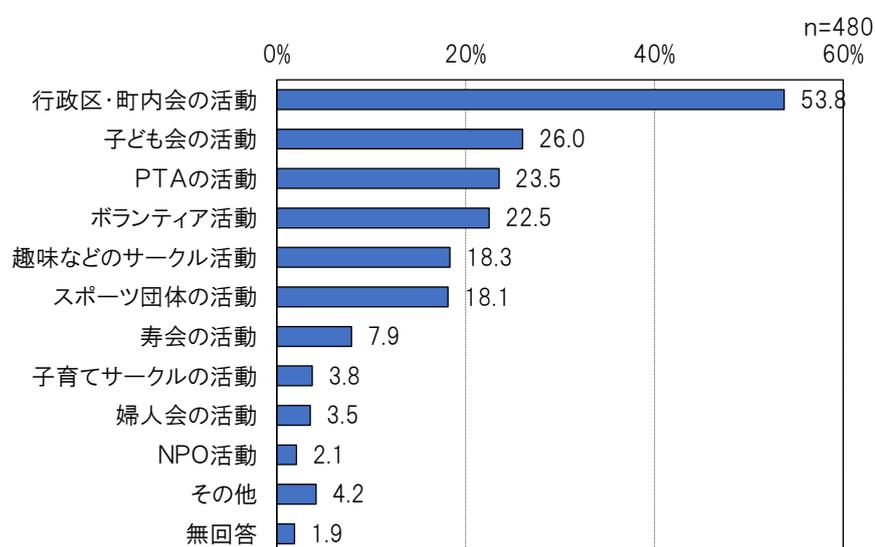
年代別に見ると、「取り組んでいる（積極的に＋たまに）」割合は10代が27.3%で最も多く、次いで70代が21.3%、60代が21.0%などとなっています。

【地域活動やボランティア活動、各種の支援活動などに取り組んでいる（地区別）】



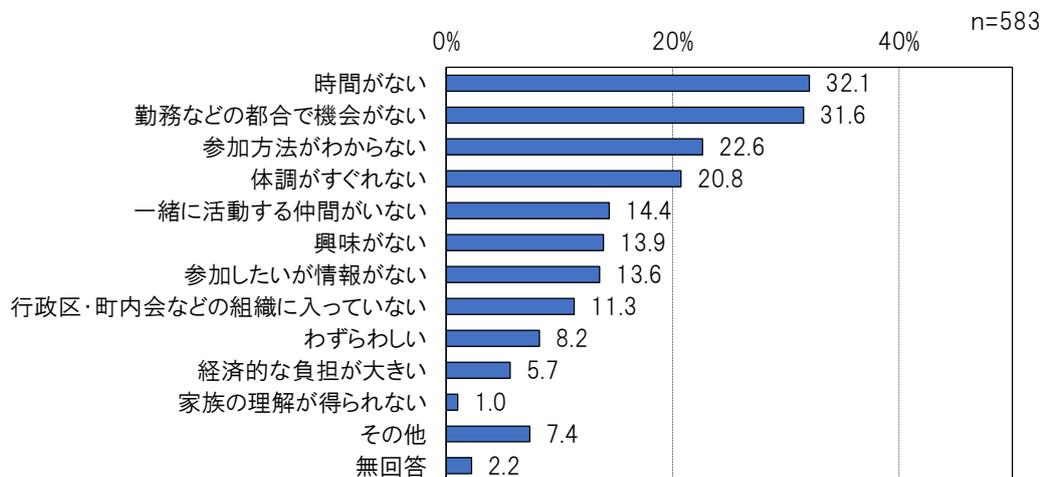
地区別で見ると、「取り組んでいる（積極的に+たまに）」割合は「大島地区」が38.5%で最も高く、次いで「渡瀬地区」が32.7%、「赤羽地区」が26.5%などとなっています。

（問33-（1）で「1」「2」「3」を選んだ方におたずねします。）
 問33-（2） どんな活動をしていますか。（あてはまるものすべてに○）



取り組んでいる活動は、「行政区・町内会の活動」が53.8%で最も多く、次いで「子ども会の活動」が26.0%、「PTAの活動」が23.5%などとなっています。

(問33- (1) で「4」「5」を選んだ方におたずねします。)
 問33- (3) 現在活動していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



地域活動やボランティア活動をしていない理由は、「時間がない」が32.1%で最も高く、次いで「勤務などの都合で機会がない」が31.6%、「参加方法がわからない」が22.6%などとなっています。

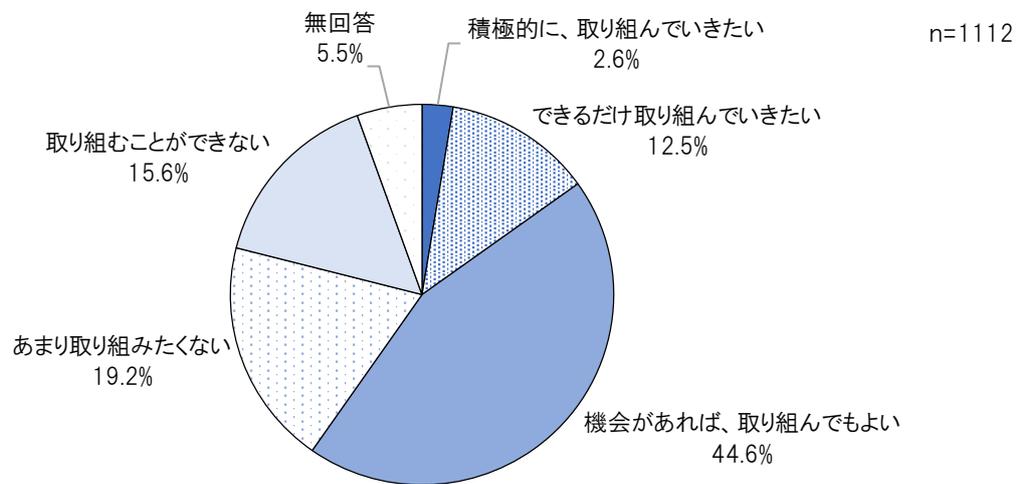
【現在活動していない理由（年代別）】

(単位：%)

	行政区・町内会などの組織に入っていない	勤務などの都合で機会がない	参加方法がわからない	時間がない	興味がない	経済的な負担が大きい	家族の理解が得られない	体調がすぐれない	一緒に活動する仲間がいない	参加したいが情報がない	わずらわしい	その他	無回答
全体	11.3	31.6	22.6	32.1	13.9	5.7	1.0	20.8	14.4	13.6	8.2	7.4	2.2
10代(n=2)	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代(n=50)	14.0	28.0	28.0	42.0	22.0	4.0	0.0	4.0	18.0	14.0	6.0	6.0	6.0
30代(n=57)	14.0	47.4	31.6	43.9	21.1	7.0	0.0	10.5	19.3	8.8	7.0	7.0	0.0
40代(n=80)	7.5	45.0	20.0	46.3	8.8	0.0	1.3	7.5	5.0	16.3	7.5	3.8	1.3
50代(n=99)	9.1	50.5	25.3	42.4	12.1	11.1	2.0	12.1	10.1	13.1	8.1	4.0	2.0
60代(n=121)	12.4	39.7	20.7	31.4	15.7	6.6	0.8	19.8	14.9	13.2	7.4	6.6	0.8
70代(n=104)	15.4	7.7	21.2	12.5	14.4	4.8	1.0	33.7	21.2	16.3	10.6	8.7	2.9
80歳以上(n=64)	6.3	0.0	10.9	12.5	6.3	3.1	1.6	53.1	9.4	7.8	9.4	18.8	4.7

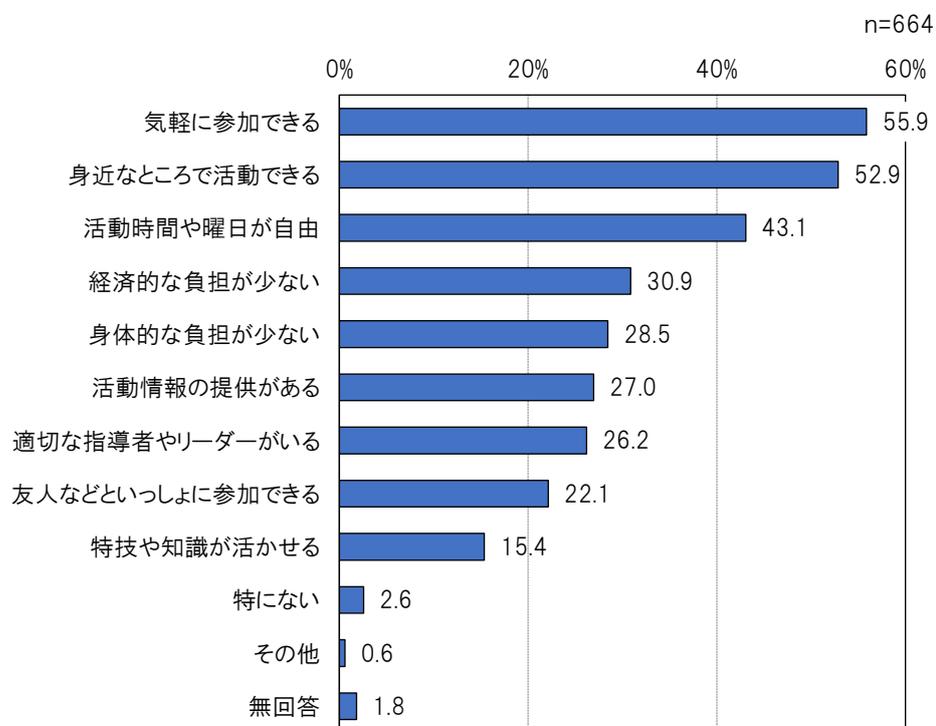
年代別で見ると、60代までは、「勤務などの都合で機会がない」の割合が高くなっており、70代以上では、「体調がすぐれない」の割合が高くなっています。

問34-1) あなたは、今後、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動などに、どの程度取り組んでいきたいと考えていますか。(ひとつだけ○)



今後、地域活動やボランティア活動、支援活動などにどの程度取り組みたいかについて、「機会があれば、取り組んでもよい」が44.6%で最も高く、次いで「あまり取り組みたくない」が19.2%、「取り組むことができない」が15.6%などとなっています。

(問34- (1) で「1」「2」「3」を選んだ方におたずねします。)
 問34- (2) どのような条件であれば、活動・参加したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

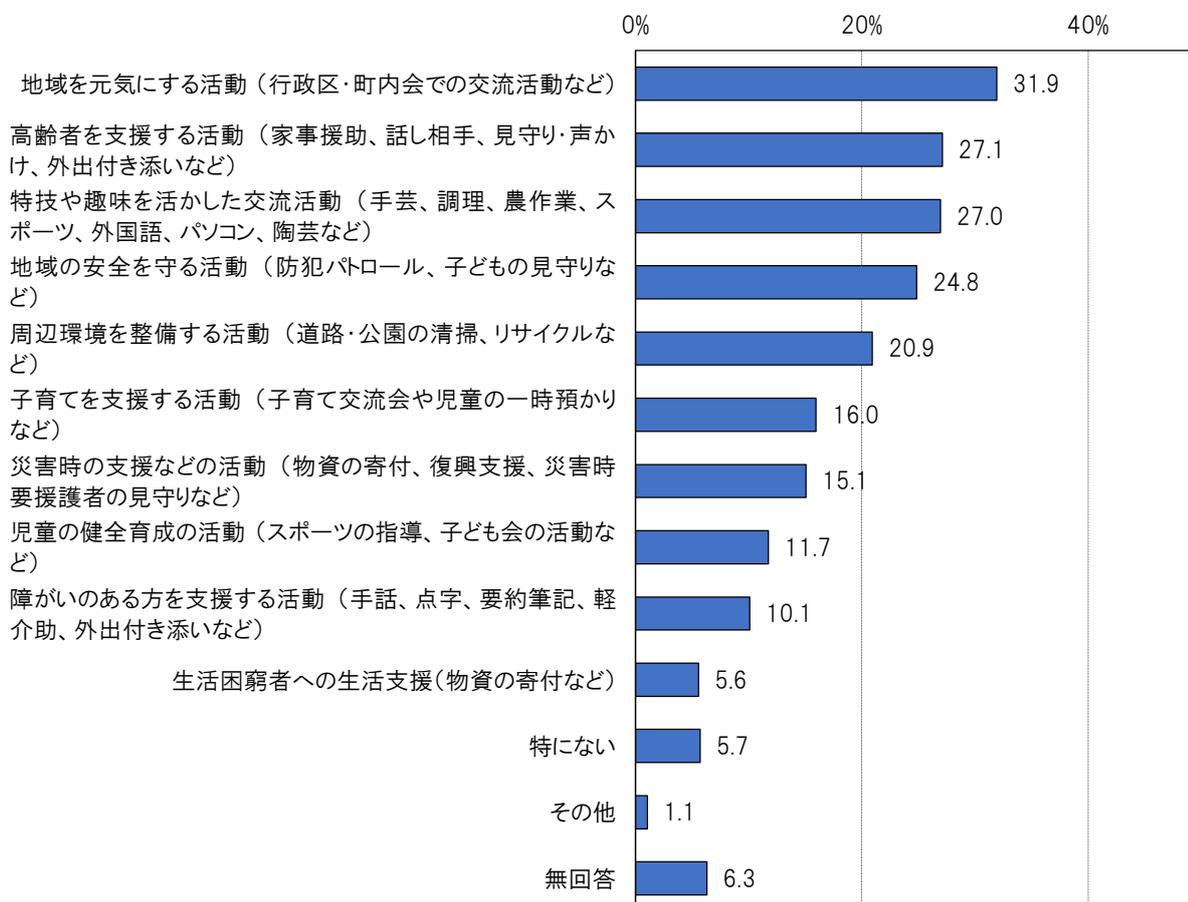


どのような条件であれば活動・参加したいと思いますかについて、「可以轻松参加」が55.9%で最も高く、次いで「身近なところで活動できる」が52.9%、「活動時間や曜日が自由」が43.1%などとなっています。

(問34- (1) で「1」「2」「3」を選んだ方におたずねします。)

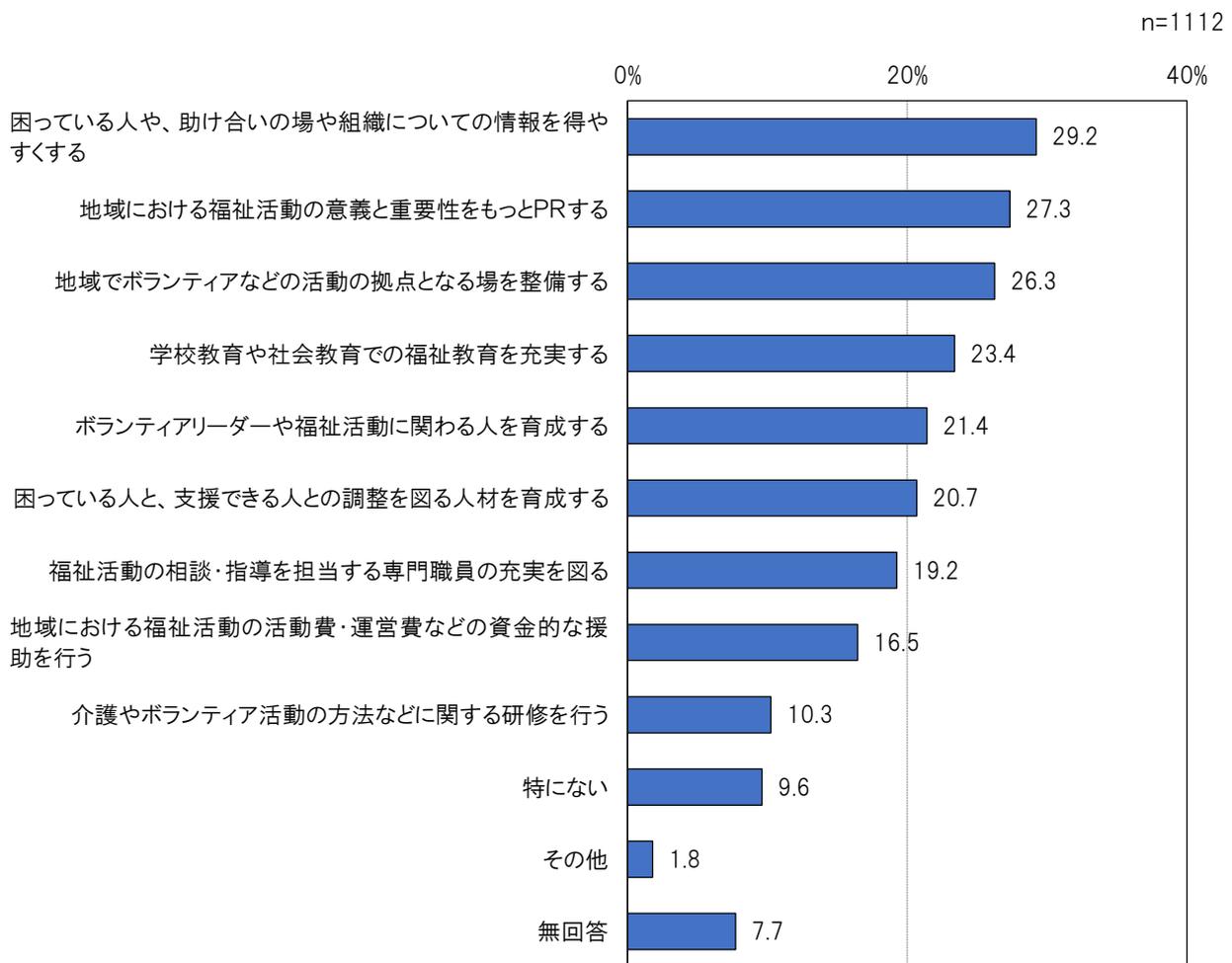
問34- (3) あなたが今後してみたい地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種支援活動などは何ですか。(3つまで○)

n=664



今後してみたい活動については、「地域を元気にする活動」が31.9%で最も高く、次いで「高齢者を支援する活動」が27.1%、「特技や趣味を活かした交流活動」が27.0%などとなっています。

問35 地域における助け合い、支え合い活動を活発にするためには、どのようなことが重要だと思いますか。(3つまで○)



地域における助け合い、支え合い活動を活発にするために重要なことでは、「困っている人や、助け合いの場や組織についての情報を得やすくする」が29.2%で最も高く、次いで「地域における福祉活動の意義と重要性をもっとPRする」が27.3%、「地域でボランティアなどの活動の拠点となる場を整備する」が26.3%などとなっています。

【地域における助け合い、支え合いを活発にするために重要なこと（年代別）】

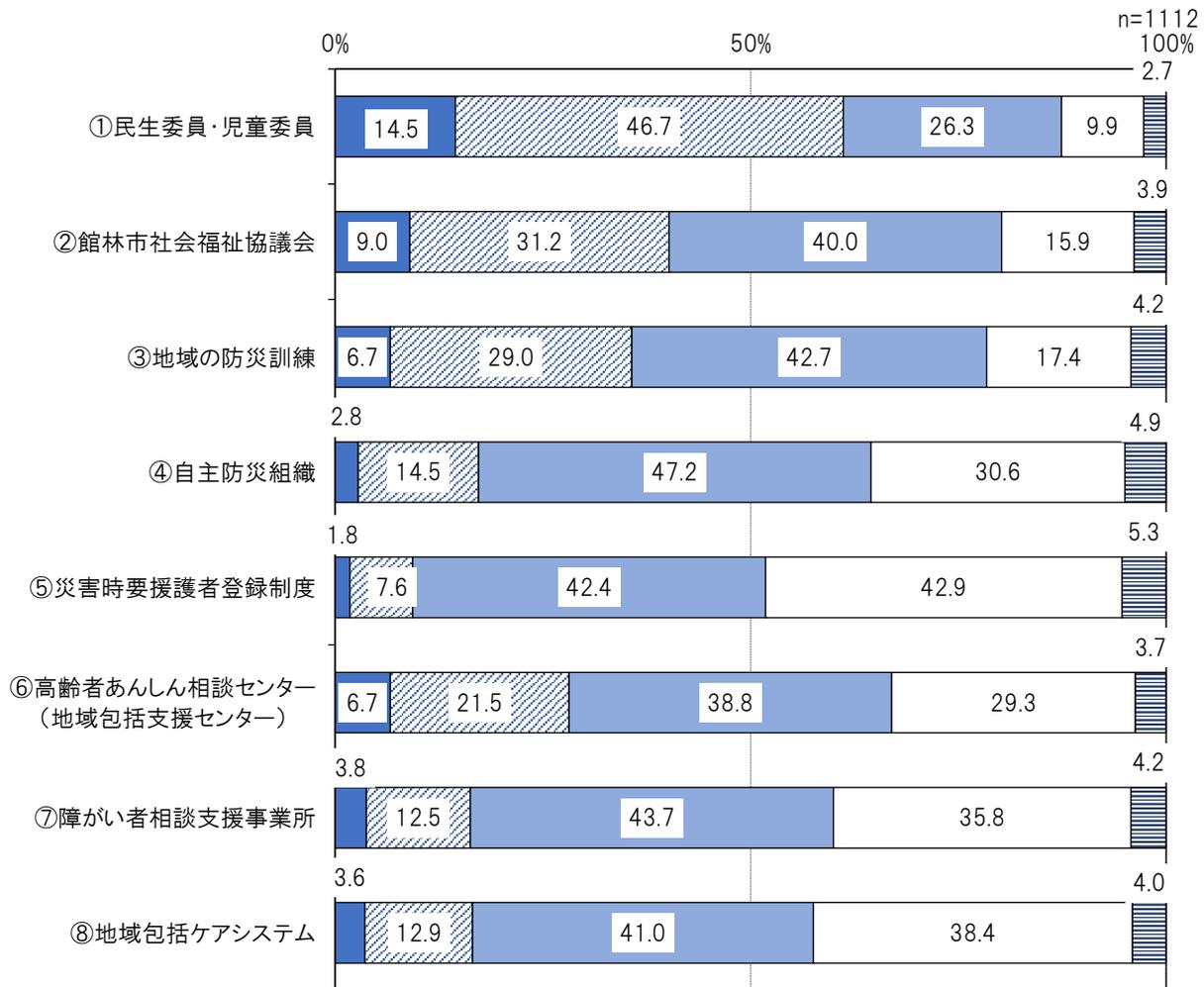
（単位：％）

	地域における福祉活動の意義と重要性をもつとPRする	地域でボランティアなどの活動の拠点となる場を整備する	地域における福祉活動の活動費・運営費などの資金的な援助を行う	ボランティアリーダーや福祉活動に関わる人を育成する	福祉活動の相談・指導を担当する専門職員の充実を図る	困っている人と、支援できる人との調整を図る人材を育成する	困っている人や、助け合いの場や組織についての情報を得やすくする	介護やボランティア活動の方法などに関する研修を行う	学校教育や社会教育での福祉教育を充実する	特になし	その他	無回答
全体	27.3	26.3	16.5	21.4	19.2	20.7	29.2	10.3	23.4	9.6	1.8	7.7
10代(n=11)	27.3	36.4	27.3	27.3	18.2	18.2	27.3	0.0	36.4	9.1	0.0	0.0
20代(n=77)	26.0	31.2	16.9	11.7	20.8	18.2	28.6	9.1	29.9	6.5	1.3	3.9
30代(n=96)	28.1	26.0	20.8	26.0	14.6	21.9	31.3	8.3	31.3	10.4	2.1	1.0
40代(n=155)	23.2	27.7	22.6	21.3	18.7	22.6	32.3	5.8	32.3	9.0	1.9	3.2
50代(n=185)	22.7	28.6	16.8	25.4	24.3	23.8	33.0	10.8	23.8	7.0	2.2	3.8
60代(n=224)	30.4	26.3	18.3	19.6	19.6	22.8	33.5	11.6	21.4	9.8	2.2	7.1
70代(n=225)	33.8	24.4	9.3	19.6	16.9	15.6	26.7	14.7	16.4	11.6	0.9	11.6
80歳以上(n=131)	23.7	19.1	14.5	23.7	19.1	20.6	16.0	7.6	18.3	11.5	2.3	20.6

年代別で見ると、「困っている人や、助け合いの場や組織についての情報を得やすくする」の割合は30～60代で高く、「学校教育や社会教育での福祉教育を充実する」は若い世代での割合が高くなっています。

VI. 福祉サービスなどについて

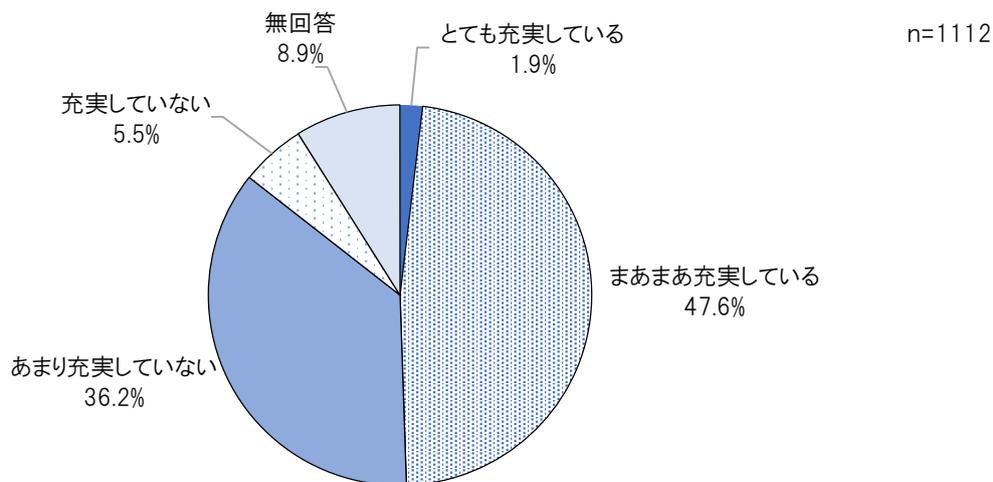
問36 あなたは、次の団体や機関、制度、仕組みを知っていますか。(それぞれひとつだけ○)



■よく知っている ■ある程度知っている ■あまり知らない □まったく知らない ■無回答

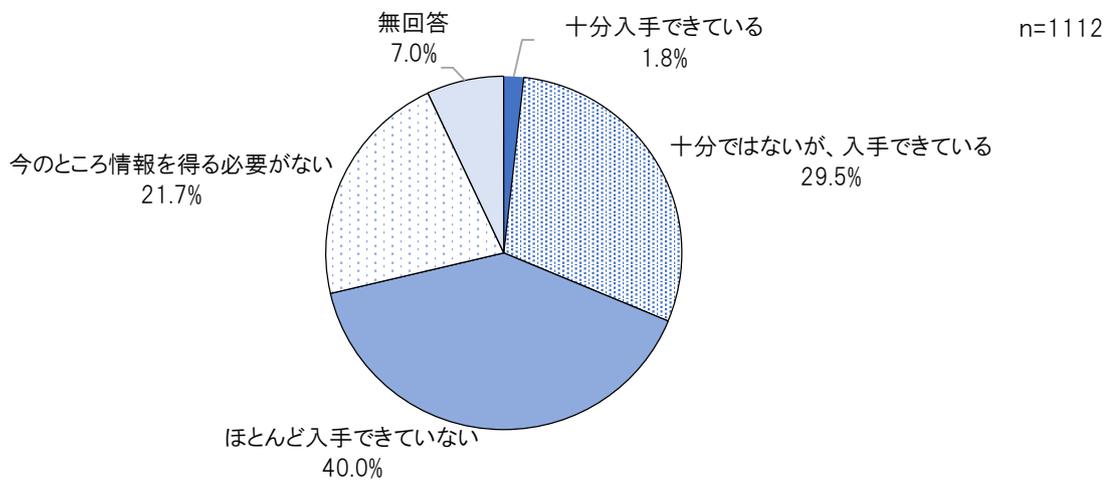
団体や機関、制度、仕組みの認知度では、「民生委員・児童委員」については、「知っている（よく＋ある程度）」が61.2%と半数を超えています。その他の項目については、「知らない（あまり＋まったく）」が5割を超え高くなっています。

問37 館林市の福祉サービスについてどのように感じていますか。(ひとつだけ○)



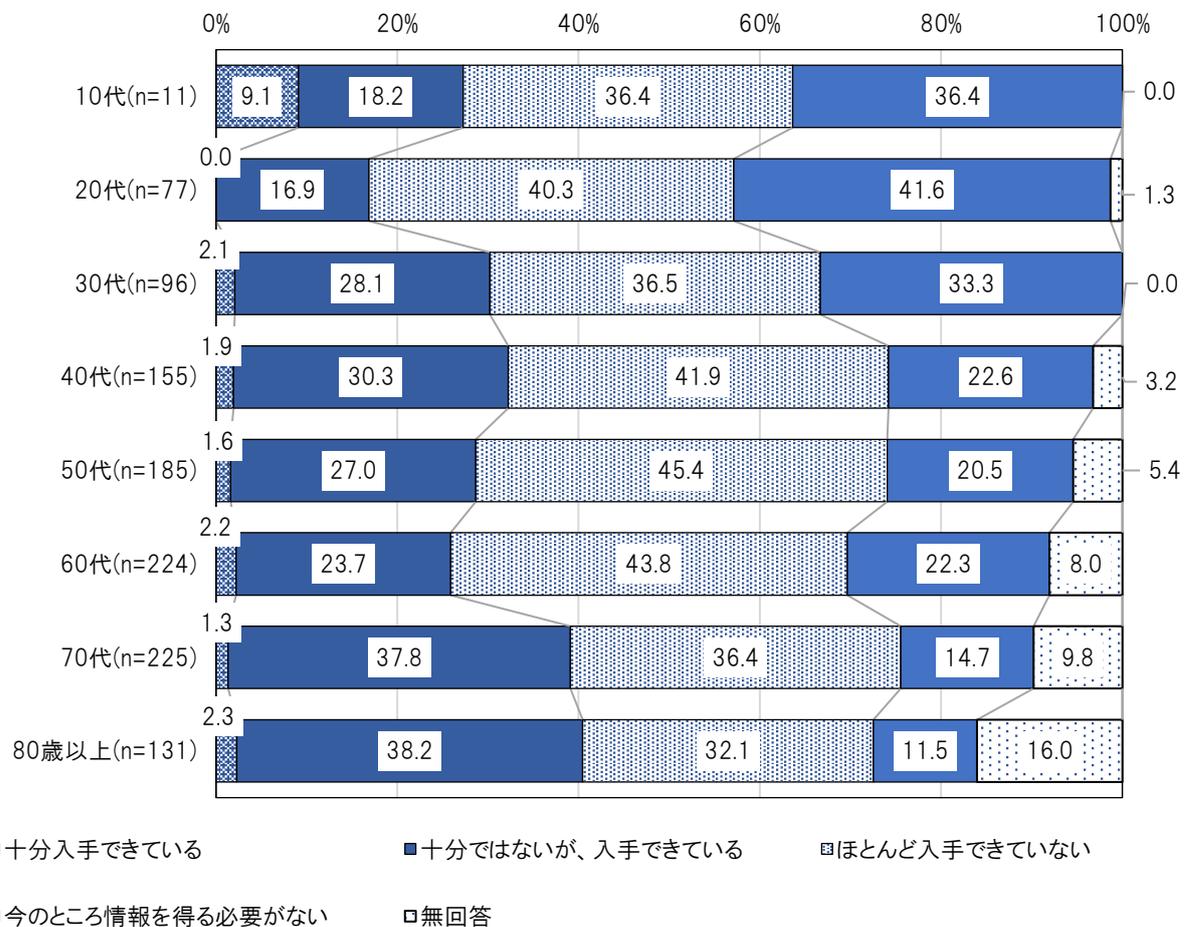
館林市の福祉サービスについて、「充実している（とても+まあまあ）」が49.5%、「充実していない（あまり+充実していない）」が41.7%となっています。

問38-（1）あなたは、自分に必要な「福祉サービス」の情報をどの程度入手できているとお考えですか。(ひとつだけ○)



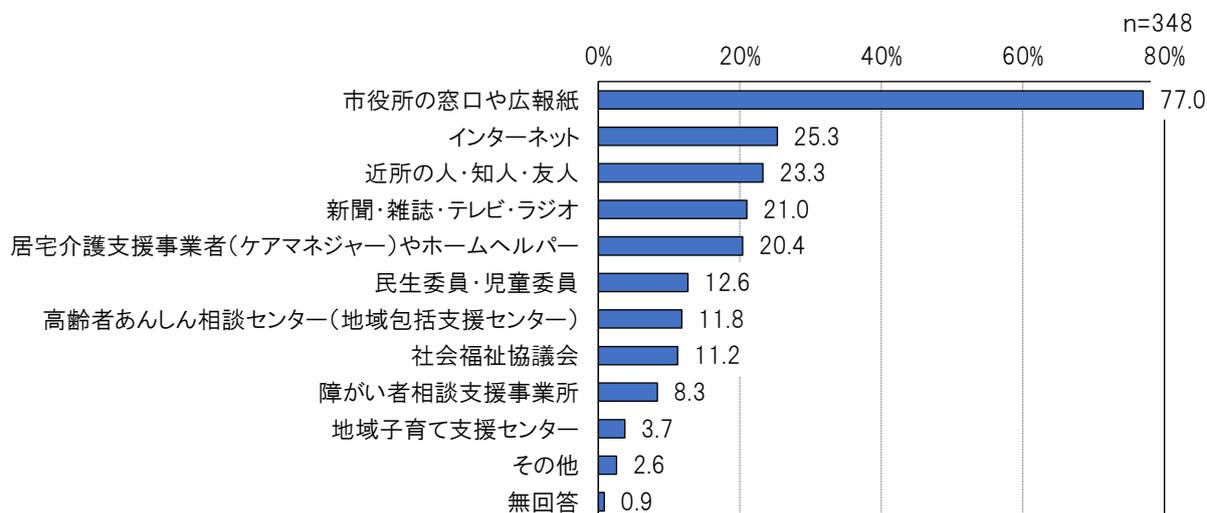
自分に必要な「福祉サービス」の情報の入手状況については、「ほとんど入手出来ていない」が40.0%で最も多く、次いで「入手できている（十分+十分ではない）」が31.3%などとなっています。

【福祉サービスの情報をどの程度入手できているか（年代別）】



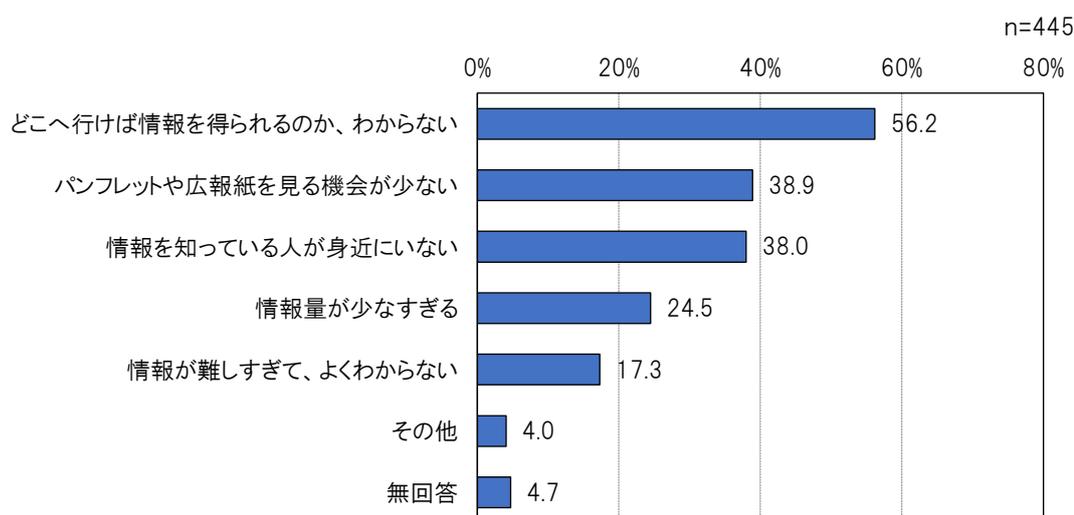
年代別に見ると、10～60代では「ほとんど入手出来ていない」の割合が多くなっており、70代以上では「十分ではないが、入手できている」の割合が多くなっています。

(問38-(1)で「1」「2」を選んだ方におたずねします。)
 問38-(2) あなたは、「福祉サービス」に関する情報を主にどこから入手していますか。
 (あてはまるものすべてに○)



「福祉サービス」に関する情報の入手方法は、「市役所の窓口や広報紙」が77.0%で最も高く、次いで「インターネット」が25.3%、「近所の人・知人・友人」が23.3%となっています。

(問38-(1)で「3」を選んだ方におたずねします。)
 問38-(3) 情報の入手ができていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



「福祉サービス」の情報が入手出来ていない理由については、「どこへ行けば情報を得られるのか、わからない」が56.2%で最も高く、次いで「パンフレットや広報紙を見る機会が少ない」が38.9%、「情報を知っている人が身近にいない」が38.0%などとなっています。

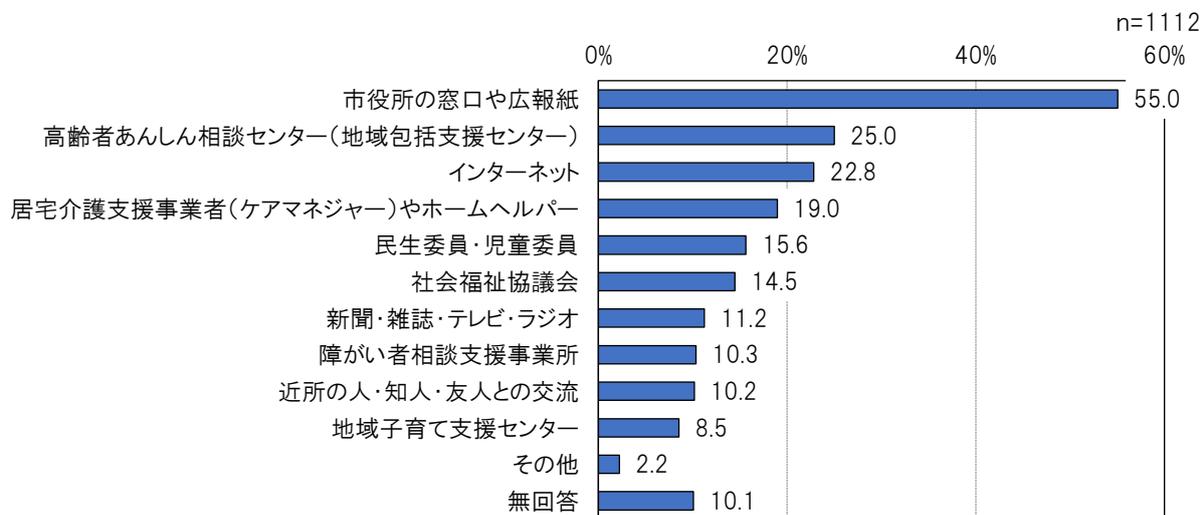
【情報の入手ができていない理由（年代別）】

（単位：％）

	パンフレットや広報紙を見る機会が少ない	どこへ行けば情報を得られるのか、わからない	近くにいない 情報を知っている人が身	情報が難しすぎて、よくわからない	情報量が少なすぎる	その他	無回答
全体	38.9	56.2	38.0	17.3	24.5	4.0	4.7
10代(n=4)	25.0	100.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代(n=31)	48.4	45.2	25.8	22.6	29.0	3.2	0.0
30代(n=35)	37.1	57.1	42.9	28.6	25.7	2.9	2.9
40代(n=65)	43.1	53.8	32.3	18.5	21.5	9.2	1.5
50代(n=84)	53.6	46.4	36.9	17.9	25.0	0.0	4.8
60代(n=98)	32.7	62.2	40.8	10.2	25.5	6.1	4.1
70代(n=82)	28.0	65.9	40.2	14.6	28.0	3.7	7.3
80歳以上(n=42)	35.7	52.4	42.9	26.2	16.7	2.4	9.5

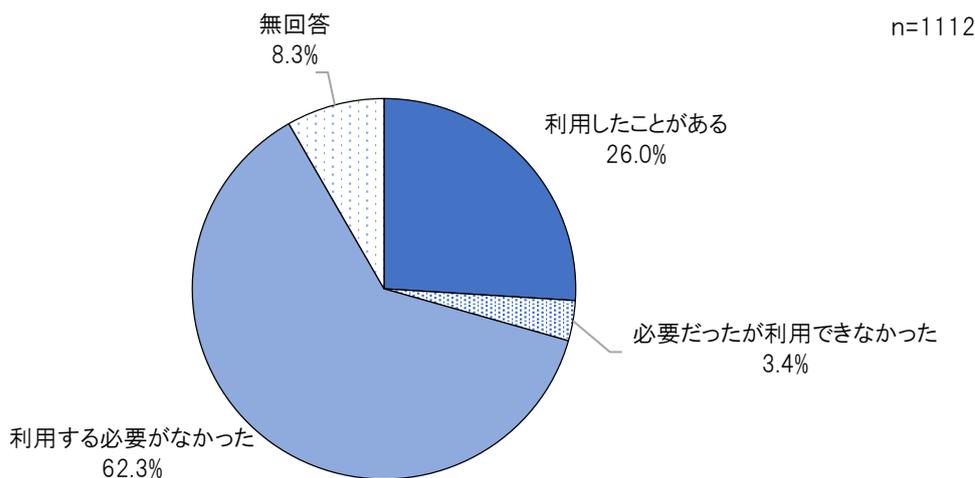
年代別に見ると、20代と50代では「パンフレットや広報を見る機会がない」の割合が最も高く、その他の年代では「どこへ行けば情報を得られるのか、わからない」の割合が高くなっています。

問39 館林市の「福祉サービス」に関する情報の提供について、何をもっと充実すべきだと思いますか。(3つまで○)



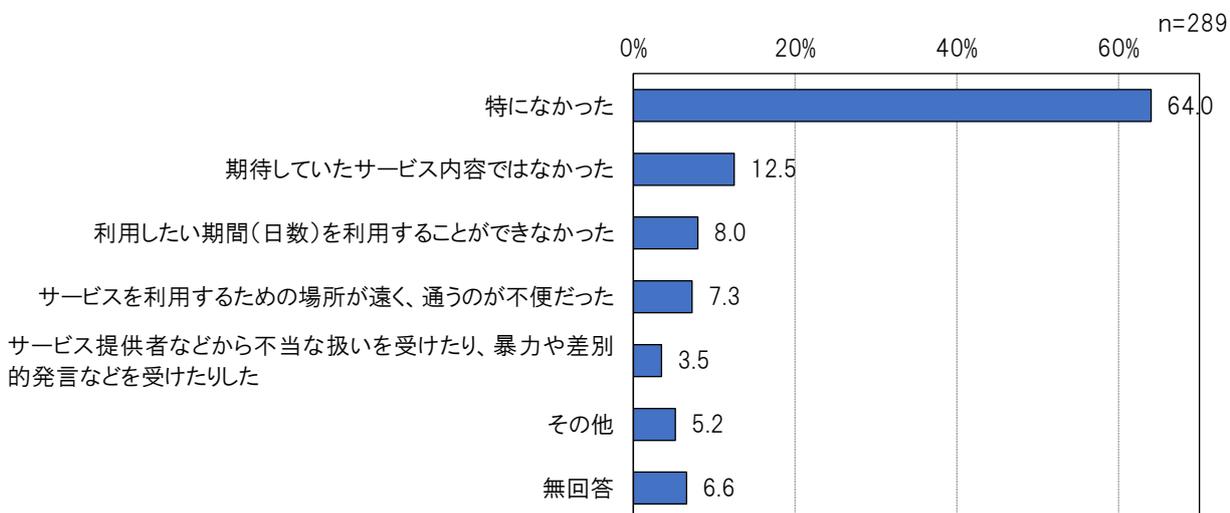
「福祉サービス」の情報提供について充実すべきだと思うことは、「市役所の窓口や広報紙」が55.0%で最も高く、次いで「高齢者あんしん相談センター(地域包括支援センター)」が25.0%、「インターネット」が22.8%などとなっています。

問40- (1) あなたは、自分あるいは家族のことで「福祉サービス」を実際に利用したことがありますか。(ひとつだけ○)



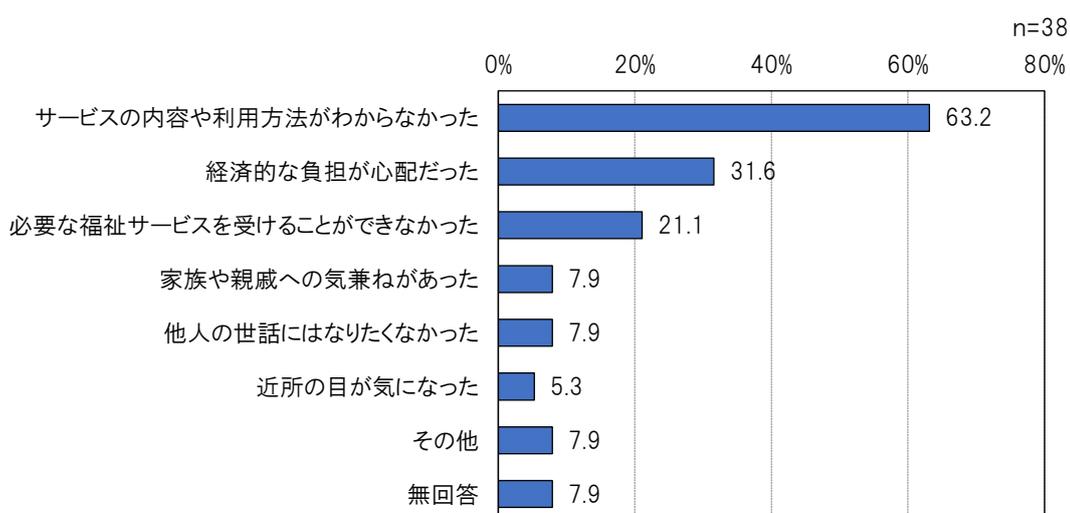
「福祉サービス」を利用したことがあるかについて、「利用する必要がなかった」が62.3%で最も高く、次いで「利用したことがある」が26.0%、「必要だったが利用できなかった」が3.4%となっています。

(問40-(1)で「1」を選んだ方におたずねします。)
 問40-(2) 「福祉サービス」の利用にあたって、何かお困りのことはありましたか。(あてはまるものすべてに○)



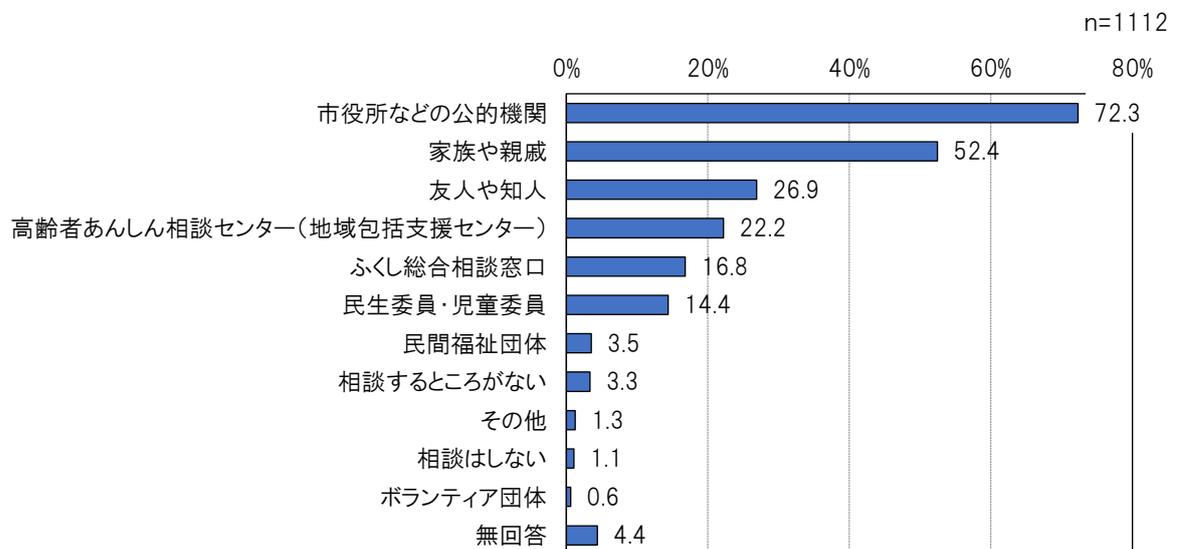
「福祉サービス」の利用にあたって、困ったことがあったかについて、「特になかった」が64.0%で最も高く、次いで「期待していたサービス内容ではなかった」が12.5%、「利用したい期間(日数)を利用することができなかった」が8.0%などとなっています。

(問40-(1)で「2」を選んだ方におたずねします。)
 問40-(3) 「福祉サービス」を利用できなかった理由は、下記のどれに該当しますか。(3つまで○)



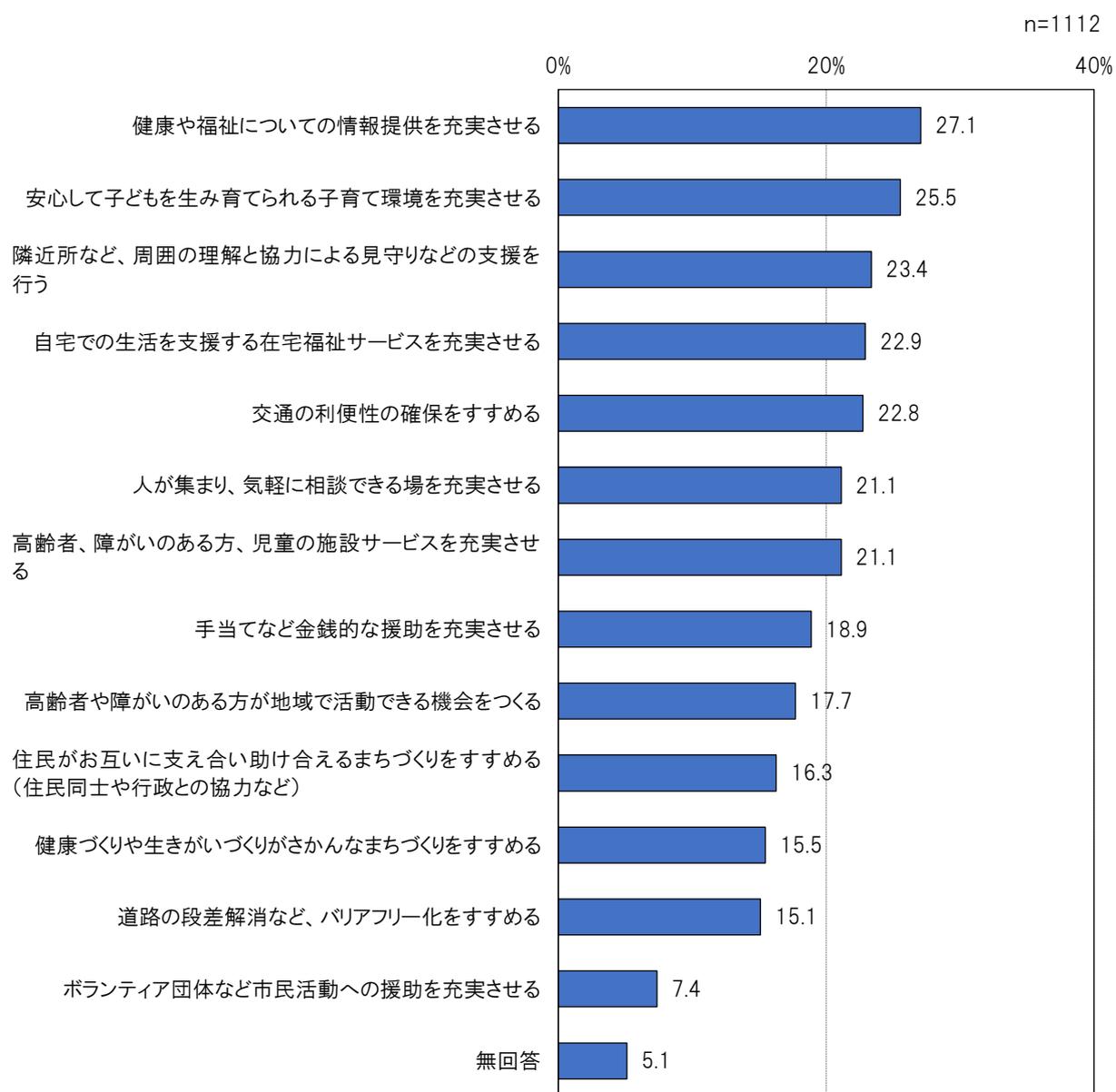
「福祉サービス」が必要だったが利用できなかった理由では、「サービスの内容や利用方法がわからなかった」が63.2%で最も高くなっており、次いで「経済的な負担が心配だった」が31.6%、などとなっています。

問4-1 福祉サービスの利用が必要になったときどこに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)



「福祉サービス」の利用が必要になったときの相談先では、「市役所などの公的機関」が72.3%で最も高く、次いで「家族や親戚」が52.4%、「友人や知人」が26.9%などとなっています。

問 4 2 館林市の保健福祉施策をより充実していくために、あなたが重要と考える取組はどれですか。(3つまで○)



市の保健福祉施策をより充実していくために、重要と考える取組では、「健康や福祉についての情報提供を充実させる」が27.1%で最も高く、次いで「安心して子どもを産み育てられる子育て環境を充実させる」が25.5%、「隣近所など、周囲の理解と協力による見守りなどの支援を行う」が23.4%、「自宅での生活を支援する在宅福祉サービスを充実させる」が22.9%などとなっています。

【館林市の保健施策をより充実していくために重要だと考える取組（年代別）】

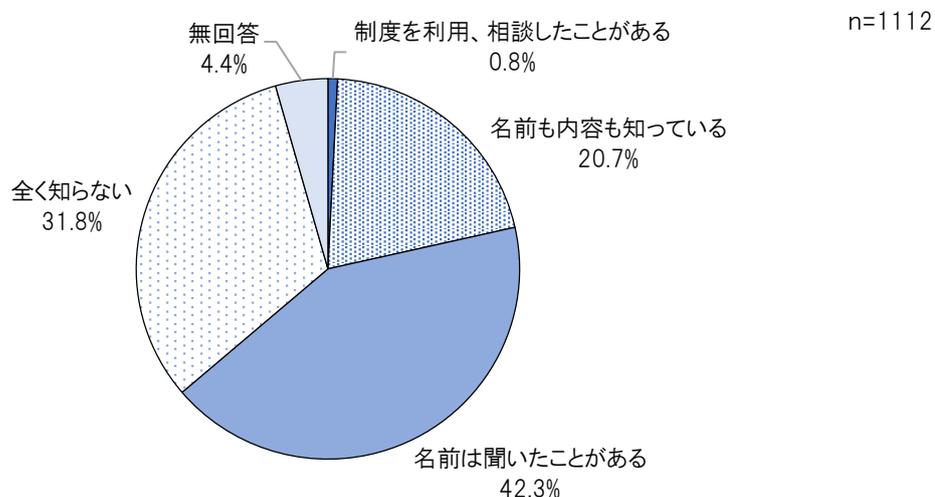
（単位：％）

	隣近所など、周囲の理解と協力による見守りなどの支援を行う	ボランティア団体など市民活動への援助を充実させる	高齢者や障がいのある方が地域で活動できる機会をつくる	高齢者や障がいのある方が地域で活動できる機会をつくる	人が集まり、気軽に相談できる場を充実させる	健康や福祉についての情報提供を充実させる	住民が互いに支え合い助け合えるまちづくりをすすめる（住民同士や行政との協力など）	健康づくりや生きがいづくりがさかんなまちづくりをすすめる	自宅での生活を支援する在宅福祉サービスを充実させる	高齢者、障がいのある方、児童の施設サービスを充実させる	安心して子どもを産み育てられる子育て環境を充実させる	手当てなど金銭的な援助を充実させる	交通の利便性の確保をすすめる	道路の段差解消など、バリアフリー化をすすめる	その他
全体	23.4	7.4	17.7	21.1	27.1	16.3	15.5	22.9	21.1	25.5	18.9	22.8	15.1	2.1	
10代(n=11)	27.3	9.1	36.4	27.3	18.2	18.2	0.0	9.1	36.4	18.2	18.2	18.2	0.0	0.0	
20代(n=77)	22.1	9.1	18.2	16.9	27.3	7.8	11.7	7.8	23.4	32.5	26.0	15.6	11.7	6.5	
30代(n=96)	21.9	9.4	12.5	28.1	25.0	18.8	10.4	7.3	14.6	49.0	33.3	12.5	13.5	4.2	
40代(n=155)	19.4	9.0	18.7	20.0	25.8	10.3	9.7	19.4	23.2	36.8	29.7	23.2	21.9	0.6	
50代(n=185)	13.0	7.6	20.5	19.5	31.9	10.8	15.7	27.0	27.6	28.1	18.9	24.9	20.0	2.2	
60代(n=224)	22.8	7.6	16.1	17.4	30.4	16.5	17.4	27.2	25.0	25.4	19.2	23.7	14.3	2.7	
70代(n=225)	29.8	5.8	16.9	24.9	24.9	22.2	20.9	28.0	12.4	13.8	8.4	24.0	11.6	0.9	
80歳以上 (n=131)	35.1	5.3	17.6	22.1	22.9	23.7	16.8	26.7	18.3	9.9	9.2	26.7	10.7	0.8	

年代別で見ると、10代で「高齢者や障がいのある方が地域で活動できる機会をつくる」、「高齢者、障がいのある方、児童の施設サービスを充実させる」、20～40代で「安心して子どもを産み育てられる子育て環境を充実させる」、50～60代で「健康や福祉についての情報提供を充実させる」、70代以上で「隣近所など、周囲の理解と協力による見守りなどの支援を行う」の割合が高くなっています。

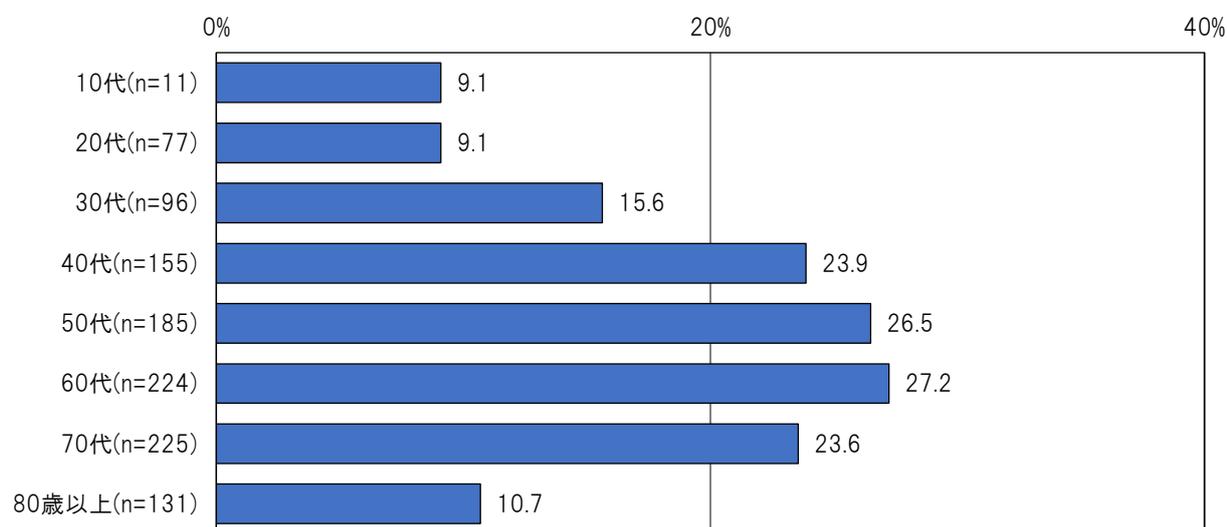
VII. 成年後見制度について

問43 あなたは「成年後見制度」についてどのくらい知っていますか。(ひとつだけ○)



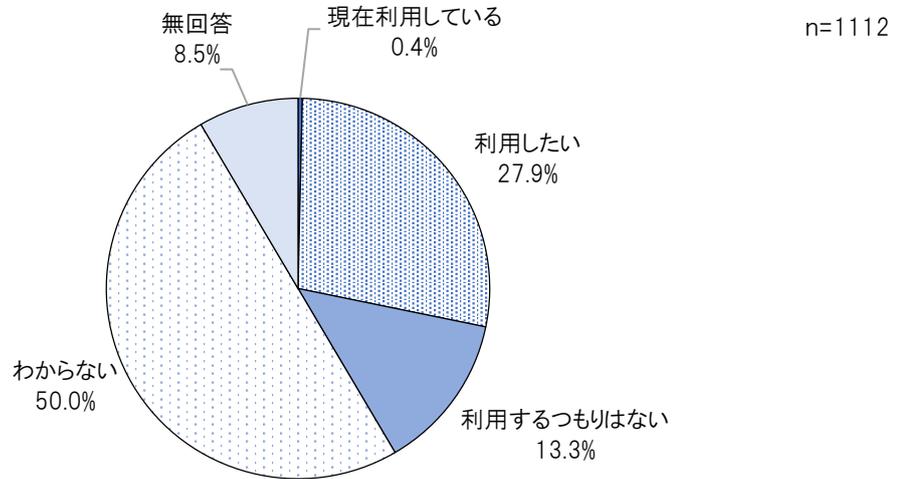
「成年後見制度」をどのくらい知っているかについて、「名前も内容も知っている」が20.7%、「全く知らない」が31.8%となっています。

【「成年後見制度」を知っている（年代別）】



年代別で見ると、「成年後見制度」を知っている割合は60代が27.2%で最も高く、次いで50代が26.5%、40代が23.9%などとなっています。

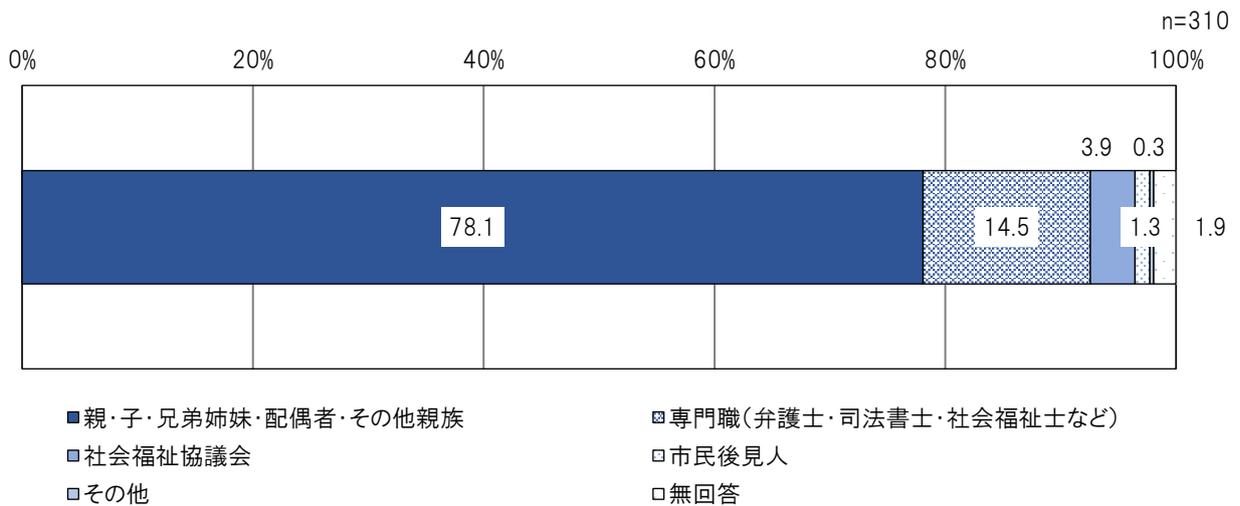
問44-1) 今後あなたやあなたの家族が認知症などにより判断する力が衰えたとき、成年後見制度を利用したいと思いますか。(ひとつだけ○)



「成年後見制度」を利用したいと思うかについて、「わからない」が50.0%で最も高く、次いで「利用したい」が27.9%、「利用するつもりはない」が13.3%などとなっています。

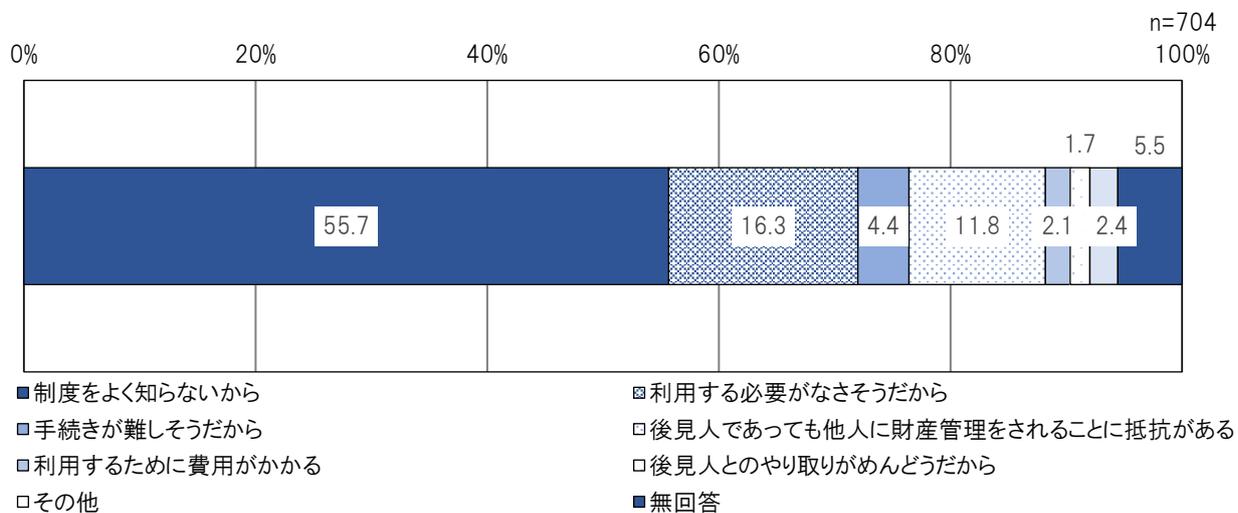
(問44-1)で「2」を選んだ方におたずねします。

問44-2) 後見人は誰になってもらいたいですか。(ひとつだけ○)



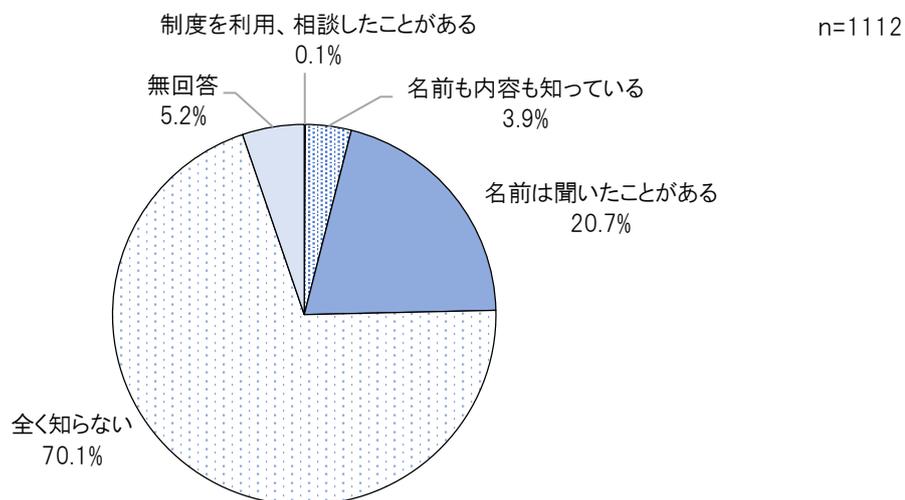
誰に後見人になってもらいたいかについて、「親・子・兄弟姉妹・配偶者・その他親族」が78.1%で最も高く、次いで「専門職(弁護士・司法書士・社会福祉士など)」が14.5%などとなっています。

(問44-(1)で「3」「4」を選んだ方におたずねします。)
問44-(3) 選んだ理由は何ですか。(ひとつだけ○)



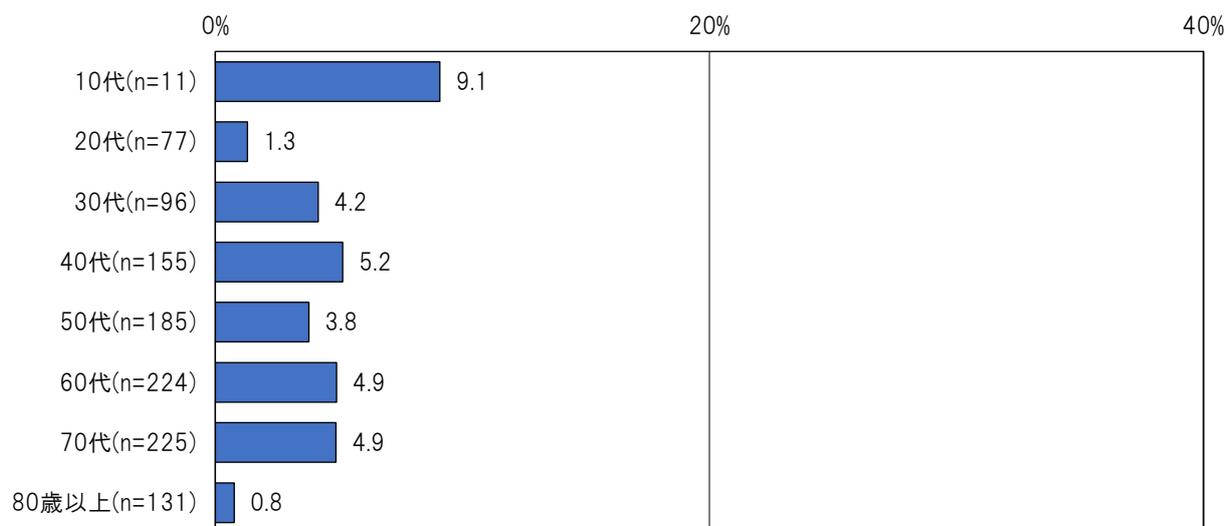
「制度を利用したくない」、「わからない」を選んだ理由は、「制度をよく知らないから」が55.7%で最も高く、次いで「利用する必要がなさそうだから」が16.3%、「後見人であっても他人に財産を管理されることに抵抗がある」が11.8%などとなっています。

問45 市民後見制度を知っていますか。(ひとつだけ○)



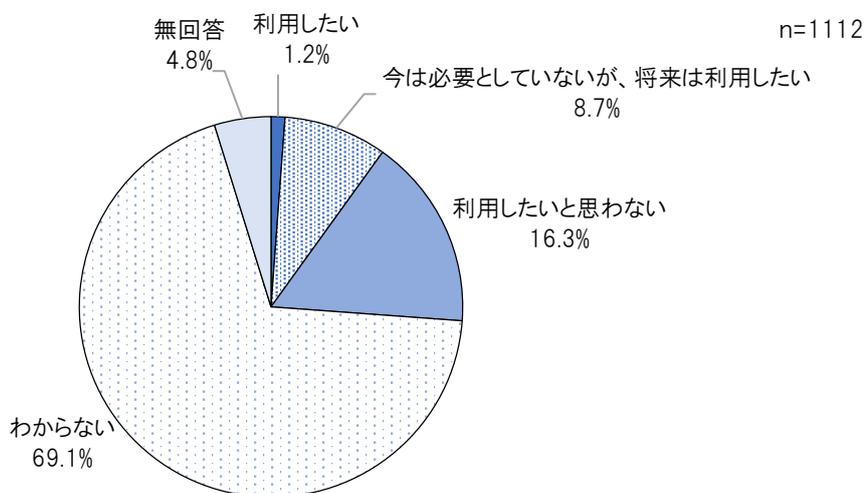
「市民後見制度」をどのくらい知っているかについて、「名前も内容も知っている」が3.9%、「全く知らない」が70.1%となっています。

【「市民後見制度」を知っている（年代別）】



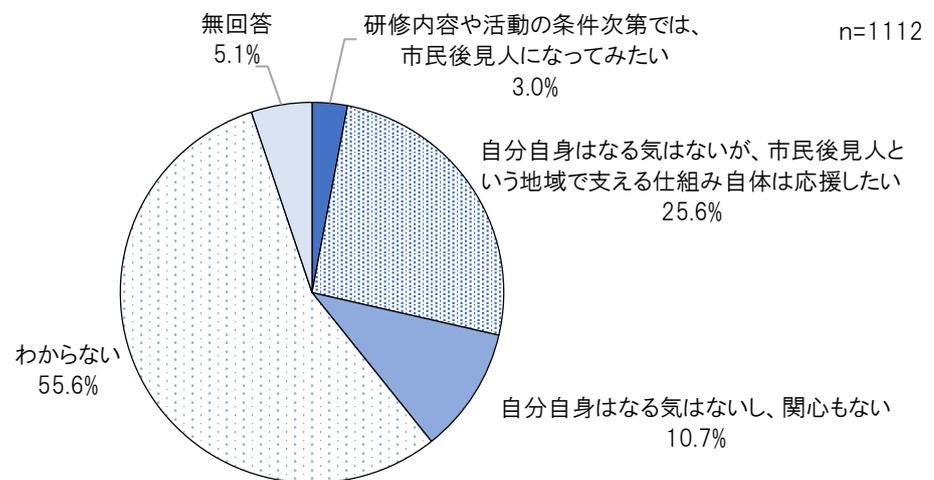
年代別に見ると、「市民後見制度」を知っている割合は10代が9.1%で最も高く、次いで40代が5.2%、60代と70代が4.9%などとなっています。

問46 市民後見制度を利用したいと思いますか。(ひとつだけ○)



「市民後見制度」を利用したいと思うかについて、「わからない」が69.1%で最も高く、次いで「利用したいと思わない」が16.3%、「今は必要としていないが、将来は利用したい」が8.7%などとなっています。

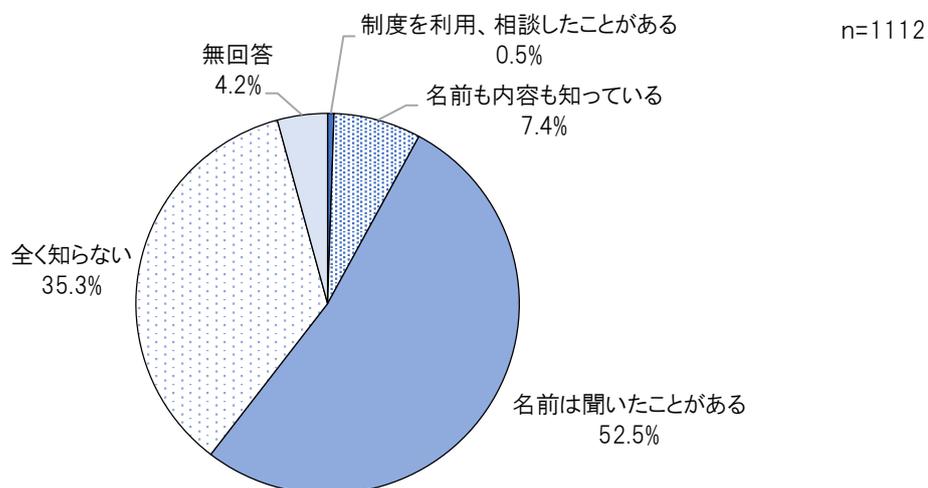
問47 市民後見人について、あなたの考えに最も近いものをお答えください。(ひとつだけ○)



「市民後見人」について、「わからない」が55.6%で最も高く、次いで「自分自身はなる気はないが、市民後見人という地域で支える仕組み自体は応援したい」が25.6%、「自分自身はなる気はないし、関心もない」が10.7%などとなっています。

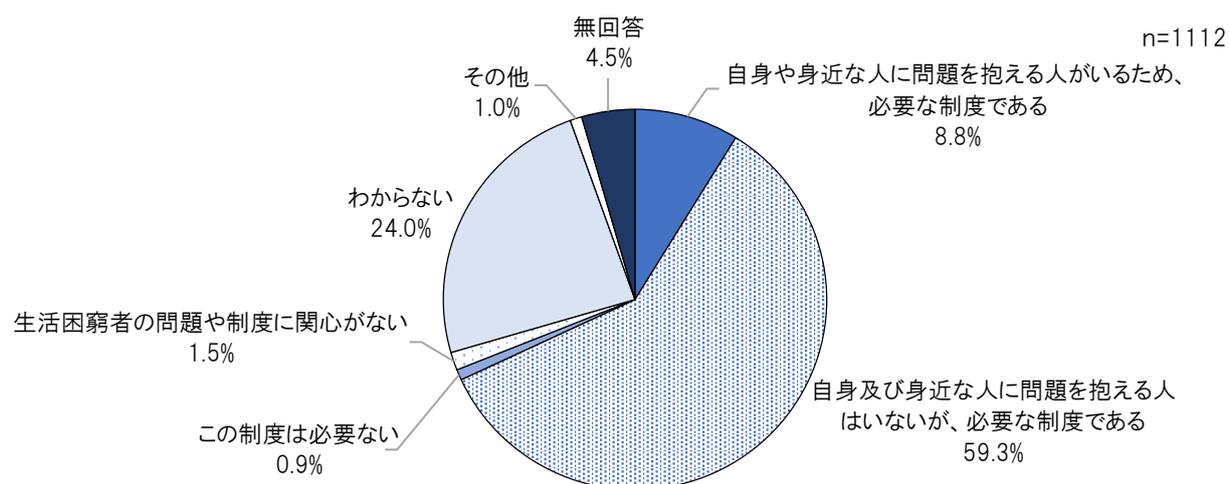
VIII. 生活困窮者の自立支援について

問48 生活困窮者自立支援制度を知っていますか。(ひとつだけ○)



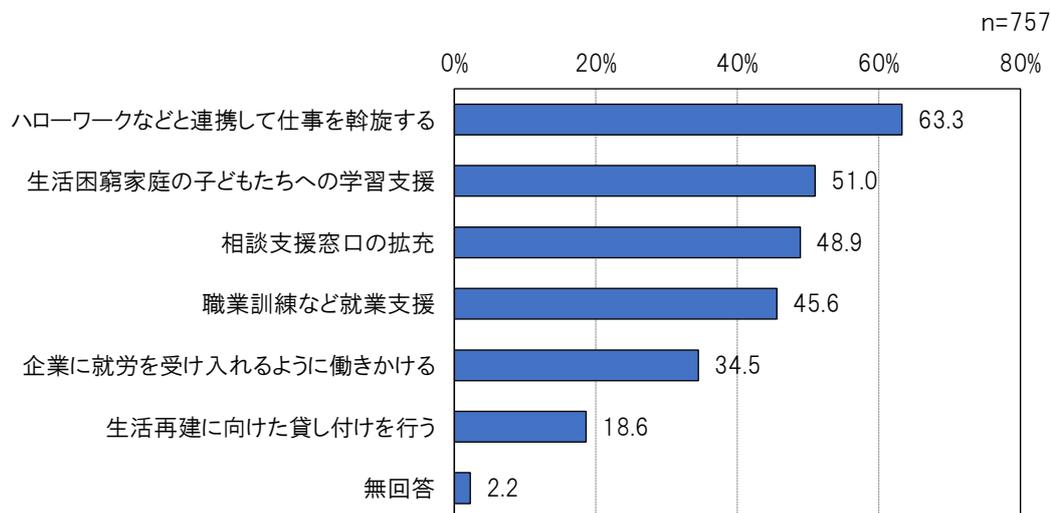
「生活困窮者自立支援制度」を知っているかについて、「名前も内容も知っている」が7.4%、「全く知らない」が35.3%となっています。

問49- (1) あなたは生活困窮者の問題や支援について、どのように思いますか。(ひとつだけ○)



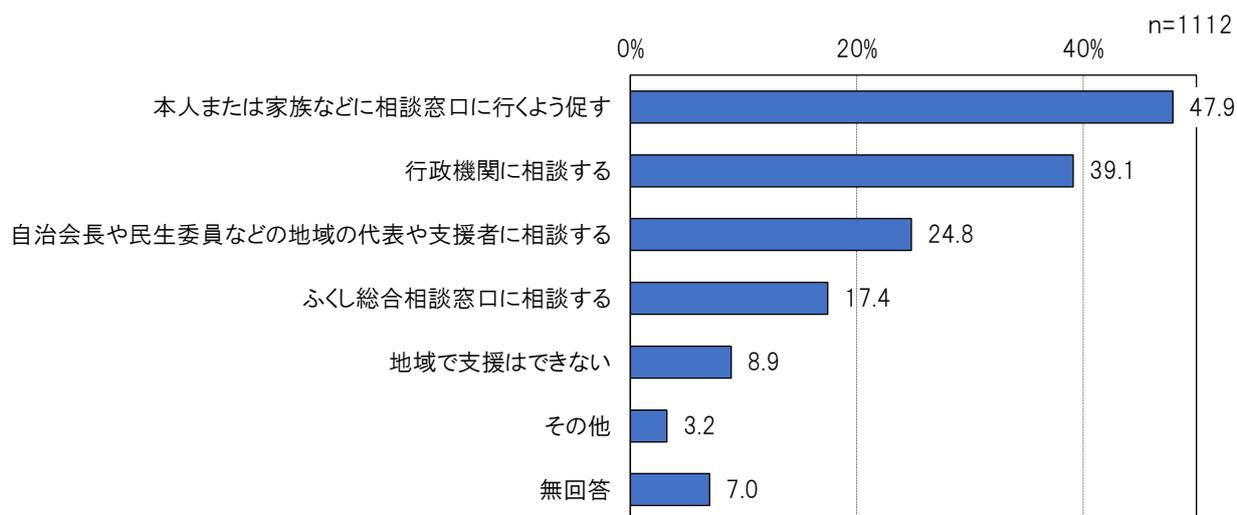
生活困窮者の問題や支援について、「必要な制度である(問題を抱えているの有無に関わらず)」が68.1%と割合が高くなっています。

(問49-(1)で「1」「2」を選んだ方におたずねします。)
 問49-(2) 生活困窮者の自立支援に向けて、市が行うべき支援として望ましいと思うのはどのような取組ですか。(あてはまるものすべてに○)



生活困窮者の自立支援に向けて、市が行うべき支援としては、「ハローワークなどと連携して仕事を斡旋する」が63.3%で最も高く、次いで「生活困窮家庭の子どもたちへの学習支援」が51.0%などとなっています。

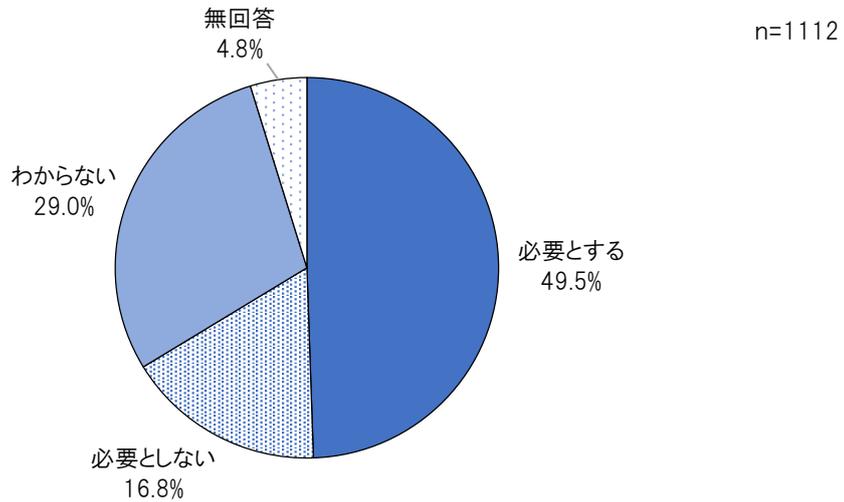
問50 地域で生活困窮者を支援する場合、あなたならどのような支援ができると思いますか。(あてはまるものすべてに○)



地域で生活困窮者を支援する場合にできることについては、「本人または家族などに相談窓口に行くよう促す」が47.9%で最も高く、次いで「行政機関に相談する」が39.1%、「自治会長や民生委員などの地域の代表や支援者に相談する」が24.8%などとなっています。

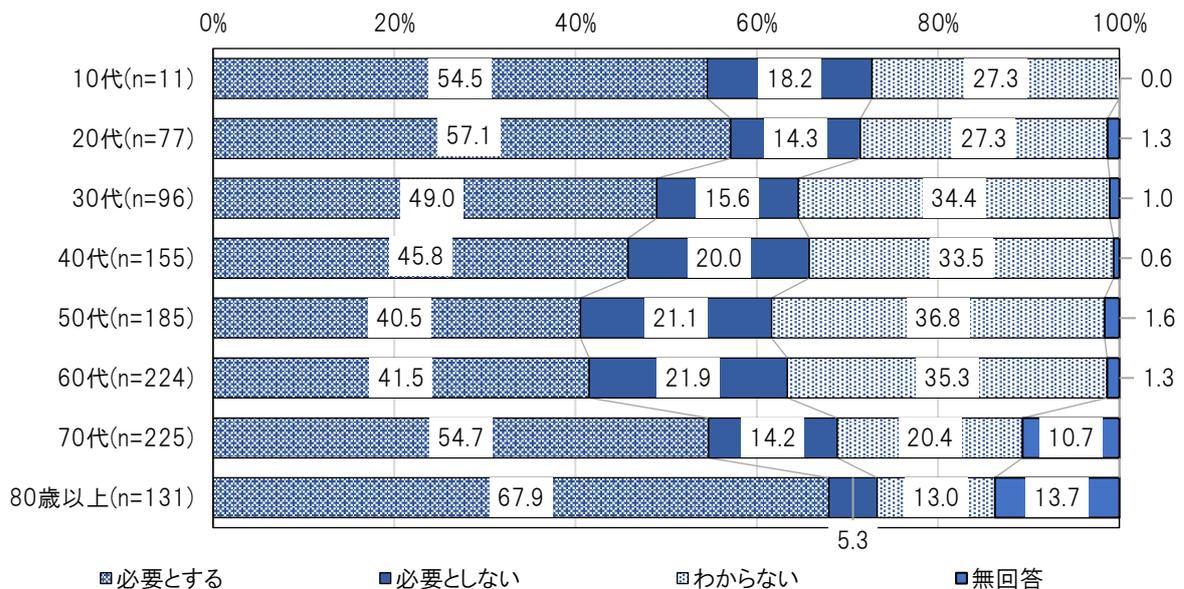
Ⅷ. 災害について

問51-(1) あなたは、地震など災害発生時に、誰かの助けを必要としますか。(ひとつだけ○)



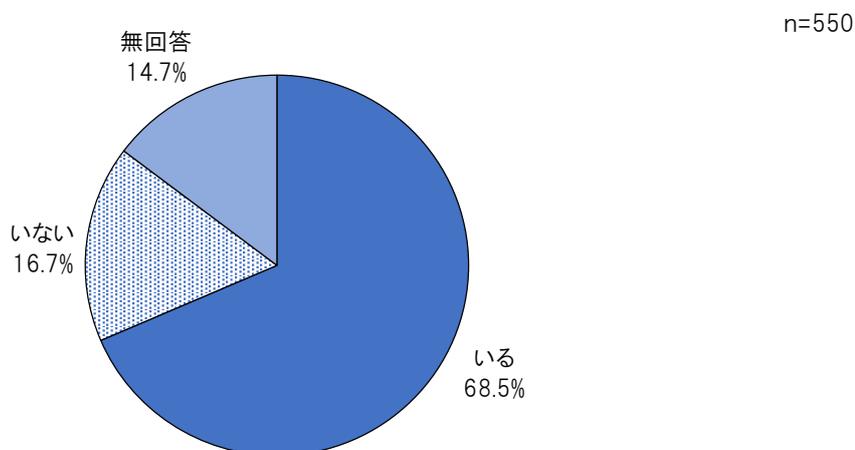
地震など災害発生時に、誰かの助けを必要とするかについて、「必要とする」が49.5%、「必要としない」が16.8%となっています。

【災害発生時に誰かの助けを必要とするか（年代別）】



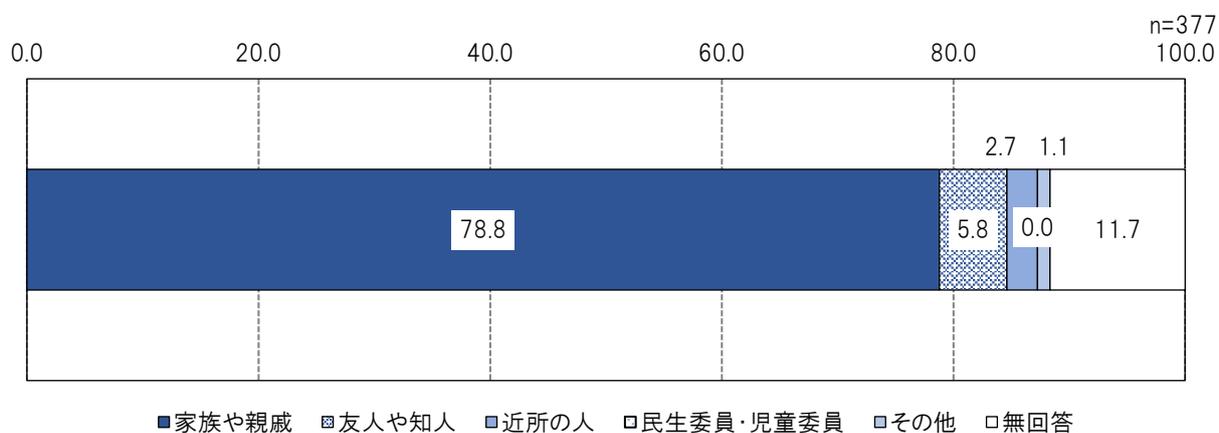
年代別に見ると、全ての年代で「誰かの助けを必要とする」割合が4割を超えており、特に、80歳以上で67.9%と最も高くなっています。

(問51-(1)で「1」を選んだ方におたずねします。)
 問51-(2) あなたは、災害発生時に助けてもらえる人がいますか。(ひとつだけ○)



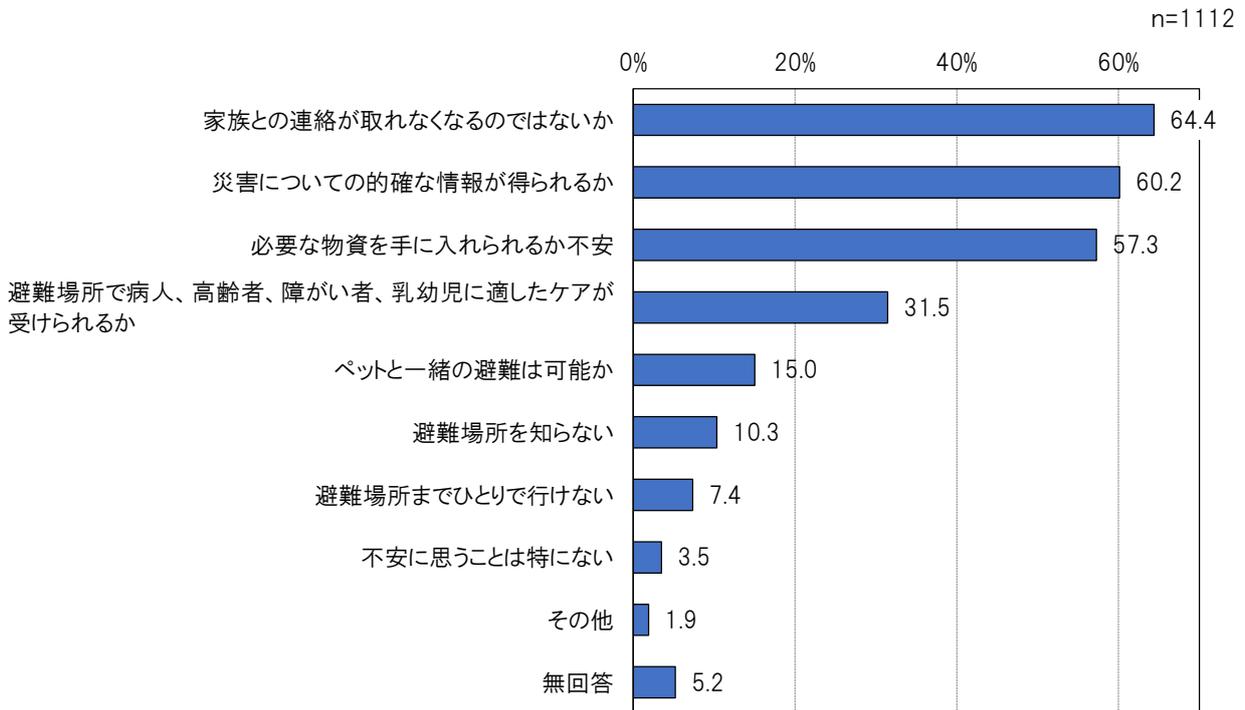
「必要とする」場合に、助けてもらえる人がいるかについては、「いる」が68.5%、「いない」が16.7%となっています。

(問51-(2)で「1」を選んだ方におたずねします。)
 問51-(3) 助けてもらえる人がいる場合、どのような人ですか。(ひとつだけ○)



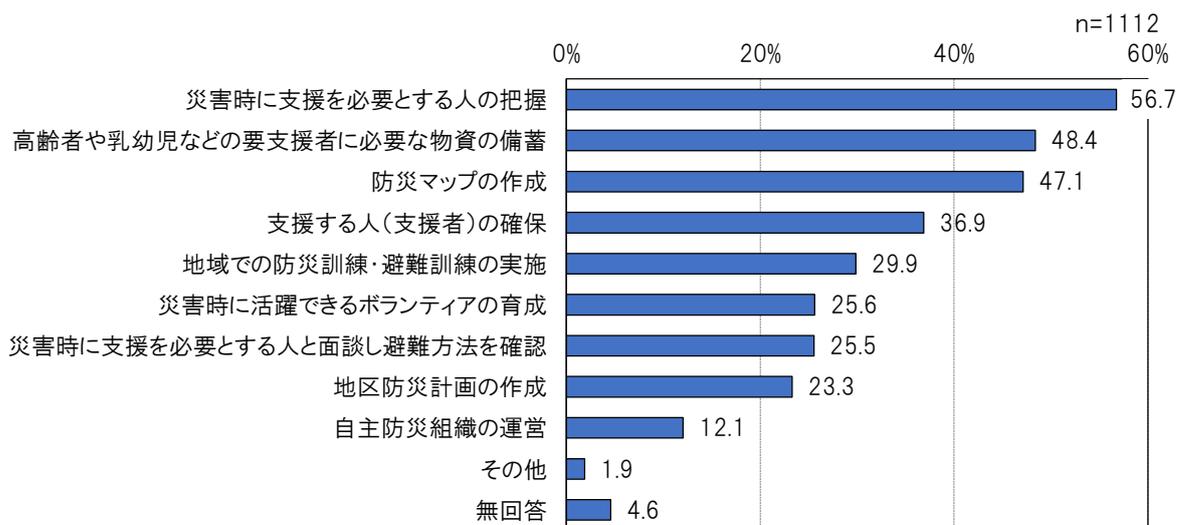
誰に助けてもらうかは、「家族や親戚」が78.8%で最も高く、次いで「友人や知人」が5.8%、「近所の人」が2.7%などとなっています。

問5 2 災害時に不安に思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



災害時に不安に思うことは、「家族との連絡が取れなくなるのではないか」が64.4%で最も高く、次いで「災害についての的確な情報が得られるか」が60.2%、「必要な物資を手に入れられるか不安」が57.3%などとなっています。

問5 3 あなたは、災害時の対策として、地域でどのような備えをしておくことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



災害時のための地域での必要な備えについては、「災害時に支援を必要とする人の把握」が56.7%で最も高く、次いで「高齢者や乳幼児などの要支援者に必要な物資の備蓄」が48.4%などとなっています。

【災害時の対策として、地域で備えておくこと（年代別）】

（単位：％）

	災害時に支援を必要とする人の把握	災害時に支援を必要とする人と面談して避難方法の確認をする（個別避難計画の作成）	支援する人（支援者）の確保	地域での防災訓練・避難訓練の実施	防災マップの作成	自主防災組織の運営	災害時に活躍できるボランティアの育成	高齢者や乳幼児などの要支援者に必要な物資の備蓄	地区防災計画の作成	その他	無回答
全体	56.7	25.5	36.9	29.9	47.1	12.1	25.6	48.4	23.3	1.9	4.6
10代(n=11)	63.6	54.5	36.4	0.0	27.3	9.1	36.4	27.3	9.1	0.0	0.0
20代(n=77)	48.1	16.9	36.4	22.1	51.9	5.2	16.9	55.8	16.9	2.6	2.6
30代(n=96)	58.3	28.1	39.6	32.3	55.2	10.4	27.1	55.2	28.1	4.2	0.0
40代(n=155)	51.6	25.2	32.3	31.0	55.5	16.1	31.6	49.7	29.0	1.9	1.3
50代(n=185)	56.2	26.5	35.1	31.4	57.8	16.8	29.2	53.5	21.6	1.6	2.7
60代(n=224)	66.1	24.6	37.5	29.9	47.8	9.4	25.9	53.1	22.8	1.8	2.7
70代(n=225)	56.0	23.6	37.8	32.4	39.1	12.4	19.1	39.1	25.3	1.8	8.0
80歳以上(n=131)	53.4	30.5	40.5	28.2	28.2	9.9	26.7	39.7	16.0	0.8	12.2

年代別で見ると、10代、30代、60代以上で「災害時に支援を必要とする人の把握」、20代では「高齢者や乳幼児などの要支援者に必要な物資の備蓄」、40～50代では「防災マップの作成」の割合が高くなっています。

【自由記入】

○館林市を『安心して暮らせるまち』にするには何が必要だと思えますか。何かご意見などがございましたら、ご自由にお書きください。

各年代より代表して1つずつご意見を紹介します。

居住地区	年代	ご意見
六郷地区	10代	近所の関わりはほとんどない。トラブルがあっても相談できない。身体障がい者より発達障がいなどが増えている。特別支援教育を受けている子供たちは、通常学級の子にバカにされたりする。兄弟姉妹も心無い言葉をうけることがある。障がい児の家族への配慮も必要です。
多々良地区	20代	女性が安心して子供を産める事、障がいのある方が、その人らしく生きられる事、高齢になっても人としての尊厳が守られる事、が希望です。私には障がいがあり、辛いことや嫌なことが忘れられなくフラッシュバックを繰り返し辛いです。私の特性を理解して対応してくれれば、もっと楽に生きられたのに。館林は障がいの早期発見早期介入教室をしてくれていて、素晴らしいと思います。今の館林に生まれていたら違ったかも、母の無知の為です。本物の専門家が居たら良かったのに。今まで生きてきて、私を大切に思ってくれる人にも、分かってくれる人にも会いました。「そのままの私でいいよ」と言ってくれる人が増えたら、生きやすいと思います。知ることと工夫することで、私達は幸せになれるも、傷つきすぎて世の中が怖くなった人がたくさんいます。傷つけないで下さい。
館林地区	30代	引っ越してきて3年ほど経ちますがただ住んでいるだけでは館林市の社会福祉についてほとんど無知な状態です。必要になれば自分から調べたりして関心が向くようになるとは思いますが、市民が普段使うお店等に館林市は社会福祉にこういう風に力を入れていますよ、こういうことをしていますよなどの何かしらのアピールがあると関心がない人にも市の社会福祉への取り組み姿勢が伝わるのではないかなと思いました。
館林地区	40代	私くらいの世代ですと共働きの家庭が多く、何でも地域にゆだねられると生活の負担や、家庭への犠牲が発生します。(育成会ですら負担となっています) 行政や福祉を担う役割の人で、分担してほしい。何か、自分に役が回ってくるのは本当に大変。時代に合わせて、地区とか育成会とかの在り方を見直して下さい。
館林地区	50代	高齢者の支援、ボランティア等、出来る事はやりたいが、何をしたら良いのか、何が必要なのかの情報ほしい。気楽に参加出来るボランティアサークルがあれば良いと思う。(ベテランが、仕切りがち。では参加をためらう)

居住地区	年代	ご意見
館林地区	60代	<p>60歳を過ぎ、リタイヤした高齢者が生きがい学習や生きがいイベントなどに参加できるような行事、例えば、トレッキング山登りや散策、歴史、史跡巡り、家庭菜園、教育室、男の為の料理教室（妻と死別しても困らないように）。みそ作りや梅干し作り、ジャム作り、など脳活性化をし、孤立を予防。認知症予防にもなるので生涯学習のイベントを気軽に参加しやすいよう企画をする。60歳を過ぎても参加しやすいボランティア活動の参加を発信する。希望する人に「こんな活動がありますけど」と定期的にハガキやメールで紹介してくれるサービスがあれば、参加しやすい。ポスターや広報紙など全体に向けた発信より個人に向けた発信の方が受け入れやすい「やってみようか」と思いやすい。</p>
郷谷地区	70代	<p>私の出来る事・・・家の周りなど環境美化。隣近所の人達との挨拶。順番で来る役員や当番など気持ちよく日常生活が送れるようにする。困りごとなど起こった時など、どこにどんな機関があるのか?どこに相談すれば良いかを知っていれば安心して暮らせると思います。高齢になって初めて問題点が出てきたり、その立場にならないと不明なことも多く心配な事も多くなると思います。些細なことから気軽に声のかけあえる日常になれば、問題が大きくなりず暮らしやすい地域になると思います。身体が不自由になっても自宅で住み続けられる種々のサービスなど、知らないことが多いけれど万が一そう言った時安心していられる地域であってほしいと思います。</p>
館林地区	80歳以上	<p>私は高齢になったので自動車の運転免許を返して不自由になりました。病院通いや一人暮らしなので食料などの買い物に不自由な生活です。タクシー券など市からいただいていますが行けば帰りも必ず往復です。一年中ではとてもたまりません。巡回バスでは時間とコースが決まっているので住んでいる所と行くところに利用できません。困っている人はいると思います。</p>

第 3 部 考察

第3部 考察

①福祉への関心について

福祉への関心については、7割以上の方が「ある（とても＋ある程度）」と回答していますが、関心がない理由では、「自分に関係がない」、「福祉のことがよくわからない」がどちらも約4割と高くなっています。福祉への理解を進め、福祉には住民の協力が大切であることを周知していくことが重要です。

②近所・地域との関わりについて

近所との付き合いの程度では、「会えば親しく話をする」以上が約4割、「近所付き合いがほとんどない」が約1割います。「行政区や町内会に加入していない」が約3割あり、近所付き合いの機会がないことも考えられます。近所付き合いのあり方について、検討することが重要と考えられます。

③暮らしやすさについて

自身の地域の暮らしについて、「地域の防災・防犯体制」、「福祉・保健サービスの相談体制」、「公民館活動などの文化教養活動」の状況が「わからない」が多くありました。身近な地域での情報共有の仕組みについては、「できている（できている＋ややできている）」と考える方は約3割にとどまります。

どういった活動が行われているのか、いないのかといった地域の活動情報が地域住民に届いていないと考えられます。地域住民同士での情報共有、情報発信の在り方を充実させていく必要があります。

④地域での助け合いについて

隣近所での助け合いのできることで、「安否確認の声かけ」が約6割、「緊急時の手助け」が約4割と高くなっています。地域課題の解決について、地域で解決すべきと考える方が約5割、行政に解決してもらいたいと考える方が約4割います。自助、互助、共助、公助の観点で、地域での助け合いを進めていくことが重要と考えられます。

⑤地域活動やボランティア活動について

地域活動やボランティア活動に「取り組んでいる（継続的＋たまに）」方は2割を下回っています。取り組まない理由では、「時間がない」「機会がない」が約3割と高くなっていますが、「参加方法がわからない」が約2割、「一緒に活動する仲間がない」「参加したいが情報がない」も1割を超えています。

地域における助け合い、支え合い活動を活発化するために必要なことでは、「活動情報の提供の充実」、「福祉活動の意義のPRの充実」、「活動拠点の充実」の割合が高くなっています。

地域活動やボランティアの活動状況や、参加方法に関する情報の充実や仲間づくりの機会提供、活動の場の提供などを行い、地域活動やボランティア活動を充実させていくことが必要と考えられます。

⑥福祉サービス等の情報入手について

福祉サービスに関する情報入手について、「ほとんどできていない」が4割となっています。地域の福祉を支える制度やサービスについて、「知っている（よく＋ある程度）」の割合では、「高齢者あんしん相談センター」が約3割、「障がい者相談支援事業所」、「地域包括ケアシステム」が約2割などとなっています。

情報入手ができない理由では、「どこへ行けば情報が得られるかわからない」が約6割で最も高く、「パンフレットや広報誌を見る機会が少ない」、「情報を知っている人が身近にいない」も約4割と高くなっています。

福祉サービスに関する情報発信を充実させるとともに、どのような情報が、どこで得ることができるのか周知していくことが重要と考えられます。

⑦成年後見制度等について

成年後見制度を「知っている（制度を利用または名前も内容も知っている）」は約2割、市民後見制度では1割に満たない状況となっています。

また、生活困窮者自立支援制度についても「知っている（制度を利用または名前も内容も知っている）」は1割に満たない状況です。制度内容の周知が必要と考えられます。

⑧災害時について

災害発生時に「誰かの助けを必要とする」が約5割あり、そのうち助けてもらえる人が「いる」が約7割、「いない」が約2割います。

地域での災害時の備えに必要なことでは、「災害時に支援を必要とする人の把握」が約6割で最も高く、次いで、高齢者や乳幼児などの要支援者に必要な物資の備蓄が約5割となっています。

個別避難計画の作成や防災訓練などを通じた災害への備えが重要と考えられます。

⑨市の保健福祉施策について

市の保健福祉施策をより充実していくために、重要と考える取組では、「健康や福祉についての情報提供を充実させる」、「安心して子どもを生み育てられる子育て環境を充実させる」、「隣近所など、周囲の理解と協力による見守りなどの支援を行う」、「自宅での生活を支援する在宅福祉サービスを充実させる」、「交通の利便性の確保を進める」、「人が集まり、気軽に相談できる場を充実させる」、「高齢者、障がいのある方、児童の施設サービスを充実させる」が2割を超えています。

多岐にわたる課題への対策が必要であり、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」、「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、地域をともに創っていくことが重要と考えられます。

第 4 部 資料編

第4部 資料編

1. 自由回答

問4 あなたの主な職業は何ですか。

No.	記入内容
1	2ヶ月に1回水道検針
2	教師、コンサルタント
3	会社役員
4	サービス業
5	非正規契約社員
6	派遣社員

問5 あなたの家族構成はどのようになっていますか。

No.	記入内容
1	兄弟・姉妹など
2	4世代世帯
3	管理人
4	兄弟姉妹などの家族と同居
5	現在、施設に入所している。
6	娘夫婦が同じ敷地にいる。
7	扶養
8	グループホーム
9	彼氏と同棲

問7-2 特にどの福祉の分野に関心をおもちですか。

No.	記入内容
1	1~5 全て

問7-3 その理由は何ですか。

No.	記入内容
1	病気だから。
2	仕事が多忙で他に関心が無い。
3	明日は我が身です。
4	今は大丈夫でも、2~3年後には必要になると思うから。
5	知っている人だけ得をしている気がする。

問11 あなたが考える「地域」の範囲をお答えください。

No.	記入内容
1	特に地区は無いが出来る事は参加している。
2	邑楽郡も含めて。
3	旧郷谷
4	わからない

問14 あなたの近所付き合いに対する考え方に近いものはどれですか。

No.	記入内容
1	迷惑をかけるような付き合いはしたくない。
2	日常生活に不便はないが親しくすることは大切だと思う。
3	気が合う人とは付き合いが、そうでなければ無理にする必要はない。
4	特別な付き合いは無くても普通の付き合いはする。
5	近所付き合いに否定的な人もおり、自分の考えだけではどうにもならない。
6	アパート暮らし。
7	多種多様な考え方の人がいるので、内政干渉な付き合い方に変わらざるしかない。
8	出来ればかかわりを深めたいが、機会、キッカケがない。
9	必要な時には相談したり、助け合ったりすることが当然だと思う。
10	浅く広く付き合いたい。
11	災害等あった時は助け合いは必要だが、深入りされたくない。
12	あいさつ程度で良いと思っている。
13	困ったときには助け合う。
14	親しく話し合う方を探す方が難しい。
15	挨拶程度はする、ほどよい距離感が理想。
16	①が理想だが、適度な距離感が大切だと思う。
17	困ったときには助け合うが、個人的なことには立ち入らない。
18	近所付き合いで、助け合ったり、わずらわしさを感じる事はしない。
19	形だけの付き合いになりがちなのでわからない。
20	自然でいい。
21	周囲の人による。
22	連みすぎると悪質になりやすい。特に世代が多い。
23	したくない。とは思わないが、現在の成り行きにまかせている？
24	適度な距離を保ちつつ困った時は助け合いたい。
25	したくないとまでは思わないが必要性があまりない。
26	住んで1年未満なので今のところわからない。
27	必要とは思いますが、なかなかできない。

28	しょうがしまいがどちらでもよいと思う。
29	滅多に人と会う事が無い。
30	何かあった時の助け合いは必要だが、基本、干渉しない。
31	付き合いは程良く、でも助け合いは大切だと思う。
32	近づき過ぎず、遠すぎずの関係が良い。
33	息子夫婦がしている。
34	持ち家の人は必要だと思うが、アパート暮らしなど定住する予定がない人には必要だとは思わない。
35	1だと思うが、当然ではないと思う。
36	相手によるのでなんとも言えない。
37	相談する事はなく、日常生活にも不便はないが、有事の際に協力できるような近所付き合いが必要。
38	ほとんど関わりがない。

問17 あなたは、毎日の暮らしの中で、次のどのようなことに悩みや不安を感じていますか。

No.	記入内容
1	子どもの将来について。
2	将来の自分の生活への不安。
3	ゴミ
4	街路灯が少ないので夜暗いのであぶない。
5	母が田畑を所有しているが実際いらぬ。
6	コロナウイルス
7	将来病気になったりした時に良い病院がないので不安。
8	アパレルショップが少ない。(若い方向けの)
9	もっと高齢になって、どのような生活になるのか。
10	高齢の両親にかかる介護、入所費用のこと。母→特養(東京)父→妹と同居(埼玉)
11	ゴミステーションに、外部の人が持ち込む。不法投棄。
12	子どもの通学路の安全。
13	歳が重み、家の廻りの整理が困難に・・・。
14	医療の事。特に入院病院数など。
15	役所関連の各手続が不便。
16	外国の方とのコミュニケーション
17	市内の道路はほぼ舗装されているが、私の家の周りは舗装されていない。提案すらないので不満を感じている。

問18 あなたは、暮らしの中で相談や助けが必要なとき誰に頼みたいと思いますか。

No.	記入内容
1	相談支援センター
2	身内や親族が遠方なので内容によっては。

問20 あなたの身近な地域には、地域住民が取り組むべき課題や問題としてどのようなことがあると思いますか。

No.	記入内容
1	課題や問題があるかどうか？
2	相談しても解決しない。
3	工場勤務者の路地通り抜けを禁止してほしい。ゴミ出しマナーの徹底。
4	外国人労働者のケア（外国人労働者を孤独にさせないことにより治安をよくする）
5	1～12 すべて。
6	仕事をしている現役世代への支援。
7	ひきこもり状態が多い。
8	いろいろな状況の人がいるのでわからない。
9	もう少し、個人個人出来るやらなければいけない事も教える様。
10	自然環境・動物との共生
11	わからない
12	空き家対策
13	地域全体の将来的な目的がない。
14	各自の所有地管理。すぐそばに草だらけで放っている者がいる。
15	自動車等の運転マナー及び取り締まり。
16	街灯の増設
17	外国の方へのフォロー
18	交通渋滞が多い、道路の草木の管理が不足。

問23 隣近所で、高齢者や障がいのある方の介護・介助や子育てなどで困っている家庭があった場合、あなたはどのような手助けができると思いますか。

No.	記入内容
1	今、病院に通院している、手術もするかしないかの状態。
2	コロナ禍にあり、出来る事が限られてしまうと思う。
3	高齢である。
4	私自身が手助けしていただく側。
5	その時に直面した時に考えます。
6	忙しいので無理。
7	親の介護で余裕がない。
8	できない。

9	地域包括支援センターなどへの情報提供。
10	自分が腰、足が悪いので、自分の事で精一杯です。
11	あまりお付き合いがないのでわかりません。
12	近所に人がいない。高齢者。
13	わからない
14	子どもはおらず、高齢者のみの場合、声がけして、請われた事をする。
15	気持ちはあるが、付き合いが薄いので実際は出来るかわからない。
16	視覚障がい者の為、無理だと思います。
17	対象者とのマイナスに構築された関係によって共助したくないという現実。
18	相談場所を知らせる。
19	助ける余裕がありません。

問24 日常生活の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。

No.	記入内容
1	住民でもできることはやるけれども行政にも何かあった時はすぐ介入してもらえような形で解決したい。
2	行政に解決してもらえように積極的に要求しても全く動かない。
3	地域で解決できる問題か、行政でなければ解決できないのか、でかわります。
4	住民同士では解決できない事もあるので、その時は行政などに連絡し何とかしてほしい。
5	もしもの時は行政に相談すると思うがそこがすべてではないと思う。
6	基本は住民同士、必要に応じて行政など。
7	その時々で適材適所の人が、対応すれば良いと思います。
8	住民・行政の両方が協力して解決したい。
9	問題の内容にもよります。
10	地域の活動は活発な所と思うが高齢者が多いので後々続けられるかわからない。
11	市内には沢山の会があるようですが、会合に参加している人達は、本当の意味で住民一人一人の事を考えて活動している様には見えない！自分達の自己満足と道楽でワイワイ盛り上がって遊んでいるとしか思えない。本当に困っている人達が参加できる余裕も暇も無いと思う。結局、余裕のある人達が会費を使って活動を名目に行っているだけだから、何も変わらないと思う。
12	問題にもよるが、地域外の関わりの無い人（中立の人）に立ち合い、中立をしてもらい客観的に判断する目が無いと泥沼化してしまうのではないか。
13	現実的には問題はトラブルになりやすく、我慢するしかないか、公共の場所は個人を名指ししない様、貼り紙でお願いする程度で、色々難しい。
14	ケースバイケースで1, 2, 3の方法をとる。

15	問題によって1, 3
16	何とも言えない。
17	民事ならば家族→親族→法律の専門家または行政の知識者。それ以外は行政機関など。
18	基本的には1。住民同士では解決できないケースの場合、行政にもサポートをお願いしたい。
20	わからない

問27- (2) あなたが、この1年間に参加した障がいのある方にかかわるボランティア活動は次のどれですか。

No.	記入内容
1	荷物などを持ってあげる。
2	長女(孫)1人、時々預かる。
3	コロナのため不参加。
4	特別支援学校への実習。

問28 障がいのある方が外出しやすいまちづくりのためには階段やスロープで車いすの手助けをしたり、交差点で誘導をしたり、バス・電車で席を譲るなど、市民一人ひとりの協力が必要です。普段、まちで困っている人を見かけた時、あなたは手助けをしていますか。

No.	記入内容
1	その場にいた経験がない。
2	積極的にではないが、その場に出くわした場合に、普通に人として手を差し伸べている。
3	見かけない、外出しないから。
4	必要に応じて。
5	気持ちとしては手助けしたいと思うが、その時に声掛けが出来るかどうかわからない。
6	心がけている。時々ある。
7	見かければ手助けする。
8	自分が高齢のため、手助けできない。
9	障がいのある方だからといって何でもかんでも手助けすることは障がい者＝弱き者という差別を感じる。その人個人の意見を尊重するため、求められたら積極的に助けたい。
10	本人が障がい者。
11	自分の事で大変だから気がつかない。
12	そういう場面にあったことが無く、わからない。
13	席を譲ることはしている。
14	見ても自立している。
15	声掛けや、ゆずって優先させてあげる。
16	特別意識はしていないが、機会があった時は手助けをする。

17	声をかけて手助けが必要か確認している。
18	目にしたら、自分でやれそうな事は実行している。相手の意向も考えることは勿論大事です。
19	心がけてはいないが居ればやれるならやる。

問30- (2) 主にどのようなところに、障がいのある方に対する差別や偏見などを感じますか。

No.	記入内容
1	個人病院の受診拒否（車いすを拒否された）
2	信号のない横断歩道で止まらないドライバーが多い。
3	障がいを理由に、治療を拒否された。
4	精神科に通っているというだけで笑われたりします。
5	衣料品店の通路が狭く（服と服の間に余裕がない）買い物しづらい。・障がい者の駐車スペースが少ない。
6	コロナ禍における行事の状況判断が行事の中の3ヶ月前に中止が決定する。
7	隣近所の間がバカにする発言が多く、人間性をうたがう。
8	世界中・日本中の人々の考え方

問32 館林市が障がいのある方にとって暮らしやすいまちになるには、次のうちどの分野に重点的に取り組むことが必要だと思いますか。

No.	記入内容
1	養護教諭を増やす。
2	障がい者が一生生活するのに必要な（親・子）場所。安心に親が亡くなることができればという環境が欲しいです。
3	障がい特性を理解してもらい、1人の市民として居て当たり前と思えるようなサービス。
4	子どもの預ける場所（中学生まで）でも見てくれる所。
5	住む人間の人間性の向上。
6	難聴の場合は？
7	わからない
8	全て

問33－（2） どんな活動をしていますか。

No.	記入内容
1	特にボランティア活動は参加していないが、個人的には力を入れている。出来る限りやっている。
2	老人ホーム訪問（中学時代）
3	退職、公務員連合の理事。
4	清掃活動
5	婦人消防
6	VYS
7	消防団
8	小学校読み聞かせ。
9	パトロール 学校周辺等。
10	認知症予防。
11	祭礼などの文化、風俗の伝承活動
12	フードバンクでボランティア
13	スポーツイベント
14	青少年育成
15	特になし

問33－（3） 現在活動していない理由は何ですか。

No.	記入内容
1	活動の中止や、子どもが成長したため。
2	もうPTAに入っていないから。
3	聴覚不良
4	昨年、今年のボランティアに応募したが、コロナの影響で全て中止になったため。
5	高齢のため。
6	身体が動かせない。
7	病院
8	無理が出来ない。
9	高齢者がいるため。
10	仕事あるし、母も看ているから。
11	ずっと介護をしていたので、心の余裕がなかった。
12	活動が中断している。
13	コロナの影響。
14	興味ある支援がない。

15	忙しいから。
16	親の介護で余裕がない。
17	引っ越してきてまもない為。
18	家族が参加しているから。
19	子ども会ですらわからない。
20	コミュニケーションが苦手なので

問34- (2) どのような条件であれば、活動・参加したいと思いますか。

No.	記入内容
1	他人に活動を見られたくない。
2	子どもと一緒に参加できる。
3	仲間が出来ていくのが楽しい。
4	家族の理解
5	コロナがなくなれば。
6	足が弱いので参加できない。
7	そもそも自分の耳にそのような情報が入ってこない。

問34- (3) あなたが今後してみたい地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種支援活動などは何ですか。

No.	記入内容
1	興味ある支援がない。
2	看護師の技能が生かせる活動。
3	特にない。

問35 地域における助け合い、支え合い活動を活発にするためには、どのようなことが重要だと思いますか。

No.	記入内容
1	自分の生活でいっぱい。
2	市長の実行力と発言力！
3	余裕がない。
4	地域を元気にすること。
5	現場の意見を支持。
6	啓発活動をしたらどうかな。

7	コロナがなくなること。
8	特に仕事量の少ない役所の人間がやるべき。
9	地域の人達が、集えるような公園が整備されれば子育て世代、高齢者が顔見知りになり、少しはお互いのかかわりができる気がします。残念ながらつつじが丘公園は別として、中央公園以外は各地域の公園があっても、人がいる気配は、ほとんど無い公園ばかり。適度な木陰、清潔なトイレ、水場、ベンチがある公園で、地域の小さなイベントが年に数回あればどうかなと思う。
10	学校に対する教育委員会の考えなどを見ていて助け合いたくない。
11	町会の仕事に取り入れる。
12	全て
13	行政ががんばる。
14	わからない

問38- (2) あなたは、「福祉サービス」に関する情報を主にどこから入手していますか。

No.	記入内容
1	家族
2	職場
3	群馬県自閉症協会
4	無い
5	広報
6	自分自身が福祉の専門職
7	わからない

問38- (3) 情報の入手ができていない理由は何ですか。

No.	記入内容
1	なんにも手段がない。わからない。
2	身近で見聞きすることがない。
3	子ども達は考えているのだろうが、なかなか本人には言わない。
4	時間が無い。
5	今のところ必要がない。
6	地域てきに情報がはいつてこない。
7	わからない
8	情報が単発。仕組みが分かるようであると良い。
9	必要性を感じ始めたら調べれば良いと思っている
10	息子夫婦任せで必要ない。
11	館林市のH.P.は検索しづらい。

問39 館林市の「福祉サービス」に関する情報の提供について、何をもっと充実すべきだと思いますか。

1	そのような活動があること知らない。
2	本人との話し合い、家族との。
3	町内放送、回覧板、公民館の提示、呼びかけ。
4	市で行っている福祉サービスを全部まとめて表示する。
5	福祉だけでなく、館林に住んでいる市民をもっと大事にしてほしい。
6	ケーブルテレビ
7	現状でよいと思います。情報源は充実していると思いますので。
8	身近な場での情報収集の充実
9	病院、スーパー、コンビニで広報紙が手に入れられれば良い。
10	コロナ情報がない（場所・名・地区）不明で不安です。
11	福祉サービスとは何？具体的になに？意味がわからない。ただちゃんとやれ。
12	回覧板等を利用して身近な情報にする。
13	市職員や各機関の職員がもっと行動する。（動く！！）
14	とにかく紙媒体のもの。
15	緊急時の健康、体調相談
16	わからない
17	全て
18	SNS など自宅でより多くの地元の情報が手軽に手に入ると助かる。
19	雑草を抜くボランティア活動

問40— (2) 「福祉サービス」の利用にあたって、何かお困りのことはありましたか。

1	スタッフの質が悪い。（デイサービス）利用時にケガをしてもそのまま手当てされず、放置されていた。
2	祖母のデイサービスを利用したが時間が短い気がした。
3	費用がやや高い。
4	民間のケアマネージャー、ソーシャルワーカーから通して知った情報がほとんどであった。
5	20年以上前だったので、まだ十分ではなかったと思う。
6	市役所の窓口へ相談に行ったが、4人の人といれかわりで話して、結局だめでした。知り合いの医療関係者に話して、やっと解決した。知らないのかしら。
7	利用できる場所がない、サービスがあった。
8	相談内容から除外された。
9	代金を払う場所が遠すぎた。
10	年々サービスの質、回数が低下した。
11	サービス提供者の対応が悪く、不快な思いをした事がある。
12	本人が意志を聞いてもらえなかったと言っていました。（亡き夫）

問40- (3) 「福祉サービス」を利用できなかった理由は、下記のどれに該当しますか。

1	場所が遠くて、歩いて行けなかった事。
2	相談する機会を逃がしてしまった。悩んでいるうちに時間が過ぎてしまい相談する勇気がなかった。
3	本人の意思。
4	本人が受けない、嫌がる。
5	別の地域だったため。

問41 福祉サービスの利用が必要になったときどこに相談しますか。

1	病院
2	ケアマネージャー
3	インターネットで検索。相談内容によって相談先が変わる為。
4	どこに相談すればいいかわからない。
5	職場

問42 館林市の保健福祉施策をより充実していくために、あなたが重要と考える取組はどれですか。

1	近所付き合いがないとわからない。事が多い。
2	役所の人間のやる気に限る。
3	求めるものが個人差がある以上、私にはわからない。
4	福祉先進国の北欧など、成功や効果のある対策を学びやってみる。
5	障がい特性を理解し、支援できる人材育成。(専門家)。
6	現社会各自がよければいいというような雰囲気があると思う。その雰囲気を変えていかなければ・・・。
7	病院の科の充実
8	高齢者が免許証を返してから交通手段が少ない。行動範囲がせばまっています。
9	地域住民ひとりひとりの意識が重要なのだと思います。そのため上記には当てはまらず、その他とさせていただきます。
10	行政がしっかりやる。
11	道路、歩道の整備。街灯の数を増やす。歩く人にとってとても生活しにくく高齢者や子ども達にとっても危険な場所が多すぎる。車でできていても穴あきだらけの道や、段差のある場所があり、地盤沈下がとても不安に感じられる。
12	とても難しい。若く元気で障がいがいなければなーと思う。
13	民生委員の業務を充実させる。
14	何でも相談できる分かりやすい窓口を作り回覧板などで知らせる。
15	群馬県職員及び館林市職員の人材育成。

16	高齢者や障がい者の家庭への民生委員、ケアマネージャー、市職員の直接訪問での手続き説明等。
17	全て
18	防犯のため、街灯を増やす。
19	わからない

問44- (2) 後見人は誰になってもらいたいですか。

1	不明
2	難しい。大事な要件だが、良い考えが見当たらない。

問44- (3) 選んだ理由は何ですか。

1	内容について全く知らない為。
2	考えたことがない。
3	親族にお願いする。
4	今のところ大丈夫だから。
5	後見人を母がしていた。
6	出来る事は自分自身でやっておきたい。
7	我が国の文化に制度がなじみにくいから
8	わからない

問49- (1) あなたは生活困窮者の問題や支援について、どのように思いますか。

1	どうしても働けなくこの制度を使う人は良いが、働けるのに働かないでこの制度をうまく利用している人に税金を使ってほしくない。
2	もっと的確な判断を下せる、役所の人選問題。
3	市役所に行って相談したが、駄目だったと聞いている。
4	本当にどうにもならない人には必要。
5	各人によって背景や経緯が違うので有無の解答はできかねる。
6	自分も生活が苦しくてしかたないが、制度がよくわからない。
7	母子家庭など、自分の好きで選んだ道なのだから、特に支援する必要ないと思う。母子家庭への支援が手厚すぎる。もっと普通の家庭に支援があっても良い。
8	ケースバイケースです。制度を悪用する人がいます。
9	努力しない人を助けるつもりはない。
10	働く事が嫌で生活困窮になった者は放っておくべき。

問50 地域で生活困窮者を支援する場合、あなたならどのような支援ができると思いますか。

1	自分ではできない。
2	本人、家族から頼まれていないことは勝手に相談できない。
3	他人が口を出せない事が多いと思う。
4	まず、どのような支援が行政側にあるのかわからない為、現時点では動きようがない。
5	どんな制度があるか、教えるべき。
6	その人の意志の問題が大きいと思う。
7	プライバシーがあるので、本人が相談するのがベスト。
8	いずれ生活困窮者になって行く。その前に生きていないかもしれない。生活はいっぱい いっばいで、先の事は考えられない。
9	一時的なものであればサポートできる。長期的なものは行政機関に相談!!
10	それぞれにかかえている問題が違うと思いますのでその方にとって一番良い支援がなに かによって変わります。
11	食べ物の基本的な生活を支援する。
12	とりあえず、市役所でどこに連絡すべきかを相談する。
13	わからない

問51- (3) 助けてもらえる人がいる場合、どのような人ですか。

1	介護施設職員
2	グループホーム職員。

問52 災害時に不安に思うことは何ですか。

1	避難場所でのコロナ感染。
2	通帳、お金をどうしたほうが良いのか?
3	災害後の生活（資金や住居など）
4	知り合いがいない。
5	トイレの利用
6	避難所で共同生活で睡眠はとれるか、コロナ感染予防が出来るか不安。
7	避難場所までの移動が危険ではないか。
8	水害による被害が家に来た時。
9	インフラへの不安。
10	医療。
11	わからない
12	避難所だけでは人が収容できるはずがない。
13	火事場泥棒

14	安全に避難が出来るか、心配。
15	現実には何も思いつかない。
16	災害による費用、生活の復旧、常時服用している薬の入手。
17	大きな災害が心配です。
18	防災無線と称する屋外音声の音がひずんで聞えにくい。そうじろうさんの音楽は無駄に響く。
19	避難場所にキャパオーバーで入れないのではと不安
20	避難場所に地域住民がすべて避難できるスペースがあると思えない。3階以上ある公共施設が近くにない。

問53 あなたは、災害時の対策として、地域でどのような備えをしておくことが必要だと思いますか。

1	若い人への理解、災害時では高齢者では対応が無理ではないか。
2	指導者の育成（特に市長）
3	コロナウイルス
4	近所の人に声をかけ、安全な避難所へ行く。
5	現在、少しずつ進んでいる。
6	地域住民のつながりを育む。
7	家庭での物資の備蓄。
8	災害時にどういった行動をとるのか、広告や広報などで定期的に情報を送る。（市民に）
9	災害時の情報の方法。
10	被災時に何が必要か物資及び行動全般マニュアル策定配布。
11	避難場所の再構築（場所・建物・収容人数 etc）
12	東京都の様に、防災に対してメディアや他の手段でも起きたことを想定したアナウンスをした方が良い。
13	大水災害の一時的な高台避難場所がない。全水没！マップでは一階は完全に沈む。急な水災害時のマップでは2階家でも利根、渡瀬水害を防げるのか？
14	窃盗などの防止等による治安の維持
15	避難所での衛生面やライフラインの完全な確保
16	防災マップは取りに行くのではなく、各家庭に配って欲しい
17	わからない

○館林市を『安心して暮らせるまち』にするには何が必要だと思いますか。何かご意見などがございましたら、ご自由にお書きください。

1	城沼公園のスロープなど実用的でなく、公園の歩道などガタガタでバリアフリーなど程遠い状態です。
2	2021年8月中に、市役所へ行った際、窓口から見える所の席に座っている職員2名（若い男性2名）が、マスクをあごの所まで下げ、談笑している姿が見えました。現在、コロナが流行中なので、クラスターが発生する可能性があります。危険なので、マスク着用を徹底して欲しいです。換気も行った方が市民の安全につながると思います。
3	飼い猫や野良猫の不妊手術の行政側からの支援と援助が必要かと思います。
4	相談と生活費（物資）
5	正しい情報と伝達の仕方の検討。
6	地域住民の孤立化を防ぐ取り組みを考えていきたいといます。
7	私は高齢なので、出来る事は出来るだけお手伝いするように心掛けています。
8	これからどんどん年をとっていくので、介護の事が重要と思います。まわりを見ても60代以上の人がばかりです。あと十年したらどうなるのかと心配です。
9	人との関わり、コミュニケーション、新しいことにトライする！
10	防犯カメラの設置を望む。（特に通学路）通学路の側溝が外れているのが見られる。市内の公園の整備、雑草等、防犯カメラの設置。
11	何年か前に、避難指示が出た時に避難所も、駐車場もいっぱいだった。この点を考えてほしい、入れない。
12	新しく越して来た方々が、あまりにも行政や町内会の行事や決まり事に無頓着である。その方々が決まり事を無視してゴミ出しをしたり、苦情を言ってきたりする。色々な行政的罰則を厳しく実行した方が良いと思う。
13	思いやり
14	「福祉計画」「障がい者計画」とはあまり関係ないのですが、館林は税金が高い割には・・・疑問だらけです。例えば、駅前の無料駐車場、南面の駐車場のあり方を考え直してみたらどうでしょうか。以前のつつじ祭りの時は花みずきの根本の草むしり等やって下さっていたのに、予算がなくて出来ないのならそれなりに「草刈りかま」を渡すとか市役所の付近とか駅前をよく手入れしている姿をみかけます。それなら駅前通りだって。
15	公共交通機関に充実に取り組んで下さい。高齢者の運転を避けられるようにして下さい。
16	障がい者年金をもらっているのに無職とかヒモとかよく言われます。バカにされました。どこに相談すればいいか分かりません。児童館の飲食スペースで、ママ友グループ達が午前中にお弁当やケーキを食べていた。児童館の先生は注意しない、ママ友グループと一緒に食事をしている所を何回か見た。児童館の先生とママ友グループで電話番号交換をしていたり、夫の悪口や児童館にきている人の悪口を言ったり最終的には児童館に来るなど言われたこともあります。

17	水質管理センターからの悪臭について、市役所へ連絡したが対応してもらえない。健康被害にもなりかねない。公害的な悪臭を市の施設が発している対応も出来ないのに、「安心な暮らせる町」とは矛盾している。洪水などで汚水が流れてきたらと思うと、夜も寝れない状態である。
18	もっと災害を身近に考え、取り組むべき。災害に際しては、もっと民間の施設の活用をできるようにしておくべき。
19	館林には、高齢者が利用していたボーリング場もなくなり、楽しく暮らせる町作りができていないと思います。つつじヶ岡公園もいまひとつパツとしません。色々な施設を整備すれば、高齢者、障がい者、そして皆の心も豊かになり安心して暮らせるまちにつながると考えます。よろしくお願いします。
20	ボランティアや地域の人に頼らず、市でお金を出して雇用の機会を作ったりしてほしい。
21	道路、下水、整備。(水難予防) 放置している土地の処理。
22	地域住民の方の生活状態を把握し、何等かの事案発生の際に迅速に、又適切な対応がとれるようにするためには、行政と特に区長、民生委員への連携が必須であると考えます。
23	ひとり親への市からの援助も必要かもしれないけれど、共働きの家庭でも子どもを育てていくのは大変で、今はコロナの関係もあって熱があるとすぐにお迎えの電話がきてしまったりして、十分に出勤も出来なかつたりするので、共働きや両親の揃っている家庭にも、もう少し援助をしてほしい。
24	声を出しやすい環境を整える事だと思います。出せる人は出せる人、出せない人は出せない人という環境、雰囲気はなくさなくては始まらない。
25	車に乗れなくなり、郵便局が遠いのに困ってます。ポストもなくなった。
26	早くコロナのワクチン接種を受けたいと考えている。
27	公園など遊べる場所、散歩できるような場所があつてとても良いと思うのですが、そういった所に不審者が多く、近所に住んでいた時せつかく近くに綺麗な所があるのに怖くて1人では散歩できませんでした。ちなみに不審者とは、知的障がいがあるのかもしれないが奇声を発したり、独り言をブツブツ言っている人、じーっと見つめてニヤニヤしてくる人、放置車両に住んでいると見られる人です。私が以前住んでいた所より、そういった方がスーパーや薬局でも多く見られ1人で出歩くのが怖いと感じます。せめて公園だけでも減って欲しいと思います。今もしてくださっているのかもしれませんが、見回り等していただけたら減るのではないかと思います。よろしくお願いします。
28	災害がない安心して暮らせる町にしたい。不便なく安心して暮らせる町にしたい。
29	日頃のお付き合い。

30	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー券についてよく利用する人は自分のを使い切って、それでも足りないと言ってあちこちの他人から貰って堂々と活用している人がいる。今後、漠然とタクシー券を配布するのではなく必要な人には申告するなりの事を考えたらと思う。 ・民生委員の選出の際、それ相応の人を選ばず区長あたりの知り合いを選び、民生委員の会合に行ってくれば年間報酬がいくらだからやってくれるという選出をしているらしく、誰が役員なのかも分からなく民生委員の役目を果たしていない状態です。
31	<ul style="list-style-type: none"> ・財源とマンパワーの確保・住民意識を高めること→職員の皆さんにとっては大変なことですが、出来ることから持続していける内容を自信を持って取り組んでいってください！
32	災害が起きた時の防災対策。
33	全住民の協力、情報提供が必要。ボランティアの方の充実。(協力していただける方を集める)
34	第八小学校前のハナミズキ通りが毎年、内水氾濫を起こしています。周辺の避難所に行く為にはハナミズキ通りを通らないと行けないので、内水氾濫が発生してしまうと避難出来ないのに対応をお願いしたいと思っています。
35	バスの千代田線の東口へ朝の9時~10時はまわってもらいたいという事をお聞きします。
36	ボランティアは市民だけでなく、議員の方達も全員取り組んだほうがよいと思います。
37	<ul style="list-style-type: none"> ・病院の充実・館林で子どもを産めるように！・総合病院の確立！・今のままでは不安です。
38	<ul style="list-style-type: none"> ・水害対策（河川の整備）・交通整備（バスへの補助）・買い物を便利に◎病院の充実（厚生病院+α）
39	老人には住みやすい街だが、子ども達や若い世代には全くと言っていいくらい魅力を感じない。もっと子育てしやすい環境、子どもが伸び伸び遊べる街づくりをしていかないと、子ども達は館林から出ていくと思う。
40	高齢なので自分の身のみなので、これからの若い人に考えてもらい一人一つボランティアでも何か一つ出来るように常に助け合うことが必要です。
41	多々良に老人ホームがあった時は、フェイスタオルを100本たまると届けておりましたが今はやっておりません。今は妹をとおして茨城県の孤児院へ古着を10年程送っております。タオルもそちらの方へ送って喜ばれております。
42	必要のない道路が出来ていたり、道路が広がるところがなかなか進んでいない。最近、道路に草が高く生えていて危ない。何かお願いしたくても誰に言ったらよいかわからない。

43	<p>・介護を必要とする家庭への、日々生活していくうえでの協力及び支援（例えば、入浴の準備、手伝い・排泄の手伝い等）・家庭でリハビリの出来る支援・車イスでの移動が主になる為、車の改装の支援・介護を必要とする人への家庭への医師及び看護師の派遣及び診察の出来る体制作り・【要望】城沼の散歩コースや道路を車イスでも散歩が出来るように対応して頂ければ幸いです。よろしくお願い致します。</p>
44	<p>アンケート内にそれぞれの制度についての説明があれば、考えも変わるかもしれないと思いました。わからない制度について聞かれても全項目が” わからない” となってしまう。</p>
45	<p>私自身 70 代なので、人のお世話になるのも時間の問題かもしれませんが、こうしたアンケートは人々の暮らしを心配してより良くしていこうと言う現れだと思うので、嬉しいことだと思います。お互いに人の事を思いやれる社会になれば、助け合う組織が無くても自然の形で助け合えたら良いと思います。でも、色々な取り決めは必要かもしれませんね。皆さんの働きを感謝いたします。</p>
46	<p>館林市民一人一人が「安心して暮らせるまち」には何が必要か意識したり、考えたり、話したり、他者の意見を聞いたり、実行・実践したり、その振り返りを話し合ったり、そうしながら少しずつ一人一人が感じながら「安心して暮らせるまち」づくりが出来ていけると良いと思います。</p>
47	<p>・まず、大量のカラスによる夜中からの鳴き声と糞尿に正直もう住みたくないと思っています。ウィルスが問題になっている中、理解に苦しみます。・暗い道路や防犯カメラの設置無し等、もっと市民を守る環境が必要と思います。・変わった隣人等、地域で問題を解決するのは限界があります。行政がリーダーシップをとっておこなってゆく必要があります。（福祉について）・外国人の流入がおそらく増えていますが、入国上の問題の無い人材ということをどうチェックしているのか分かりません。犯罪の温床にならないよう、しっかりと管理をお願いしたいと思います。</p>
48	<p>20 年間館林に住んでいます、とても住みやすく人が温かく親切で悩みを聞いてくれる方達も沢山できました。思いやりのある友達が多いと感じています。私も長女が 20 才になるため、今度は自分も相談にのってあげられる様な館林市民でありたいと思います。コミュニケーションをとりながらみんなで助け合い、安心して暮らせる町はとても幸せですね。</p>
49	<p>運転免許返納した場合、子どもがいないのでタクシー券だけでは病院の通院だけで、買い物時などは自分で費用を出す必要が出てくるので、生活の出費が増えるのが心配。</p>
50	<p>災害は急に起こるので、普段から各自が自分の命は自分で守ることが大切です。そのためにも、避難場所へ早めに行くことです。私の家はマンション 10 階に住んでいるので、むしろ高い場所の方が安全かと思います。その時の判断を間違えない事が命を守るので、紙一重で自身の運命が決まると思います。防災用品を用意します。災害は忘れたころにやってくるので準備は必要です。館林市は住みやすい街です。ずっと住みたいと思います。人口が多い都市は住みにくいです。</p>

51	これからは、館林も例外なく高齢化社会になっていきます。特に高齢施設をもっともっと充実させてもらいたい。強く要望します！
52	人とのつながりが有る町。お互い支え合い一人ではなしえない事も、一緒なら持続できる。そのためには行政との協働・援助が必要。
53	厚生病院の医師の確保をなんとかしてほしい。総合病院の意味がない。少子化になるのも安心して産むことができる産科がない。何かあってもすぐにはかかれない病院なんておかしい。税金が高い。高齢になっても死ぬまで働かなくては、固定資産税が払っていかれない。笑って過ごせる老後が迎えたいですね。
54	住んでいる地区は停電が起こりやすい。ライフラインの復旧や対策をお願いしたい。介護を必要とする人の入所施設を多く作って欲しい。
55	・館林市にはお寺は多いが、墓地はハードルが高い。公営の墓地を作ってほしい。・マナー、ルールが守れない一部の人が増えている。1、犬、猫のフンの放置。2、ゴミの選別ルールを守れない。3、田、畑、植木、雑草の管理不足。地域の取り組みをさらに後押ししてもらいたい。・市の職員で仕事をしない、積極的でない方が増えている、と感じられることが多くなった。
56	・交通安全の強化（警察の人員増加）あおり運転などの防止・道徳指導（大人も子どもも対象）子どもを正しくしつけが出来ていない親こそがしつけを必要としていると思う。いわゆる、子どもが親になってしまった感じ。幼稚園とか学校で教育するというのも大事だが、これこそ地域の力が必要だと思う。昔の近所のおじちゃん、おばちゃんのような人が居たころは、モラルの低い人はあまりいなかった様に思う。全体的なモラルの低下が安心して住めない原因になっている気がする。このモラルの指導こそが「安心して暮らせるまち」づくりに貢献するのではないだろうか、と思う。
57	私の日課は城沼の「朝陽の小径」を朝散歩することですが、初夏のころから夏草が生えて道幅を狭めてしまいます。背丈が身長を超えるようにならないと草刈りをしてもらえませんか。少し早めに刈って頂いて、散歩道を整備してもらいたい。
58	空港
59	防災にしても、地域の現在行っている状況をどの様に私たちに伝達（すみやかに）出来るのか、現在進行している新型コロナにしても、病院の入所状況とか全てわからない。自分が入院が必要としたとき可能かどうか大変不安です。
60	環境の整備。外出支援、バスやタクシーの充実。
61	この問題は市民には大変難しいことであると思いますので、簡単に理解が出来そうな広報等を配布し知らせることが重要だと思います。
62	高齢者と小学生と一緒に暮らしています。税金が高く、医療費もかかり、ガソリン代も上がり、物価も上がり、以前よりも生活はとてと厳しくなりました。このような毎日なので、楽しいことはほとんどありませんが、市民で良かったと思えるような特典がお店なり施設などで受けられたら嬉しいです。安心に備えるための予算もありませんし本当に大変です。高齢者と子どもに優しい世の中になってほしいと切に願います。

63	花山町に住んでいます。住宅が増えてきたので街灯をつけたりパトロールをしてもらいたいです。城沼で釣りをしている人がいますが、ゴミを散らかしていく人がいます、持ち帰る様に看板などを立ててゴミを捨てないように注意して気をつけるようにして下さい。
64	助けを必要とする人は情報を求めるかもしれませんが、不要な人にとっては（今のところ）、全く興味のないことだと思いました。情報を得ようとしませんし、社会福祉課があることも知りませんでした。いつか必要になるかもしれない時のためにこんな制度があるというのを必要としている人だけでなく”今”は必要としていない人たちに情報を伝えることが重要なのではと思いました。
65	町内会やPTAなど時代が違ふと思います。近所の方もどういう人なのかほとんど知りません。子育て世代は収入も増えず、保険料は上がるばかり。共働きで他人を見る余裕はありません。もう少し経済的、時間にゆとりがないとこういった活動に参加する気になれません。仕事でヘトヘトです。企業単位で福祉活動をボランティアでやってもらうなどの案はあると思います。
66	普段からの近所同士、職場、家庭、学校など、関りがある人たちであいさつを交わしコミュニケーション（無理なく）をとることが人と人との信頼を築き、困ったときには相談しあえる関係になるのではと思います。私は、出来るときに親子でボランティア等に参加してみたいと思っています。また、普段から災害時の避難場や防災用品などをチェックし家族の命を守り、もし地域で困っている方がいたら声をかけ自治会長さんにつなげたり、自分で出来ることはしっかりやっていきたいと思っています。
67	不安、支援が必要になった時の相談相手になって頂きたいと思っています。周囲で援助が必要になった時には、出来る限りお手伝いしたいと思っています。サポートする人を決めておくことです。
68	本アンケートはサイズも大きく、全てきちんと記入するのに大体1時間を要した。実際、福祉に関しては関心もあり真剣に考えて記入させて頂いた。是非このようなレスポンスを受け止めて具体化して頂きたいものである。このようにしてボランティアによるアンケートを実施し、その成果が見られないのは残念であり何よりも参加者の気をくじく。どうぞ本当の意味での市民の励みにもつながる様な市政をし、市民と役所が共にこの町を建て上げていけるよう期待を込めて送らせていただきます。
69	老後の安心できる生活として・買い物等、車での移動手段・新しい、今の時代にあった霊園・やすらぎの郷のような老人ホーム。若い世代の人口増として・子育てがしやすい町（学校のレベルが低いのは難点）・埼玉や東京への通勤がしやすいので、働く世代が増えるような町（若い人が増えることで税収増で災害時での協力も得られる）。
70	住民同士の助け合い。そのためのコミュニケーションと最低限の情報共有が出来る環境整備。ケガや病気をした時に安心して入院治療ができる、市民共同病院を市民が出資して新たに建設すること。

71	前ページ(14ページ)にも書いたが、地区の民生委員の口の軽さ、何も相談できません。
72	子育てしやすい町にしていきたい。公園を増やすなど。子どもに優しい町にしていきたい。子どもの声がうるさいと言わないでほしい。
73	父、母が高齢なので地域で安心して生活できるようにしたい。
74	災害が起きた場合の各家族、個人(家庭)で、物資や保存のできる食品を準備しておくことも必要だと思います。そういった時の為に、災害で何を必要とするか学んでおくことも大切かと考えています。
75	今はコロナ時代、家に居るときが多い。このようなアンケートは、コロナがおちついてからして下さい。今の時にするのはおかしいと思います。公民館も使用出来ずそれは仕方ないと思います。
76	私の出来る事・・・家の周りなど環境美化。隣近所の人達との挨拶。順番で来る役員や当番など気持ちよく日常生活が送れるようにする。困りごとなど起こった時など、どこにどんな機関があるのか?どこに相談すれば良いかを知っていれば安心して暮らせると思います。高齢になって初めて問題点が出てきたり、その立場にならないと不明なことも多く心配な事も多くなると思います。些細なことから気軽に声のかけあえる日常になれば、問題が大きくなりず暮らしやすい地域になると思います。身体が不自由になっても自宅で住み続けられる種々のサービスなど、知らないことが多いけれど万が一そうだった時安心していられる地域であってほしいと思います。
77	高齢者や障がいのある方が外出また、散歩した時公園のトイレを使用する事があると思います。公園や駐車場のトイレ部ですが使用できない所があります。使いやすいトイレだと良いと思います。
78	何年前でしたか、忘れましたが防災訓練をしたことがあり私も炊き出しとか経験したことがありましたが、その時に決めた役員さんも高齢になったので何年か過ぎましたらまた行う事も大事かと思えます。
79	障がいのある人が利用できる交通手段を増やす。バスの本数が少ないので増やして欲しい。障がい者とそうでない人の相互理解。
80	今回のアンケートの件に付きまして、私ども年齢(89才)をとりすぎていて、逆にアンケートを書いていいか迷いましたが一応書きました。
81	館林はどちらかというと災害が少ない地域なので、私を含めた災害に対して、関心は低いのではないかと思います。昨年コロナ禍で災害を想定した避難訓練が実施出来ないことがあるので、実施出来るようになって欲しいです。今現在、身近な家族に障がいのある人が少ないので、福祉サービスについて知らないことが多い。必要な時にどこの窓口で相談に行けばよいか知っておく必要があると思う。
82	高齢の為きちんとした回答が出来なくてすみません。
83	市には、レジャー施設と言える場所がありません。映画を観たり、ボーリングなど市外に行かなくてはならないのです。自由時間の少ない自営業には物足りません。ワクチン接種のスタッフの皆さんの接待はとても安心してきて最高でした。心細かった人達にやさしく親切に対処して下さいました。ありがとうございました。

84	うちは現在、福祉に関する相談は無いが友人でヤングケアラーの人がいて身近に感じることもある。母が地区の民生委員なので、災害の時高齢者から電話があり避難が必要かの話や、生活の相談にのっているのを見ると自分で何かできることはないかと思う。今、大学生の私はこれから社会についてよく学ぼうとこのアンケートを回答して思った。
85	困ったり分からなかったことがあった場合、的確に答えを出してくれる人、場所があり必ず誰かが手を差し伸べてくれる安心感があることが必要だと思います。自分も役に立つことがあれば積極的に手伝いたいと思います。
86	災害、コロナなど市民を第一に考えた迅速な取り組みを行政に期待します。
87	現在バスはあまり使用されていないと思う。年間900万とか掛かっているとかで。(乗車率が低い)。自分が免許証返納した時は、(コースが少ないと)やはり困るな・・・とは思っているのだが。館林は城沼、多々良沼、館林美術館と素晴らしい所もたくさんあるが、その良さを分かっていない人がかなりいるのか？と思う時あり。館林美術館20年ですずっと続いてほしい。(人が少ないからと閉めないで下さいネ)外観の良さもなかなか他にないと思う。年中休館になってしまうけど、年に4回か？せっせと行くよ！と思う今日この頃です。
88	・小さい子どもがいる共働き世帯で、子どもの体調不良の時に預けられる所が無いと聞く。福井県(出生率が高いと聞く)のような制度が必要ではないか。・高齢者の移動が不便。(バスの本数、土日の運休、タクシー利用券の枚数)・災害と言っても洪水や地震によって備えや避難場所が異なるはずなので、それぞれに合わせた周知をしてほしい。以上です。
89	館林情報メールを登録していますが、毎日熱中症アラートやコロナの情報が分かるので、とても助かっています。
90	家の周りに防犯や交通事故等で不安な場所があるときに気軽に相談できるようにしてほしいです。例)・狭い道を車がスピードを出して走ってくるので子どもの登下校が心配。・自転車登校のマナーが悪くて危険。・街灯がない。・空家にスズメバチが巣を作った。ボランティアするにも時間のある方は限られていると思います。地域と行政の連携、行政の積極的な介入を希望します。
91	通学路の安全の確保。空き家や、道路にはみ出した樹木を剪定し良くするなど。街灯があれば良いのと思う道があるので、改善してほしい。
92	つつじサイクリングセンター？が閉まっています。そんな場所を使って障がい、年齢、関係なく集まってお茶を飲んだり、会話ができる場所にしてほしい。そして、福祉の相談ができるようにしたら良いと思います。
93	コロナ禍というものもあるので、もう少し子どものいる世帯や高齢者のいる世帯に支援をしてほしい。

94	<p>館林市を「安心して暮らせるまち」にするには・・・「住みなれた地域で誰もが安心して暮らせるよう、市民が主役で進める取り組み」は重要ですが、もともとの在住者に限らず、これから館林に転居して、居を構えてもいいと思えるよう、そして将来的には老後をおこの地で安心して迎えられると思える街づくりが必要ではないでしょうか。道路と歩道の段差解消など、バリアフリーが進められ、とても素晴らしいことですし、そのことを一番に待っておられた方々もいると思います。ですが、地域に魅力を感じることはもっとあると思います。例えば、せつかくの東北道のインターチェンジがあっても、そこに繋がるバイパス沿いは他のインターチェンジ付近に比べて開発されずに寂しいものがあります。単に大型ショッピングセンターが誘致されないということだけではなく、バイパスの中央分離帯や歩道は常に雑草がっぱいで、何とも言いようのない光景を目にすることが日常となっています。つつじが丘公園や城沼もとても素晴らしい観光スポットだと思いますが、沼のまわりを散歩していても茂った雑草を見るのが日課となっているのも残念です。「地域福祉」とかけ離れてしまいましたが、「住みなれた地域で誰もが安心して暮らせる」だけではなく、「これからここに住みたい」と思える街づくりにも投資していただきたいと思います。何かをやるには、まず財源の確保などが必要だと思いますが、「魅力あふれる館林市」にすることで、人口、世帯の増加が見込まれ、労働人口の増加により、共働き世帯が仕事と育児を両立できるように、子育て施設（保育園や学童の子どもを預かる施設）の拡充に、そしてその施設で働く方々の十分な確保と、職場環境の整備に取り組んでいただきたいと思います。</p>
95	<p>近くのスーパーでの事ですが、お年寄り一人で買ったものを入れている時、お婆ちゃんに声をかけた事がありました。そのお婆ちゃんは知らない人ですが、優しいねと返ってきました。言われなくて声をかけた訳でもないんですが、私も今70才、おばあちゃんの様におだやかでお婆ちゃんの気持ちで過ごせたらと思いました。</p>
96	<p>夜、街灯が少なすぎ。館林の中心部分だけでなく、もっと周りの部分に街灯を増やしてほしい。バスの数が少ないうえに私が利用しているバスは、始発が7時台、最終が18時台、あまりにも学生に優しくない。(歩道)道や公園など、雑草が伸びきっている場所が多すぎ。ゴミが捨てられたり、害虫が発生するので、さっさと除去してほしい。まだまだ言い足りない事はたくさんあるが、税金を払っているので、しっかり仕事して下さい。私の意見は何も響かないとは思いますが、他の人の意見は少しでも取り入れて頂きたいです。</p>
97	<p>現在、このコロナ禍のなかでの生活に不安があり、福祉について、あまり考えることが無かったです。しかし行政は止まることが出来ない事を、改めて考えさせられました。私ができる事は今はありませんが、行政に守られている事は十分に感じています。</p>
98	<p>身近な事は対処したく思いますが、1人で出来る範囲では大した事は出来ません。無理のない範囲で対応したく思います。</p>
99	<p>道路が狭いため、子どもやお年寄り、自転車が行動しやすい町。交通ルールを守る。</p>
100	<p>広報など、それぞれの制度を知ることが第一だと思うので、定期的に記事を書いていただけると幸いです。</p>

101	◎福祉の充実をお願いします。
102	子ども達の安全の為に、通学路を作ってほしいです。道を拡げるなど・・・。
103	困っていたらマスクを供給したり・・・。住んでいる人々の声を吸い上げ、行動に移す自治体になってほしいです。
104	救急医療体制、病院の拡充。出産、育児をしやすい、楽しむことが出来る街にすることで、人口減を止めることにつながると思う。雇用を促進し、若い世代にとって魅力ある街にすることも大切だと思う。(企業、工場、大型商業施設等の誘致)
105	駅の近くに、喫茶店やお茶を飲める場所を提供してほしいです。出張で来ている方が何もない場所で電車を待っている人のためです。駅通りを賑やかにしてほしいです。
106	・倫理観、道德律の本質的な向上をはかる。・知識(真)感情(美)意志(善)と健康の増進。・人間本来の姿を求めさせるような行政を目指す。(単なる理想論ではなく)。・外国の方もおられ、日本人も様々で、現実はお手上げの地域となりつつあります。
107	交通の便の改善。役人の職員が担当部署の知識の充実。(聞かれた質問にすぐに答えられるようにする)。
108	アンケートは関係ありませんが、コロナワクチン接種に90歳過ぎの年寄りを連れて行ったのですが、駐車場は遠い所に止めさせられて、やっと歩いているのに大変疲れました。(郷谷体育館)。予約の時間に行っても先着順で戸惑いました。
109	このアンケートを記入するにあたり、大変な時間とエネルギーを費やしました。真剣に考える程、答えるのが難しいように思います。なので、投函するのが9/7になってしまいましたが、回答へのお願いのハガキが来ました。私は7月にも第五次総合計画、市民活動調査のアンケートに回答しましたが、これもまた回答のハガキが来ました。しかし、アンケートの結果については、未だ何の連絡もありません。回答のお願いではなく、アンケートの結果を知らせるべきではないでしょうか?真剣に回答したかいがありません!!
110	女性が安心して子どもを産める事、障がいのある方が、その人らしく生きられる事、高齢になっても人としての尊厳が守られる事、が希望です。私には障がいがあり、辛いことや嫌なことが忘れられなくフラッシュバックを繰り返し辛いです。私の特性を理解して対応してくれれば、もっと楽に生きられたのに。館林は障がいの早期発見早期介入教室をしてくれていて、素晴らしいと思います。今の館林に生まれていたら違ったかも、母の無知の為です。本物の専門家が居たら良かったのに。今まで生きてきて、私を大切に思ってくれる人にも、分かってくれる人にも会いました。「そのままの私でいいよ」と言ってくれる人が増えたら、生きやすいと思います。知ることと工夫することで、私達は幸せになれるも、傷つきすぎて世の中が怖くなった人がたくさんいます。傷つけないで下さい。

111	館林は安心して暮らせる街だと思います。ただ、楽しい街ではないと思います。住んで楽しい街づくりが街全体の活性化につながると思います。ケーブルテレビで、市会議員の皆さんと市の職員(?)の方々と番組内で、バーベキューガーデンを花山に予定の案があるとの意見が出ましたが、そのような番組を今後も期待します。市会議員の皆さんが街づくりにどの様なお考えをお持ちなのか知りたいと思います。
112	私くらいの世代ですと共働きの家庭が多く、何でも地域にゆだねられると生活の負担や、家庭への犠牲が発生します。(育成会ですら負担となっています)行政や福祉を担う役割の人で、分担してほしい。何か、自分に役が回ってくるのは本当に大変。時代に合わせて、地区とか育成会とかの在り方を見直して下さい。
113	今後、高齢者が増え続けると、医療介護など今以上に必要になると思います。
114	今は生活が一応問題ないので、特に支援が必要ではありません。
115	結局市民一人一人の意志の問題だと思います。どのようにしたら一人一人が「安心して暮らせるまちに」するかということをお自分のことと考えられるような啓発も必要かと思います。
116	私の住んでいる町は中心部からほど遠く、どこへ行くにも交通の便が悪く老人には大変です。買物・医院へのタクシーがもう少し楽に利用できたら有難いです。今は車に乗れるので大丈夫なのですが・・・。近くの老人を見て感じました。
117	本人が、要介護4にて特別養護老人ホーム入所しており記入、聞きとり困難ですすみません。
118	質問の内容からもわかる通り、社会的に弱い立場にいる人たちの生活・命・生き方をどのように考えるのか行政の立場をはっきりと示して欲しいです。自助・共助の大切さもわかりますが「公助」側の人たちの考えをうかがいたいです。
119	災害時における備蓄品の確保・障がい者に対しての声掛け。
120	・館林駅近くの踏切はなぜ通れないのか?通れないととても不便です。通れるようにして欲しいです。・松林近くは街灯がなく真っ暗です。最近は遅い時間までウォーキングしている人などいるため街灯をつけて明るくして欲しい(事故防止)・車のおりが方向的に少ないところはセンサー式にして欲しい。・高齢者の自動車教習を定期的に行って欲しい。もう少し短いスパンで(事故が増えているため)・コロナワクチン接種についてもっと情報を発信して欲しい。いつぐらいに受けられるのかよくわかりません。
121	・病院の充実。厚生病院の科を充実させる。市内耳鼻科の対応の悪さの改善。・市内巡回バスの時刻表の充実。高校生の通学時間に対応。
122	今後商店街の発展がみとめられない為、街中に住む高齢者の買物がとても不便になると思います。車が運転出来るうちは良いのですが、そのうち免許証も返納する為、路線バス等の本数を増やして欲しいと思います。移動スーパーみたいな車をスーパーと話し合い提携して買物難民を助けて欲しいです。一人で生活している人達が大変困っています。近所にも沢山居りますので宜しくお願いいたします。
123	自分はまだ、自営の事で何も出来ないが、体があけば協力したいです。

124	道路の整備を良くしてほしい。歩道とか歩きづらい所があり、自転車で走ると道がガタガタで通りづらい所があって、改善してほしいです。自分で出来ることとして、人に迷惑をかけない事です。
125	高齢者が自動車運転免許を自主返納後、公共交通機関がない為、生活困難となる問題を解決して頂きたい。
126	「安心して暮らせるまち」にあてはるかはわかりませんが…・道路の整備をして欲しいです（段差があったり、かんぼつしていたり）・街灯を増やして欲しいです（私の家の近くには街灯があまりなく、特に冬の夕方はすぐに暗くなってしまうので、子ども達の通学・自転車通学の学生達にとっては危ないです）検討のほど、よろしく願いいたします。
127	バスの本数がなくて不便です。免許証の返納も考えますが、その後の不便さを思うと悩みます。村や地域にあるお寺や神社でラジオ体操はいかがでしょうか。広い道路をわたらないように沢山場所を設けて行えば、近隣の安否確認にもなるのではないのでしょうか。その場所に生活用品等も販売にきてくれるといいのですが。と思います。
128	医療の充実と、低所得者に対する支援金。人々が協力し合える街づくり。今私にすぐできる事は、通りで会った人にあいさつ「こんにちは、こんばんは」など笑顔で声をかけることでしょうか。人に優しい街づくりができれば若い人も増えるのでしょうか。買物などの利便性にも力を入れて頂きたいです。
129	汚してしまいごめんなさい（アンケート用紙を）
130	住みづらいまちでおどろきました。
131	下水道設備を市全域に配備する。早急に願います。新しい道路は作らないで補修するだけにしよう。
132	年を取ると家にこもりがちになり地域活動に参加する機会が極端に減るようになって感じます。親の介護など経験し、お年寄りにも幼児のような「幼稚園」みたいなものがあつたら楽しいなと思いました。人とふれあい地域活動にも参加し、絵を書いたりお習字をしたり、軽い運動をしたり…。デイサービスで行われているようなことで重複してしまうかもしれませんが、このようなことを行政主導で行ってもらうことで、認知症予防、自立した老後生活が送れるよう感じました。幼稚園や保育園の中につくれないものでしょうか？（相乗効果も期待）
133	今まで不安を感じる事もなく過ごしていましたが、年齢を考えると真剣に考えないといけないと反省しました。道路や建物のバリアフリー、買物難民をなくす。公園の充実、若い人達に住んでもらえるような安心して暮らせる館林を作っていく事。私自身は防災グッズの確認・点検・補充・食品の備蓄を心掛けて行きたいと思います。館林を元気に皆で協力し合って行こうと思いました。
134	市内で危ない人や夜間大きな音を出したり大声で騒いだりしている人を度々見かけます。防犯対策やパトロールの面の強化をお願いしたいです。特に夜は騒音が多いと思います。
135	産婦人科の充実・たてばやし情報配信メールは続けてほしい。

136	館林厚生病院の充実（人材と質）
137	防犯灯が少ないのであぶない!!横道。
138	「自立・共助・公助」の三つがそれぞれ充実し十分に連携して力を発揮できるまちづくりが重要だと思います。「災害」においてはまず「自分の命は自分で守る」次に「隣近所で助け合う」そして「行政ができる支援を最大限行う」これらが全てうまく組み合わさって安心して暮らせるまちになると思います。
139	本町から花山町へ移転し 20 年経過したが、近所の家族構成が解らないので災害時は支援もできません。回覧板を回す家が 4 軒も増えたが引っ越しの挨拶もなく顔もわかりません（若い家族）地域支援など程遠いと思われます。
140	優生
141	1. 災害マップの配布（避難所等） 2. 災害情報の連絡等。
142	夫 3 年前から老人ホーム 10 か所見学、申し込みしたのですが！入れず亡くなりました。高額。18 万～20 万円（1 ヶ月）でした！福祉、タクシー券疑問です？数年前から市役所にお問い合わせに行き 1 回 2 枚使えるよう再度お願いします。通院のハンコとかの証明とか？
143	税金を納めているが下水道がなく自分の土地に水を流している場所も有り考えられない。
144	館林市が福祉計画・障がい者計画に力を入れようとしているのがわかり、高齢者障がい者として、とても安心しました。
145	全体的に町が暗い感じがする。去年神奈川から移住してきました。駅前もさびれているし、町あるきをして散策しようと思ってもあまりおもしろみがないというか、どのお店も閉まっているし、シャッター街かな？と思いました。若い人が少ないんでしょうか。お店を持ちたい若者の支援（貸し付けや土地（場所）の提供とか）をすれば若者もやってくるのでは？没個性な感じがすごい。せっかく花山とか沼、最近アニメの聖地として有名になりつつあるのに…。それを活かさきれていないような。この「何もない」のが良いと思うお年寄りはいいのかもしれませんが、若者（10～30 代ぐらいの人）も住んでいることを忘れないでほしいなあと思います。Twitter とかもっと活用してくれたら…。あと車を持っている前提で地域づくりするの本当にやめてほしい!!!車運転できないのにバスが市内にほとんど走っていないの本当に不便です!!!!こっちのほうが怒っています。需要ないんでしょうけど。

146	子育てをするにあたり市内に出産できる病院は少なく子どもが入院する病院がない（小児科での入院）のは不安です。入院のみに限らず緊急でかかることもなかなか難しいので万が一の一分一秒を争う事態が生じた場合等を考えると充実して欲しい気持ちでおります。しかし、子育てに関する支援や相談できる場所は整っているように感じ、出産後に助けていただき感謝しています。制度が整えられ、利用できる場があっても自分で情報を得ようとしないと何事も良い方向に向いていかないと思うので暮らしている人それぞれが、意識すべきことと思います。コロナ禍で大変な状況と思いますが一刻も早い終息を願いながらどうぞご自愛ください。文章乱雑で申し訳ありません。
147	土曜・日曜も市民課の窓口を開いて下さい。アゼリアに出張所があってもいいと思います。
148	まずはコロナを終息させてほしい。
149	少子化が進む中、今後お墓を守る人が居なくなる事が予想されます。墓じまいが必要になったら、行政からお金が出る制度の創設が出来ましたら良いと思います。ぜひ検討してください。
150	災害時どこに避難したらいいのか？明確になっていない。
151	行政との身近なかかわり等、必要だと思う。
152	何もかも地域、地域といって責任や期待を押し付けすぎるのは賛同できない。若い世代は仕事や遊びに多忙です。ほどほどでいいと思います。
153	防犯カメラを、まちの至るところに、設置していただきたい。市街地には街灯があり、それなりに防犯に役立っているのかも知れませんが、郊外に行くと、街灯もなく、夜になると、真っ暗で不安に感じます。
154	ちょっとひとこと。今の世の中核家族家庭が多く、ひとり暮らしの方がいっぱいです。私もそのひとりです。ひとり程寂しいものはないです。不安がいっぱいです。昔へ戻るわけではないですが、皆で過ごせればとひとりごと。世の中が幸せすぎて昔の様な助け合い声かけがうすれていると思います。ひとりごとです。
155	尾曳町に住んでいるのですが、外灯が少なすぎます。※以前、明和町に住んでいたのですが館林の方が税金が高いのに支援が少ないです。出産祝金などが全くないのに驚きました。市が発展していくには、若い人の力が必要だと思うので、改善した方が良いと思います。
156	コロナ禍で市民がマスクがなく、周りの市町村では市民にマスクを配り館林ではなにもなく。市民が税金を納めていても、市民を思う気持ちがなかった。（前市長）新市長は、市民の事をよく見て、足りない所には支援をよろしく頼みたいです。
157	地域だけではなくて館林市民全体で協力し合い助け合っていくことだと思っています。
158	毎日チャンネルを開けば行政の専門家があれこれ諸問題について検討しているのを見たり聞いたりしているが、万人に良い訳にも行かず地域ごと行政に拘る役職の人達は小さな事でも良く見、良く聞き車に乗らない小学生や高齢者の歩く歩道くらいは歩き良い路にさせていただきたいと思う。側溝はがたがた草はぼうぼう。これでは役目を果たしているとは思えない。小さな事から始めてはいかが？よろしく願います。

159	現在、一人暮らしの身です（高齢者）近くに長男家族が暮らしており精神的には安心しておりますが、これから先、一日でも長く健康寿命を伸ばし、迷惑のかからない生活を心掛けたいと思っております。
160	館林も高齢者が多くなり私達始め周りも高齢者が多くなっています。これから車の運転も出来なくなり買物なども困難な状態になりその時移動販売などのサービスがあれば良いかなーと思っております。
161	給付金の再給付（1人10万）
162	難しいアンケートでした。
163	城沼公園を良く散歩します。健康維持の為に常に運動をする事が必要だと思っておりますが、雨の後、地面が濡れている時に公園内が滑って危ない。高齢者や障がいのある方などは危険。健常者でも危ないのに。新しい物（公園など）をつくるのも大切だと思っておりますが、今ある物（場所）を整備していく事も必要だと思う。
164	最近の若者は都会へ行ってしまうので、それを少しでも防ぐために、若者が好きそうな飲食店、アパレルショップなどを増やしてほしいです。私は館林が好きなので、出て行きたいとは思わないですが、もう少しショッピングしやすくなればなあ・・・と思いません。頑張ってください。
165	「地域福祉計画」「障がい者計画」「青年後見制度」「市民後見制度」など知らない人もいると思われるので広報やチラシなどで説明しては（すでに実施しているかもしれないが住民の入れ替わりもあると思うので再度してもいいのではないかと思う）
166	市道の悪路の見直し。ごみ処理について。相談窓口について充実。以上お願いします。
167	・公共バスの運行本数を増やす・歩道の広さの確保・街路灯の本数を増やす。
168	子ども達の為に、公園を整備してもらいたい。歩道の確保等。
169	明和町、邑楽町に比較して 1. 道路が非常に悪い。イ. 水道工事後の修復後がクッキリしており、自転車にハンドルが取られる。ロ. あちらこちらに穴があいている。2. 21世紀になっても下水道処理施設がない。※川や沼の汚染が進む。3. 側溝に砂が入っており大雨の際道路が川になり車に水を掛けられたり、側溝のフタが外れているのに気付かない。4. 先代、山本市長は「緑と水の街 館林」をスローガンに沼、川、公園等の美化に大きく貢献されました。その結果近所に住む友人に「お前は良いな、こんな近くにきれいな沼と公園があつて」と言われたものです。※この市民の声をボトムアップして頂きたいものです。
170	高齢者の足がなく交通が悪くもう少しバスをスーパーや病院に行けるように考えて欲しい。館林のはずれの方は一日に2回ぐらいしか通らなくてはバスがあっても誰も利用しません。バスの中には人がいなくいつもガラガラです。そうすれば車の事故も少なくなると思いますが。高齢者が車に乗らなくなるからちょっと考えて下さいね！
171	1人暮らしの為に、災害が起きると、電子系使うことができず、とても心配です。
172	どのような災害のとき、どこへ避難すべきか不安もある。また、もっと年をとって現在の生活の条件が変わったとき、自分の生活がどのようなものになるのか、どのようにすれば良いのかわからないため、漠然とした不安はる。

173	コロナ情報が館林だけが場所、名所などの報告がなくなぜ？不安です。
174	活気のある商店街がほしいです。高齢者・障がい者の方が安心して買い物ができる商店街。医療を充実して欲しい。安心して生活できません。
175	現在は、コロナ感染者の増加がすごい勢いですが、特に対策が行われている様子が感じられなく、自主的に気を付ける事で不安な毎日です。H.Pが見やすくなった事が唯一ですが、発生者のおおまかな保健所管内での発表で数字が増えると、いったいどの地区なのだろうかと余計に不安になります。クラスターが出てしまった時でも具体的な施設名は記されないのもそれも不安です。加えて、これから、台風のシーズンに入りますが自宅周辺の水路の整備が全くなく、水草が茂り荒れたままで、近くの水路は掃除してくれているのに、こちら側は何年間も何もしてくれず、要望しても動いてもらえません。歩道にも草が生い茂り歩くこともできず歩道自体もガタガタです。コロナで運動量が減ってしまい、せめてウォーキングがしたくても、歩きにくくケガが逆に心配になってしまいます。どうか早目の改善をよろしくお願い致します。
176	迅速な対応。何かあった時に職種の方々が動くこと。治安。このアンケートで1つでも活かされる事を願います。今を生きる人、将来を生きる子ども達が暮らしやすい地域づくり願います。
177	明和町のように、企業や大規模商業施設を誘致して市税収入を増やし。館林市がお金持ちになることが必要だと思います。
178	90代の高齢なのでアンケートはやめて。ワクチンの予約Telがつながらなかった。市長が変わっても同じだった。ちゃんとやって欲しい。
179	近隣への声掛け、日常生活からあいさつなどを行い、声掛けを行い、多少なりとも交流をもっておくこと。そして、行政が何を準備しておくか、近隣への声掛けがなければ、行政が準備したものは利用されないケースが多くなると思う。
180	身体が不自由でやっと生きている状態でお役に立てず申し訳ありません。年齢をとりすぎてお迎えを待っている状況です。静かな老後が過ごせるように願うばかりでしたが。
181	親が病気の時など、病院受診をする2時間程度子どもを預かってもらえる場所があると助かります。
182	60歳を過ぎ、リタイヤした高齢者が生きがい学習や生きがいイベントなどに参加できるような行事、例えば、トレッキング山登りや散策、歴史、史跡巡り、家庭菜園、教育室、男の為の料理教室（妻と死別しても困らないように）。みそ作りや梅干し作り、ジャム作り、など脳活性化をし、孤立を予防。認知症予防にもなるので生涯学習のイベントを気軽に参加しやすいよう企画をする。60歳を過ぎても参加しやすいボランティア活動の参加を発信する。希望する人に「こんな活動がありますけど」と定期的にハガキやメールで紹介してくれるサービスがあれば、参加しやすい。ポスターや広報紙など全体に向けた発信より個人に向けた発信の方が受け入れやすい「やってみようか」と思いやすい。
183	公約した、つつじが岡パークインの再開を早くしてもらいたい。
184	知っている様でも、えっておもってしまって、ちっともわからなくて、はずかしいです。もっと知らないといけませんでした。

185	”住みなれた地域で安心して暮らせるように…”とありますが、実際には、各家庭で困っている問題があります。どのような事で困っているのか、各家庭にアンケートをとるなどして、解決に向けた行動が必要だと思います。特に介護が必要な家庭もあり、介護されている人より、介護している人の方が精神的・金銭的に参っているのも現実です。介護している人は介護に時間を使っているため、収入はありません。介護している人の立場も考えて欲しいと思います。ひとり親家庭で、介護が必要な人がいる家庭は、子どもにお金の心配をさせ、我慢もさせています。そのため、他の家庭と比べてしまい、勉強にも身が入らず、成績にも関係しているので、なんとか良い方向を検討して欲しいです。
186	住民が悲観的にならない様な制度設計が必要だと思います。
187	市が情報をうまく伝達する事。
188	バスを走らせてください。
189	館林市民としてこの様アンケートありがとうございます。色々知らない事もあります。年齢には不足はないけれどまだまだ体験しなければならない事いっぱいあります。これから多田市長のもと市職員一同館林が明るい市として発展します様お祈りします。
190	財政・お金。館林出身の人は、強制でふるさと納税するとか。
191	・転勤で館林に移住してきました。車の免許がなくパートで働きたいのですが希望する職場までバスの本数が少なく通えません。自転車で通える職場も少なく道が狭く、走りづらい事が多いです。・多々良公園に時々散歩に出かけるのですが、日影のベンチが少なくあっても汚れていて座れない事が多いです。散歩の後軽食が食べられるカフェか、スペースが欲しいです。・街全体に活気が無い。買い物は食料品以外は、足利や佐野に行かないと出来ないのが困ります。大きなモールなどではなく、緑町にあるリノベーションされたエリアの様に小規模な楽しめるスペースがもっと広がってくれれば嬉しいです。
192	館林厚生病院の診療科目充実をお願いしたいと思います。
193	行政 市民とあたたかく接し話し合えること。
194	困っている人、他人の手を借りたいと思っている人いらっしゃいますが、その情報を把握しているのは行政であると思います。ただ仕事としてこなしていないかそこに心があるのか、手助けしたいと思っている人も少なからずいらっしゃいます。何か情報開示してお互いに助け合えるネットワークの構築を望みます。
195	私は高齢になったので自動車の運転免許を返して不自由になりました。病院通いや一人暮らしなので食料などの買い物に不自由な生活です。タクシー券など市からいただいていますが行けば帰りも必ず往復です。一年中ではとてもたまりません。巡回バスでは時間とコースが決まっているので住んでいる所と行くところに利用できません。困っている人はいると思います。

196	今は近所でもあまり付き合いがない家が多いため、家族とか家庭の事情とかわからないので、災害があっても支援の必要な人がわからない。個人情報があり難しいかもしれないが、もう少し皆で共有できたらいいと思います。高齢者もこれからは増えると思うし、支援がないと逃げる事も出来ない。避難所も少ないと思う。出来ればもっと増やしてもらえると安心できます。
197	災害時の住民に対する避難意識を高めるための支援（講習会等）現在は、まだ低い。もっと危機意識を持たせるような対策を！！（特に老人）
198	①犯罪のない町 ②明るく健康な町づくり 防災も願います。コロナ禍で苦しんでいる人が沢山あります。大きな目をあけて見守って頂きたい所です。
199	このようなアンケート調査を行い安心して暮らせる町づくりを進めてくださることに感謝致します。障がい者をかかえ老々介護が現実となった毎日。自分も病気がちになりふさぎこむことも多くなってきました。でも、市で多くの方の意見を取り入れてよりよい方向へと取り組んでくださることに安心して光が見えてきたような気がします。市役所の方、ケアマネージャーの方が親切に対応し、アドバイスがいただけています。私も1日も早く健康を取り戻し家庭だけでなく地域のお年寄りの方や障がい者の方によりそいお力になればと思います。アンケートの集計、立案、実践とこれから大変だと思いますが、お身体を大切によりしくお願いします。
200	高齢化社会の医療・福祉の充実。
201	館林の学区の決め方がおかしい。今境界線に住んで学区外で通っているが選べるとうれしい。教育委員会の人達は話にならないので相談などももちろん行きたくない。通学路など危険な所も沢山ある。道路の線などきえている所も多いし。そもそも、アンケートとって福祉が変わるならな病む人も居ないでしょう。館林市は住みにくいともアンケートをやって思う事もある。
202	・地域の防災の協力 ・声かけ運動
203	・各公民館。地域の会館などのコミュニティサロンの充実。・高齢者1人～2人暮らしが多いので相談や安否確認をしてほしい。・街灯が少なく暗い所があるのでもう一度よく見て欲しい。・交番の細かいパトロールで安心できます。・コロナ禍から学び非常に強いネットワーク作りをお願いしたい。・良い所：夕陽の小径や朝陽の小径を散歩している市民の姿を多く見かけます。自主的に健康管理をされる事はとても大切です。最近松林の中や、城沼周辺の除草が行き届いて散歩する環境ができています。（続けて頂きたい）
204	改めて考えたりすることがなかった為、このアンケートをきっかけに今後考えていけたらと思います。皆が住みやすく安心・安全に過ごしていく事が出来、子ども達も成長する事で、色々な考えが出来、より良い館林が作っていければ良いのではと思います。
205	女子高校生からの意見なのですが、学校からの帰り道で夜遅くなってしまった時など、街灯が少なくて暗くて危ないのと怖いので館林市全体に街灯を増やして欲しいとのことです。あと、東武線の線路沿いに草がだいぶ成長してしまっているのが自転車で道路を走るときに草を避けて車道の方に入ってしまうとひかれそうで怖いという事です。よろしくお願い致します。

206	大型商業施設のような規模の福祉総合施設を作り、全てを市が無償で行うフリーサービス・フリースペースを設ける。市民や市外からの人たちも交え、ボランティア活動の育成や総合相談窓口を行えたり、活動を行う者に対し、場所を提供できるものとする。基本的にそこに集約させることで情報統制や周知・議論の場とする。また学童や学生向けのフリースペースを設けることで、学習の場を作る。こうした場所等、既存施設等があったとしても、規模は小さく、また周知されておらず利用客が少ないと思う。市民に宣伝や広告等を行い、積極的に参加させる必要があると考える。
207	館林市内の福祉相談窓口の見える化を充実すべき。地域包括ケアシステムの充実と連携強化の為に窓口を広げる必要があると思います。福祉総合相談窓口は、県社協が行っている事業であるが、各社会福祉法人に事業を任せすぎている為、各事業所の業務負担を大きくしているだけであり、機能の活用ができていない。県社協と市社協の連携から、市内法人の連携をすすめるような、縦割りと横割りの連携と、行政機関の介入は必ず行うべき。行政との連携が、県社協も出来ていない。
208	免許証（運転）を返納してからの交通（買い物・病院）の手段が館林市では良いとは思いません。足、腰が悪い人はその場所まで行けませんので、そういう人の事も考えて欲しいのです。狭い道にでも入って来て欲しいのです。もっともっと細かく。
209	・今は「かかりつけの病院」があるが、将来的になくなる可能性はあると思うので、近くに個人病院があると安心して暮らせると思います。・公共交通機関（バス等）を充実させてほしい。
210	コロナの感染拡大を受け大変ご苦労されているかと思います。市役所等の行政機関が連携し、この状況が少しでも改善される様、切に願います。我が家には、65歳以上の高齢者・障がい児（中2）がおります。福祉的なサポートは障がいがある子たちが安心して暮らせる様行政をあげての協力をお願い致します。
211	私の住んでいる地域では水害だけが心配です。下水や側溝の掃除、安心できる堤防の整備等を、お願いしたいです。
212	現在心配なのはコロナと水害です。コロナはワクチンを全員が早く接種終了できることを願っています。学生の陽性者も出てきており、学校でのワクチン接種もこれから必要だと思います。水害については何とも仕方のないところもありますが、現在の防災マップや避難所の周知徹底を引き続き行い、備蓄品も更新・充実が必要だと思います。
213	情報の交換。地域住民の実態状況の把握。行動意識と自分の暮らしへの認知度。そして共生。
214	仕事の合間など、空き時間に地域に貢献できることがあればお手伝いしたいと思いますが、今は特にしていません。何ができるのかも分かりません。
215	福祉計画を担当していらっしゃる皆さん、大変ご苦労様で御座います。調査内容の考えが集計され、館林が住みやすい、愛される町になることを望みます。
216	生きる為のライフラインは最も大切ですが、館林は文化芸術への関心のレベルが低く、それに適するリーダーが少なすぎる。なので、この街で楽しく充実感のある時が少なくつまらない土地と感じている。文化地方都市、高崎市など参考に見直して欲しい。

217	明瞭性の拡大。
218	アンケートの問題がやや多すぎると感じた。・封筒とアンケート用紙の幅が合っていない為、入れにくいと感じた。
219	お金。
220	統計をとって終わりではなく、その中から1つでも実行出来るようにお願い致します。
221	市民税の軽減。
222	高血圧で、前立腺 PSA も 100 以上。右腰の痛みが激しい為散歩も出来ません。息子の妻の介護のお陰です。食事、医者、通院。シモの下迄お世話してくれます。好きなおやつ、果物も毎日買ってくれます。今の所、不自由はありませんが、他の方のお世話迄出来ません。自分一人で精一杯生きています。
223	若者の働ける企業が此の街に沢山有れば良いと思います。災害や緊急時に力を借りる事が出来る。防災マップも高齢者に分かりやすい用に作ってほしい。自分達が何処の避難所に行くか今のマップではわからない。自分は元気のかぎり、町内に協力して行きたい。
224	皆で協力して、犯罪のない、安心して暮らせる街にしたい。困っているとき、助けてくれる相談員の人が出て、土日でも出来ればやっていただけると、とても助かると思います。電話での、なんでも市民の無料相談などもやっていただけると、心強いです。防災グッズや生活に必要な物を無料で分けて下さると良いと思います。仕事場の不安なども言える相談窓口があると良いと思います。心身の悩み相談も気楽に出来ると良いと思います。
225	人口減少する中、企業誘致を積極的に進め活気ある町作りを推進して欲しいです。(高齢者にとっては少しでも税金が安くなる事は有難いです。)
226	・土日にも行ける手続きが出来る行政の窓口が欲しい。・子育てのお祝い金が欲しい。・妊婦の助成金(医療費など)が欲しい!
227	災害時の流通の確保。この地域は両県川に挟まれ通行手段が少ない。
228	地域の役員、民生委員、防災関係者などが仲介者になって、日常から連絡網を作っておいて、隣近所で助け合いが出来るようにしておきたい。
229	高齢者による買物、病院等の交通手段を考えて下さい。
230	様々な制度があることが分かったが、このアンケートに目を通すことで知った制度が多くあったし、内容は全く知らなかった。そもそも、このアンケートが必要なのかもわからないし、20代学生の自分がアンケートに協力して、どうなるのか不思議。思うことは多くあるけど、書いたり、言ったりしたところで何かが変わったためしがないと、自分含め、多くの市民が思っていると思います。
231	住んでいる地域での活動は、各自出来る範囲で取り組むべきだと思う。
232	館林市が福祉に対して何をしているのか全く分かりません。姉の子どもが自閉症で、市役所へ相談に行きましたが、真剣に考えてもらえず、自分で病院へ連れて行き、自閉症と診断されました。市役所へ相談に行った時に、相談にしっかりとってくれば、また、病院を紹介してくれば早く自閉症と分かり、手当も早くからもらえたのに。5年分ぐらいの手当がもらえず泣いていました。役所が何かすることも大事ですが、必要があり役所を訪ねる人の事をもっと考えて欲しいです。

233	他の地域で自然災害が増えています。現在のハザードマップで数十年に一度、百年に一度の大雨に耐えられるのか？気になります。
234	・インターネットで調べても、難しく書いてあり、理解が出来ない。・子どもへの支援が他の地域に比べ少ない。・子どもと長い時間一緒にいたい、経済的理由で子どもが小さいうちから働かざるをえない。・2人目の子どもを考える時、将来の経済的不安で、どうすべきか悩んでいる。・チャイルドシートの貸出などが無い為、すごく不便。無いところにも連れていけないので購入した。(上限1人1万5千円ほどの援助があれば良いと思う。)・コロナのワクチンの接種が遅すぎる。人口が多いのは分かるが、人口の多いところこそ、早くやるべきである。
235	過度な福祉は必要ないが、必要な福祉には十分考慮して、お願いします。コロナ対策も先手を打って、お願い致します。
236	車上荒らしが多い。防犯に努めて欲しい。税金が高すぎる。子どもが遊べる場所を増やして欲しい。
237	湿地帯の館林。2つの川に挟まれた町、市。避難所も水没になるマップに不安を感じている。障がい者はたくさんの訓練が必要だと思う。いざという時、混乱せず、動けるように。要介護1の母が離れた町の家にいる為、行き来でストレスを抱えこのコロナ禍で若者達がワクチンを受け(予約なし)、不安のない日を送れたらと思っている。ご近所さんとも偏見の目でよそ者扱いされる時もあり、借家住まいの人は色々な支え合い活動も引いている所がある。気遣いながら暮らしています。福祉関係の人も偏見の目で見ているのはとストレスばかりです。地域福祉に疑問・・・。
238	～計画、～制度、～方針、～の策定など数多くの事柄がありますが、有効に作用しているものがあるのでしょうか？絵に描いた餅になっていませんか？特に数々ある防災計画やハザードマップなど、立派な冊子を作成して市民に配布されましたが、市民は本当に活用し役立つのでしょうか？また、市民にボランティアや～支援などと動かそうとしている割に、市職員や各機関の職員は動こうとしていませんか？何か椅子に座って電話で対応しているだけではないのでしょうか？業者任せにいませんか？(何事も)教育委員会も同じように思います。もっと、市や市の職員は、市民の為にすぐ動く行動が必要です。
239	福祉でも、今のようなコロナなど災害時についても知らなかった。もっと早く知りたかったと思う事が多く、正しい情報を迅速に知らせるシステムが出来れば安心できます。
240	行政の素早い行動！！
241	ナショナルミニマム。
242	空き家、空き地の整備→本人にやらせる。
243	通学路が草木で先が見えない。どこへ通報すると良いのですか？自転車と車が通るので事故があってからでは遅い。館林市の東西南北、隅から隅まで、建物の中だけでの仕事では何も見えてないのです。動いて下さい。

244	自分自身年齢を重ねる中、地域福祉に協力し、今出来る事で地域とのつながりを持ち、行動を継続したい。体力気力とも維持できる気軽な場に参加していきたい。互いに見守り合い、声を掛け合い、無事である事が確認出来るようにしていきたい。昔よりアパート入居者や他地域からの流入も多い地区である。コロナ禍も続き、一層コミュニケーションや集いは自粛しているが、知恵を出し合い取り組みたい。まず一步は、怪我の防止と病気の発見、治療。自立した生活の維持を基盤に生活のハリを持ち続けたい。
245	コロナで大変な時ですが、もっと前から医療に関しては不安が多いです。産婦人科、小児科の少ない事や、夜間の救急の人員のなさなど、これからも大きな不安であります。厚生病院の充実を図ってもらいたいと思います。
246	・福祉、防災面の計画、整備も必要と思いますが、それ以前に館林市に明るさがないような雰囲気も感じています。まとまりがないようにも思われます。・防災に関しては、備えが必要。なかなか防災用品を備える事も難しい方が多い為、簡易的な何か防災グッズを各家庭に配布する等、どうでしょうか？
247	とにかく、利用する側の人や現場で働く人達の声を聴いて下さることを望みます。助け合いとしては、市民への啓発の機会を地域（公民館、福祉関係のセンターとか公的な場所）で設けていただけると良いかと思えます。
248	情報発信と発信の有無を周知することの強化。住民の見える範囲で発信強化することが重要だと思う。
249	このアンケートについて。解答をマークシート1枚にすれば郵送料が安くなり、後処理も楽になるのではないのでしょうか。
250	年金生活です。とても生活しづらいです。
251	医療資源の確保。子育て世代にとっては、周産期、小児医療の充実は必須。シニア世代にとっては、整形、循環器等の医療体制の拡充が必須。前世代にとっては、救急医療体制を整備出来なければ、他に何があろうと安心は出来ないと思います。
252	かなり細かい事まで掘り下げたいのですが、設問が（ちょっと）多すぎないか。ある程度のレベルにある人でないといけないだろう。何回かに分けて、もっと簡略にした方が良いでしょう。
253	アンケートを記入するにあたり、知らない事が意外と多かったなど、改めて感じました。高齢者の医療・介護を体験した身として、現在の制度に対して思う所は多々あります。気軽に相談できる場、このようなアンケート等、意見を言える場が必要だと思います。
254	行政に対して地域の住民が協力をする事。また、積極的な協力を得るために多くの人に情報が届きやすくなると良いと感じます。
255	私は80才になります。幸い大きな事故や災害にも合わず、過ごしてきました。これからも元気で生きたいと思えます。今回のアンケート、私にはちょっとわからない所がありました。ごめんなさい。
256	アンケートの事と別なのですが、青少年広場のトイレを直して欲しいです。
257	医療の充実～厚生病院の充実は早急に必要だと思います。
258	歩道の整備が悪い所が多すぎる。

259	休日、夜間の体調相談（暫定的な対処法）が聞ける場所が欲しい。
260	高齢者の市民生活の実態を、現実訪問して、実態の把握が必要だと思う。高齢者の生活環境が悪化しているように思うので、行政として何が出来るかを現実的に行動し、安心した生活が確保出来るように努力して真剣に取り組んでいただきたいです。行政側だが、一人暮らしの市民の悩みを充分理解・協力していただきたい。
261	歩道の整備をして欲しい。道路沿いの雑草や街路樹が歩道や道路にはみ出している所が多く、安全上問題があるのではないかな。
262	病院が必要です。厚生病院をもっと充実した病院にしていっていただきたい思いでいっぱいです。館林の住民でありながら私は市外（県外）の病院でお世話になっています。心配です。（通院含む）館林の住民ならいつでも安心してみていただける厚生病院であって欲しいです。でないと、自分の身は自分で守らなければいけない世の中になってしまうことでしょう。「安心して暮らせるまち」に期待しています。
264	子ども、障がい者、高齢者、いずれにしても支援が必要だと思います。関わる人達が気軽に相談できるように、また、機会を逃さないようにしていく事が大切だと思っています。自分に何が出来るかは分かりませんが、今後、頭において行きたいです。
265	市役所・税務署・警察署など手続きなど必要な機関が市内で散らばっていて不便。
266	現在、コロナ禍なので飲食店や生活困窮者への支援だけでなく、平等に税金をおさめているのだから大胆な経済支援策が一般の家庭にも必要と考えます。ご検討いただけると幸いです。国より先に市が姿勢を示すべきです。
267	本アンケートへの苦情です 全般：パソコンでアンケートに応じる際、アドレスを直接入力させるのは不便です。アンケートの集計または分析、解析結果は公表されるのでしょうか。予めアンケート数や回答に要する時間を示してくれたり、各問いは、新規計画の骨子づくりのどの部品に使われるのか回答者に事前に説明してくれると本アンケートやご担当者に好感が持てます。 問 11：回答者に「地域」の広さ、概念的な意識を尋ねるのは本アンケートの主題ではないと思います。例えば、本アンケートでは地域の概念を定めずにいるから、問 19 では地区と地域という言葉が混在する設問のためクロス集計が困難、かつ答えや傾向に大きなひずみができることとなります。問 20 及び問 21 では「身近な地域」という矛盾した言葉が登場します。問 33 では「地域活動」という漠然とした概念が登場します。問 35 での地域。問 53 での地域。 問 16：選択肢の幅の広さに不満：やむを得ず現在地に住む人もいます。 問 32：選択肢がここだけ3つという他の設問との不整合。
268	福祉、障がい者について、わからない事が多く、アンケート回答に困りました。身近に高齢者、障がい者が居なくても、もっと関心を持ち、知ろうと思います。 安心して暮らせるまちにするには、防犯、相談しやすい(親身になってくれる)機関、窓口が必要だと思います。 他人事と思わず協力していきたいです。

269	<p>今、館林市では産婦人科が無くなってしまって里帰り出産ができなくなっています。館林市に住んでいながら、他県他市産婦人科に行くのは少し残念な気がします。</p>
270	<p>災害時の避難所が人口に対してあまりにも小さい。川が近いので 特に水害に対してとても不安。避難所に行っても人が入りきらないのではと思い、自宅の二階にいれば助かるのではと思ってしまう。豪雨の時は自動車での避難が必須と考え、駐車スペースもわずかな避難所に行きづらい。避難場所を考えて欲しい。</p>
271	<p>私は大阪から引っ越してきてまだ浅いですが、確実に言えることは館林周辺の交通マナーの悪さや人一人一人の民度の低さが異常なまでに高いことです。</p> <p>まず交通マナーの点ですがこの地域の乗用車の場合『不必要な幅寄せ、中央線はみ出し、信号無視、違法駐車』等自転車等の計車両の場合『進路妨害、飛び出し』等がかなり多く感じます。これが不思議なことに古賀や太田、羽生方面等少し離ればこのような事はかなり少なく感じます。</p> <p>更に個々の運転技術も低くその多くは高齢者であることも伺えます。なので高齢者に対しての講習の開催や取り締まり等を強化していただきたくおもいます。</p> <p>次に民度の低さですが一言で言うと心がないです。これは高齢者だけの問題ではなく老若男女問わず心がないです。トラブルが起きて困っている人がいても助けるようなことをする人はまず少ないです。手助けしても感謝はないです。飛び出してきた自転車にぶつけられても謝罪もないです。助け合い、感謝、謝罪等の基本的なことがこの地域は出来る人がごく少数なのです。自分以外はどうでもいいってのが見て取れます。</p> <p>もう一度書きます『心がない』です。このような状況では地域での助け合いは難しいのではないのでしょうか？なので心のある人材教育をしていただけないのでしょうか？</p> <p>長くなりましたが私はいまの生活に不便はしていません、むしろ暮らしやすいまで思います。</p> <p>しかし関西にいた頃よりも人々のマナー及び人間性が非常に悪い、はっきり言って酷いぐらいです。</p> <p>なので障がい者や支援云々よりもまずそもそも道徳的な事に力を入れてほしいです。そうすればこの地域は良いものになると思います。長々と失礼しました。</p>
272	<p>地域で安心して生活する為には近隣の助け合いが必要だと思われる。自治会や町内会が中心となって近所同士の交流活動を進めたり、自ら進んで日頃から近所同士のつながりを持つように心がけることが必要。障がいのある人の暮らしやすい町をつくるために大切だと思われる事は、障がいについて正しく理解し、雇用の促進や働く場を確保することや、障がいのある人の経済的な自立や生活の場の広がり大切です。少子化が進む中で、核家族化や地域とのつながりの希薄化等により子ども、子育てをめぐる環境は厳しく子育てに不安を感じる家庭は少なくないかと思しますので、子育てしやすい環境や、ひとり親家庭への経済面や生活面等サポートをお願いします。</p>

273	<p>私自身が精神障がい者であり、仕事に就く事が困難。多少生活費に余裕が無く将来的にはかなりの不安あり。体調が悪くなっても話し相手が居ない。福祉福祉と騒いでは居るが、実際は私の様な物には市行政は何もしてはくれている。</p> <p>市役所に行けば事務的な対応はして貰えるが、相談と言うには程遠い。高齢者や身体障がい者の方達にはそれなりに対応はして居る様だが、精神障がい者は別な扱いなのだろう。</p> <p>精神障がい者とはいえ、仕事に就くのは難しい反面、時間に余裕があるので、市行政の方や民生委員の方が来て相談して貰えれば、高齢者の話し相手や子ども達の安全パトロール等は出来る。その上で就業する事等も気軽に相談出来る様になるのではないかな。</p>
274	<p>子どもの放課後の預かり場所の充実を希望します。</p> <p>邑楽町は児童館が学校のすぐ近くにあり（←これ大事）申請すれば無料で預かりをして、宿題の声掛けや見守りをしてくださる方が在中しています。</p>
275	<p>若い人中心でまわっているので若い人がもっと生きやすいようにする必要があると思う。コロナ禍、少子化で騒いでいる時代に、赤ちゃん産んで現金しか求めない。記念樹なんて要らない。必要、不必要を考えて欲しい。お金かけるべき所が違うと思う。改善していかないと館林にはずっと住みたいとは思わない。</p>
276	<p>児童虐待、障がい者虐待、高齢者虐待など、そのような問題は身近に起こっており、市や市民、行政はそれらを見做してはならないと思います。色々な問題は生活困窮や心身の病など負の循環から起こっているの、それを断ち切るために福祉を充実させて欲しいです。特に子育てに力を入れてほしいです。誰かに相談するのも勇気がいることです。誰もが安心して相談できるように、相談窓口を充実させ、福祉制度の住民の認知度が高まるように、インターネット、広告を充実させるなど、ぜひよろしくお願い致します。</p>
277	<p>もっと街を活性化するために、新しい商業施設が必要なように思います。このままだと若者がいない街になってしまいます。他の街にいかなくても済むような街になってほしい。映画館もない街は悲しいです。</p>
278	<p>税金等を優遇して企業や大きなショッピング施設を誘致し、高齢者も移動しやすいよう巡回バスの増車、コース増設が必要。特に市の南側はスーパーやお店が少なく、車が無い高齢者は買い物は大変です。</p> <p>小中学生等がスポーツしやすい施設が少なすぎる。スポーツ宣言都市なのだから市の遊休土地、使用していない農地を有効活用を検討して欲しいです。</p> <p>例:カルピス工場東の公園屋外バスケットコートは大人、子どもが場所の取合いで満足に遊べません。城沼が朝夕ジョギングする人が沢山居ます。茂林寺沼も散歩は居ますがジョギングはしづらいので、横の土地にグラウンドや3x3(ミニバスケット.通常バスケット)施設、屋根付きフットサル場を作ってはどうか。</p>

279	<p>引っ越してきて3年ほど経ちますがただ住んでいるだけでは館林市の社会福祉についてほとんど無知な状態です。</p> <p>必要になれば自分から調べたりして関心が向くようになると思うのですが、市民が普段使うお店等に館林市は社会福祉にこういう風に力を入れていきますよ、こういうことをしていますよなどの何かしらのアピールがあると関心がない人にも市の社会福祉への取り組み姿勢が伝わるのではないかなと思いました。</p>
280	<p>高齢者の支援、ボランティア等、出来る事はやりたいが、何をしたら良いのか、何が必要なかの情報がほしい。気楽に参加出来るボランティアサークルがあれば良いと思う。(ベテランが、仕切りがち。では参加をためらう)</p>
281	<p>私が障がいを持っているため出来る事は少ない</p>
282	<p>地域活動への参加協力</p>
283	<p>組合では高齢者が何人も亡くなり、次の世代の私達に負担がかかっている。集落所の掃除やその他の掃除、山狩り、旗立てなどやめて欲しい。組合制度をやめて欲しい。</p> <p>買い物に不便はないが、近隣の町や市ではコストコが出来る予定だったり、アウトレットがあつたりで、館林は何をやっているのですか？古い考えのお偉いさんばかりだから、全く発展しませんね。駅前死んだ商店街になっていますよ。</p>
284	<p>子ども達が安心して過ごせる公園など少ないと思うので、使われていない土地などもっとそういったことに使って欲しい。歩道のない所もたくさんあるので、安全に登校など出来るように整備してほしい。</p>
285	<p>コロナ禍という大変な状況ですが、私達市民の為に毎日有り難うございます。「安心して暮らせる街」についてですが、小学生を持つ親として、ドライバーのマナーが良くないと思います。高齢化が進む中で様々な年齢のドライバーがおり、自分が運転中、また子どもと散歩中にヒヤッとする瞬間があります。交通安全に関する設備等改善や増設をしたほうが安心かと思います。</p> <p>また館林に隣接する他の市町村に比べ、公園の設備が良くないように感じます。他の市では遊具自体が新しく、安全面でも館林より良く感じます。以上宜しくお願い致します。</p>

286	<p>館林の借金の返済。前市長さんは三億も返済したそうです。どうしても素人考えでは、まずは借金をどうにかしてくれという考えに至ってしまうので。まちづくりも大事だと思いますが、ただ単にまちづくりをするだけでは、とある町の真似っこのような気がします。市長さんは、商人の方に信頼されているそうなので、インフラ整備等も含めまちづくりをするなら市民に支持される、納得されることをして頂きたい。</p> <p>また何十年も前からだが税金も高いのでどうにかして頂きたい。隣町出身の父が館林に来て驚いたそうです。</p> <p>また、子育てしやすくして欲しい。保育所の無料だかが3人目？というのも少子化、晩婚化が進んでいるので家庭状況によっては難しいところもあるのでなにか、もう少し違う形がいいかも？</p> <p>あと、板倉町との合併反対です。板倉町は給食費無償は譲れないそうですが、館林がそれをやろうとすると億かかると前市長さんから聞きました。その負担はどうするのですか？そのために借金や税金は増やさないで頂きたい。子どもの教育に協力したくないというわけではないが現実味なさ過ぎます。小中学校が館林は15校以上あります。学校の数が多いすぎます板倉町は大企業も大学も撤退していて、役場はあんなに良いのが建てられているし、お金の面でも館林は合併後のメリットが全く感じられません。</p> <p>また、タクシー券の限度額増量の検討して頂けると高齢者も助かるのでは？他の自治体はもう少し上の所もありますし。</p>
287	<p>他の地域に比べて子育てにお金がかかっている。館林で子育てしていてもメリットがないように感じる。</p>
288	<p>給食費完全無料化 高年齢者の交通手段の充実 産科を増やす コロナ禍における水道光熱費の補助</p>
289	<p>最近外国の方が大変多くなっています。個人的に偏見はありませんが、是非生活に困らないような支援があるといいなと思います。(今現在どんな支援施策があるかは良く知りません。)</p>
290	<p>高度な医療技術や設備の充実した総合病院が無い為、市外の病院にかからざるを得ない。高齢化の開業医や一流でない医師ばかりの病院の存続に拘るのは是正すべき思う。消費についても個人商店の保護の為、大規模商店を誘致せず、結果的に市外に消費が流出してしまっている。これも是正すべきと思う。</p>
291	<p>他県・他市に比べて魅力が少なく住みたい町にはならないのが現状かと思います。魅力と言っても多種多様な考え方、価値観があり難しいですがもっと視野を広くして人々が住みたいと思う町作りが必要、都府県や世界から学ぶ姿勢が重要と思います。特に今は商業施設に魅力がない気がします。例えば今流行りの食パン屋・カフェなど新しい店(個人店)が商店街などに出来て人が集まるようにするなど人が住みたい、住んでみたい町になれば自ずと住人も増えて地域活動に参加してくれる人や活動も活発になるはずで</p>

292	高齢社会に入り、私も古希を迎え安心・安全な街づくりに協力していきたいと思いません。
293	医療施設の充実（厚生病院の医療体制では不十分）
294	<p>地域で協力ができるつながりを作る必要があるところ近所の定義はいろいろあろうが、それぞれの単位での集まりが必要で有る。厚生病院で産婦人科や小児科など医療の充実を図ることは最低限必要。産業を充実させて市を発展させ、若い世代が館林に住み、子育てしやすい環境作りが必要。今後人口が減り過ぎる。総務省統計でも今後消滅する市町村とされているが、どの様に考えているのか。</p> <p>最後にこのアンケートはどう活かされるのか全く不明な質問内容。</p>
295	<p>近所に住む一人暮らし 80 代のおばを見ていて思ったことです。例えば病院に行くときなど、一人では勝手がわからず困るので支援者がいると心強い。各種手続きを一緒にしてくれる信頼できる支援者が必要。定期的に見守りをしてくれる人が必要。たくさん書類を書かなくても済むような手続きの簡略化が必要。コロナ禍で仕方ないのですが、地域で支え合うコミュニティが必要。（歩いて行けるか送迎をしてくれるか）電話相談の担当者（困ってからかけるのではなく、普段から関係作りができていない人が必要。）</p> <p>高齢者への啓発（介護サービスを使うことは、恥ずかしことでも、自分がだめになったことでもないということを広く知らせてほしい）健康で暮らすための習慣作りの支援。</p> <p>サポーター制度</p> <p>自分がサポートできる内容と日時をあらかじめ登録しておく。普段から両者が顔を合わせられるような機会をもつ。信頼関係作りができてこそ、支援できるのではないか。個人でできることには限りがある。それぞれができることを頑張るべきだが、できないことを頼れる場所や人が必要、特に高齢者は自分でできないことが多いので、簡単に手続きできるような仕組みも必要である。いざという時、どうすれば助けてもらえるのかを知っておくこと。自分も助ける立場にも助けられる立場にもなるということをもっともっと互いを知る場が必要ではないか。</p>
296	交通の便が悪く車がないと何もできない地域なのが心配です。車がなくてもライフラインを確保できる地域になって欲しいです。
297	人口が多い地区と少ない地区に対する予算の使い方が、どんどん開いて来ていると感じます。格差が出るのは仕方がないことですが、行政にはなるべく格差を少なくする努力をぜひお願いしたいです。このまま格差が続くようであれば、その分納税額にも格差をつけて頂きたいと思えます。
298	子ども関係の手当、補助等を充実させて欲しい。予防接種無料料や給食費免除等
299	自分自身知的障がい者なので取り組むことが難しい
300	<p>近所のかかわりはほとんどない。トラブルがあっても相談できない。身体障がい者より発達障がいなどが増えている。特別支援教育を受けている子たちは、通常学級の子にバカにされたりする。兄弟姉妹も心無い言葉を受けることがある。障がい児の家族への配慮も必要です。発達障がい館林市は力を入れていた時期がありましたが、市長が変わってどうなりますか？</p>

301	<p>赤ちゃんから高齢者まで館林市民全体が住みやすい環境になっていけばいいと思っていますのでやはり子育てや健康に関する福祉の充実はとても必要だと思う。</p> <p>館林市を活性化かさせるためにも、土地をもっと活用させて商業施設など充実させて、ただ通るだけの市から、そこに行きたい、住みたいと思わせる市づくりがとても大事だと思う！何か一つでも特化しているものがあれば・</p> <p>とても充実して機能している大きい病院があるとか、全国から人が来てくれる観光地があるとか、色々考えればいくらでもいい方法はあるとおもう！</p>
302	<p>1 治安向上。館林の治安は良いほうだと思いますが、さらなる治安向上が不可欠です。</p> <p>2 障がい者福祉の向上。障がいは人によって様々です。様々な障がい、それぞれに合った支援が必要です。</p> <p>3 利便性の向上。買い物、交通など生活インフラの向上が必要です。</p> <p>4 防災。館林は、標高が低く利根川、渡良瀬川など河川が多い。河川氾濫や、内水氾濫など防災設備を充実することが必要です。</p>
303	<p>産婦人科の確保 子育て支援の充実 労働場所の確保</p>
304	<p>産婦人科の増加</p>
305	<p>今のところわからないが、将来には不安がある。</p>
306	<p>地域に貢献したい気持ちはあるが、自分にできることがわからない地域住民との協力やコミュニケーションは、大切だし必要なことだと思うが、その環境が整っていないと感じている。</p> <p>高齢者が多い町なので、地域コミュニティは閉鎖的だし、世代間交流も薄い。共働き世帯だと時間も少ないので、特にそう感じる。</p>
307	<p>近所付き合い</p>
308	<p>子どもの医療費を高校生まで無料 産婦人科があるといい お年寄りの足になる、バス等の公共の乗り物の本数が増えるといい</p>
310	<p>高齢者の為ばかりの制度ではなく若者が住みやすくなる制度が必要だと思う。</p> <p>いまは少子高齢化で高齢者が多いが、そのうち人口自体が少なくなってしまうので、若者を大事にする制度を増やしていかないと人口が減っていき、地域の活性化は望めなく、また高齢者を、介護するような人もいなくなってしまい、高齢者が高齢者を介護する、なんて問題が起きてしまう。</p> <p>私も子どもを産むのであれば支援金等の子どもを育てるための制度を調べてそういうものが多い市に引っ越したいと思っている。</p>

311	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通勤時間帯の交通渋滞がひどいため、解消してほしい ・ 市街化調整区域では街灯が少なく危険なため、街灯を拡充してほしい ・ 側道の雑草が多く事故が起こる可能性がある箇所が多いため、積極的に雑草を除去してほしい ・ 企業を誘致することで、財源や居住者を確保し、将来的にも若者が増える社会を実現してほしい ・ 市役所の手続きを IT 化してほしい
312	問 33-(3)が複数選択可能なのに、一つしか選択できないようになっているようです。

「館林市地域福祉計画」及び「館林市障がい者計画」策定のための アンケート調査ご協力をお願い

市民の皆様には日ごろから福祉行政にご協力いただき、ありがとうございます。

館林市では、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちづくり推進のため、地域住民がお互いに助け合い、支え合うことのできる仕組みづくりを目指した「第四次館林市地域福祉計画」及び「第四次館林市障がい者計画」を策定することといたしました。

このアンケート調査は、館林市にお住まいの18歳以上の方の中から無作為で抽出した2,000人を対象に実施いたします。市民の皆様の地域福祉に関するお考えや地域活動への参加状況などをお伺いし、基礎資料として第四次計画策定に反映していきたいと考えております。

また、このアンケート調査は無記名ですので、個人が特定されることはありません。本調査の結果は統計的に処理し、お答えいただいた方にご迷惑をおかけするようなことは一切ございませんので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年8月

館林市長 多田 善洋

【ご記入にあたってのお願い】

- (1) この調査票には、お名前・ご住所をご記入しないでください。
- (2) アンケートへの回答は、封筒のあて名のご本人がお答えください。やむを得ず、ご本人の回答が困難な場合は、ご家族の方などがご本人のお考えをお聞きのうえ、またはご意向をくみ取ったうえで、代理で回答をお願いいたします。
- (3) アンケート用紙にご記入いただく場合は、ペン・鉛筆で、あてはまる回答の番号に○をつけてください。また、記入欄については、具体的にその内容をご記入ください。
- (4) ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて（切手は貼らずに）9月9日（木）までにポストに投函してください。

インターネット（ぐんま電子申請受付システム）を利用して回答ができます。

（パソコン、スマートフォン、タブレットから回答可能です）

二次元コード



インターネット回答の方法

- ◆二次元コードをお持ちのスマートフォンなどで読み取っていただくと、自動的にアンケートの回答ページにアクセスできます。
- ◆パソコンからの回答、または二次元コードが読み取れない場合は、次のアドレスを直接入力してください。

https://s-kantan.jp/city-tatebayashi-gunma-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=4490

【調査に関するお問い合わせ先】

館林市保健福祉部 社会福祉課 社会係
電話：0276-47-5127（ダイヤルイン）
FAX：0276-72-4210

■ 地域福祉って何？

ふだんの生活の中で、ちょっとした不安や不便を感じたことはありませんか？

子どもの登下校が不安…、災害時の対応が心配…、外出したくても交通手段がない…、など。こういった不安や不便さは、ほんの少しの手助けや気づかいで解決できることがたくさんあります。

「地域福祉」とはそういった問題を地域の中で解決し、「**住みなれた地域で誰もが安心して暮らせるよう、市民が主役で進める取り組み**」のことを言います。例えば、隣近所の人にあいさつすることや子どもの安全を地域で見守ることなども、地域福祉の活動といえます。

■ 「地域福祉」による館林市の将来イメージ



誰もがあいさつ
できる地域へ

気軽に助け合える
地域へ



～みんなで助け合い・支え合える館林市へ～



見守り活動の
充実した地域へ

つながりのある
地域へ



■ 地域福祉計画がめざすもの

- 「地域の助け合い・支え合い」が当たり前のようにできる社会をめざします！
- 誰もが安心して暮らせる社会をめざします！

そのためには？

地域のことや、日ごろ感じる生活の課題などを一番よく知っている、地域の皆さんの参加と協力が必要不可欠となります。

**市民参加の一環として、アンケート調査へのご協力を
よろしくお願いします。**

I. あなたご自身についておたずねします。

問1 あなたの年代はどれですか。(ひとつだけ○)

- | | | |
|--------|--------|---------|
| 1 10歳代 | 4 40歳代 | 7 70歳代 |
| 2 20歳代 | 5 50歳代 | 8 80歳以上 |
| 3 30歳代 | 6 60歳代 | |

問2 あなたは、現在どの地区にお住まいですか。(ひとつだけ○)

- | | |
|--------|-----------------------|
| 1 館林地区 | 6 三野谷地区 |
| 2 郷谷地区 | 7 多々良地区 |
| 3 大島地区 | 8 渡瀬地区 |
| 4 赤羽地区 | 9 わからない(町名をご記入ください:) |
| 5 六郷地区 | |

問3 あなたは、現在の地区(問2で回答された地区)に何年住んでいますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 50年以上住んでいる | 4 5～9年住んでいる |
| 2 20～49年住んでいる | 5 住みはじめて5年に満たない |
| 3 10～19年住んでいる | |

問4 あなたの主な職業は何ですか。(ひとつだけ○)

- | | |
|------------------|-------------------------------|
| 1 会社員・団体職員 | 6 無職(年金生活者など) |
| 2 公務員 | 7 学生 |
| 3 自営業(商店、企業経営など) | 8 パート、アルバイト、フリーター |
| 4 農業 | 9 専門的職業(医師、看護師、弁護士、会計士、芸術家など) |
| 5 家事専業 | 10 その他() |

問5 あなたの家族構成はどのようになっていますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 ひとり暮らし世帯 | 4 親と子と孫の3世代世帯 |
| 2 夫婦のみの世帯 | 5 その他() |
| 3 親と子の2世代世帯 | |

問6 あなた、もしくは同居の家族に次の方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1 1歳未満の乳児 | 6 介護を必要とする方 |
| 2 未就学児(1歳未満の乳児を除く) | 7 身体・知的・精神などの障がいのある方 |
| 3 小学生 | 8 就労の不安定な方 |
| 4 中学生・高校生 | 9 ひきこもり状態の方 |
| 5 65歳以上の方 | 10 いずれもない |

II. 「福祉」についておたずねします。

問7-(1) あなたは「福祉」に関心をおもちですか。(ひとつだけ○)

- 1 とても関心がある 2 ある程度関心がある 3 あまり関心がない 4 全く関心がない

(問7-(1)で「1」「2」を選んだ方におたずねします。)

(問7-(1)で「3」「4」を選んだ方におたずねします。)

問7-(2) 特にどの福祉の分野に関心をおもちですか。(ひとつだけ○)

問7-(3) その理由は何ですか。(ひとつだけ○)

- 1 子どもの福祉 (子育てなど)
- 2 障がい者の福祉 (障がい者介護など)
- 3 高齢者の福祉 (高齢者介護など)
- 4 生活困窮者自立支援 (貧困・低所得者など)
- 5 地域福祉 (地域での支え合い活動)
- 6 その他 ()

- 1 今のところ自分にはあまり関係がないから
- 2 「福祉」のことがよくわからないから
- 3 その他 ()
- 4 特に理由はない

問8 あなたはこの調査をみる前から「地域福祉計画」を知っていましたか。(ひとつだけ○)

- 1 内容まで知っていた 3 知らなかった
2 聞いたことはあるが、内容まで知らなかった

問9 あなたはこの調査をみる前から「障がい者計画」を知っていましたか。(ひとつだけ○)

- 1 内容まで知っていた 3 知らなかった
2 聞いたことはあるが、内容まで知らなかった

問10 館林市は子どもや高齢者、障がいのある方にとって暮らしやすいまちだと思いますか。(それぞれひとつだけ○)

項目	とても暮らしやすいと思う	まあまあ暮らしやすいと思う	あまり暮らしやすいと思わない	まったく暮らしやすいと思わない	わからない
①子どもにとって	1	2	3	4	5
②高齢者にとって	1	2	3	4	5
③障がいのある方にとって	1	2	3	4	5

Ⅲ. 「近所・地域との関わり」についておたずねします。

問11 あなたが考える「地域」の範囲をお答えください。(ひとつだけ○)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 隣近所 | 4 中学校区 |
| 2 行政区・町内会 | 5 館林市全地域 |
| 3 小学校区 | 6 その他 () |

問12 あなたは、今住んでいる地域に愛着がありますか。(ひとつだけ○)

- 1 大いにある 2 ある程度ある 3 どちらともいえない 4 あまりない 5 全くない

問13 あなたは、ふだん近所の人とどの程度の付き合いをされていますか。(ひとつだけ○)

- 1 近所の仲の良い人とよく家を行き来している
- 2 会えば親しく話をする人がいる
- 3 あいさつ程度の関係の人がほとんどである
- 4 近所付き合いはほとんどしていない

問14 あなたの近所付き合いに対する考え方に近いものはどれですか。(ひとつだけ○)

- 1 親しく相談したり、助け合ったりすることは当然だと思う
- 2 日常生活に不便なことが多いので、必要だと思う
- 3 わずらわしいことが多いので、あまりしたくない
- 4 無くて困らないので、したくない
- 5 その他 ()

問15 あなたは、行政区や町内会に加入していますか。(ひとつだけ○)

- 1 現在加入している
- 2 以前はしていたが、現在はしていない
- 3 加入したことがない
- 4 自分の地域にそのような組織があることを知らない

問16 あなたはこれからも現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 これからも住み続けたい | 3 できれば他の市町村に移りたい |
| 2 どこか市内の別の場所を探したい | 4 わからない |

問20 あなたの身近な地域には、地域住民が取り組むべき課題や問題としてどのようなことがあると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1 青少年の健全育成 | 8 障がいのある方への生活支援 |
| 2 母子家庭や父子家庭の子育て支援 | 9 子どもや高齢者、障がいのある方などへの虐待対策 |
| 3 共働き家庭の子育て支援 | 10 生活習慣病予防など健康づくりへの取り組み |
| 4 乳幼児期の子育て支援 | 11 防犯や防災など地域の安全を守ること |
| 5 高齢者の社会参加や生きがいづくり | 12 生活困窮者への生活支援 |
| 6 障がいのある方の社会参加や生きがいづくり | 13 特にない |
| 7 高齢者世帯の生活支援 | 14 その他 () |

問21 あなたは、コミュニティ活動や地域の課題などについて、身近な地域で情報を共有するしくみができていると思いますか。(ひとつだけ○)

- | | | |
|-----------|-------------|---------|
| 1 できている | 3 あまりできていない | 5 わからない |
| 2 ややできている | 4 できていない | |

問22 あなたは、住民と行政のパートナーシップについて、どのように思いますか。(ひとつだけ○)

- | | | |
|------------------|---------------|---------|
| 1 良い関係ができている | 3 どちらともいえない | 5 わからない |
| 2 ある程度良い関係ができている | 4 良い関係ができていない | |

問23 隣近所で、高齢者や障がいのある方の介護・介助や子育てなどで困っている家庭があった場合、あなたはどのような手助けができると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 安否確認の声かけ | 8 子どもの送り迎え |
| 2 趣味などの話し相手 | 9 子どもの通学路の見守り |
| 3 買い物の手伝い | 10 高齢者などの介護 |
| 4 ごみ出し | 11 緊急時の手助け |
| 5 外出の手助け | 12 生活物資の提供 |
| 6 家の前などの掃除 | 13 特にない |
| 7 短時間の子どもの預かり | 14 その他 () |

問24 日常生活の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。(ひとつだけ○)

- | |
|--|
| 1 自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい |
| 2 地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せておきたい |
| 3 行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい |
| 4 その他 () |

IV. 障がい者施策などについておたずねします。

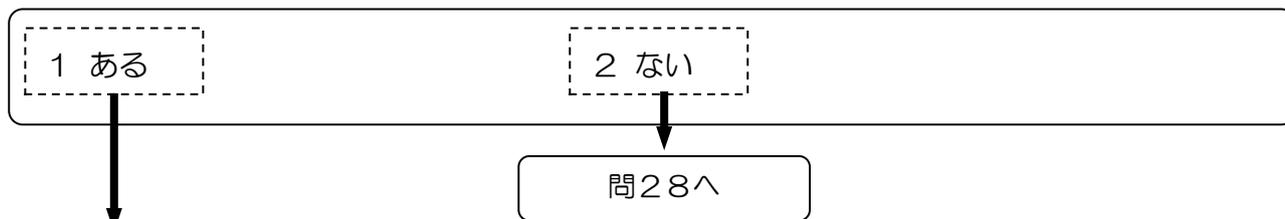
問25 あなたの周囲には、障がいのある方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 同居している家族・親族にいる (いた)
- 2 同居していないが、家族・親族にいる (いた)
- 3 家族・親族以外 (友人・職場の同僚など) で身近にいる (いた)
- 4 いない

問26 あなたは、障がいのある方の問題について関心を持っていますか。(ひとつだけ○)

- 1 非常に関心がある
- 2 ある程度関心がある
- 3 あまり関心がない
- 4 まったく関心がない

問27-(1) あなたは、この1年以内に、障がいのある方にかかわるボランティア活動などに参加したことがありますか。(ひとつだけ○)



(問27-(1)で「1」を選んだ方におたずねします。)

問27-(2) あなたが、この1年間に参加した障がいのある方にかかわるボランティア活動は次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 在宅障がい者の支援
- 2 障がい者福祉施設での活動
- 3 手話・点訳・朗読
- 4 チャリティー・募金活動
- 5 障がいのある方との交流 (レクリエーション活動など)
- 6 その他 ()

問28 障がいのある方が外出しやすいまちづくりのためには階段やスロープで車いすの手助けをしたり、交差点で誘導をしたり、バス・電車で席を譲るなど、市民一人ひとりの協力が必要です。普段、まちで困っている人を見かけた時、あなたは手助けをしていますか。(ひとつだけ○)

- 1 積極的に実行している
- 2 求められて手助けしたことがある
- 3 心がけているが、機会がない
- 4 特に何もしない
- 5 その他 ()

問29 あなたは「障害者差別解消法」を知っていますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|------------------------|----------|
| 1 内容まで知っている | 3 知らなかった |
| 2 聞いたことはあるが、内容まで知らなかった | |

問30-(1) あなたは、日常生活や地域で、障がいのある方に対する差別・偏見、または配慮のなさを感じるがありますか。(ひとつだけ○)

1 ある	2 ない	3 わからない
------	------	---------

↓

問31へ

↓

(問30-(1)で「1」を選んだ方におたずねします。)

問30-(2) 主にどのようなところに、障がいのある方に対する差別や偏見などを感じますか。(2つまで○)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 教育の機会 | 9 福祉関係従事者の対応 |
| 2 仕事や収入 | 10 道路や建物の整備 |
| 3 情報の収集 | 11 交通機関の利用 |
| 4 サークル・スポーツへの参加 | 12 災害時・緊急時の情報提供 |
| 5 地域行事・地域活動 | 13 政治への参加 |
| 6 隣近所のつきあい | 14 公共施設の利用 |
| 7 街角での人の視線 | 15 その他 () |
| 8 店などでの対応態度 | |

問30-(3) 障がいのある方に対する差別・偏見は改善されてきていると思いますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|---------------|------------|
| 1 かなり改善されている | 4 改善されていない |
| 2 少しずつ改善されている | 5 わからない |
| 3 あまり改善されていない | |

問31 あなたは、障がいのある児童の教育についてどうあるべきだとお考えですか。

(それぞれひとつだけ○)

項 目	ぜひ必要	できれば必要	必要でない	わからない
①障がいに応じた専門的な教育	1	2	3	4
②居住している校区での学校教育	1	2	3	4
③通常学級での教育	1	2	3	4
④状況に応じて学ぶ場を変更できる制度*	1	2	3	4
⑤障がいのある児童とない児童の交流	1	2	3	4

※状況に応じて普通学校と特別支援学校を行き来できる制度

問32 館林市が障がいのある方にとって暮らしやすいまちになるには、次のうちどの分野に重点的に取り組むことが必要だと思いますか。(3つまで○)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 労働・雇用の支援 | 9 情報のバリアフリー化 |
| 2 教育・学習の支援 | 10 社会参加の場の充実 |
| 3 所得の保障 | 11 外出支援 |
| 4 保健・福祉サービスの充実 | 12 住まいの場の確保 |
| 5 医療の充実 | 13 医療費補助などの社会保障 |
| 6 総合的な相談体制の充実 | 14 在宅生活を支援する福祉サービス |
| 7 権利擁護・虐待防止 | 15 その他 () |
| 8 道路や建物などのバリアフリー化 | |

V. 地域活動やボランティア活動などについておたずねします。

問33-(1) あなたは、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動などについて、取り組んでいますか。(ひとつだけ○)

1 現在、継続的に取り組んでいる 2 たまに、取り組むことがある 3 取り組んだことはあるが、現在はほとんどしていない	4 取り組んだことはない 5 取り組むことができない
---	-------------------------------

↓

問33-(3)へ

(問33-(1)で「1」「2」「3」を選んだ方におたずねします。)

問33-(2) どんな活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1 行政区・町内会の活動	7 スポーツ団体の活動
2 婦人会の活動	8 趣味などのサークル活動
3 子ども会の活動	9 ボランティア活動
4 寿会の活動	10 NPO活動
5 PTAの活動	11 その他()
6 子育てサークルの活動	

(問33-(1)で「4」「5」を選んだ方におたずねします。)

問33-(3) 現在活動していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 行政区・町内会などの組織に入っていない	7 家族の理解が得られない
2 勤務などの都合で機会がない	8 体調がすぐれない
3 参加方法がわからない	9 一緒に活動する仲間がいない
4 時間がない	10 参加したいが情報が無い
5 興味がない	11 わずらわしい
6 経済的な負担が大きい	12 その他()

問34-(1) あなたは、今後、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動などに、どの程度取り組んでいきたいと考えていますか。(ひとつだけ○)

1 積極的に、取り組んでいきたい 2 できるだけ取り組んでいきたい 3 機会があれば、取り組んでもよい	4 あまり取り組みたくない 5 取り組むことができない
---	--------------------------------

↓

問34-(2)へ

問35へ

(問34-1)で「1」「2」「3」を選んだ方にお尋ねします。

**問34-(2) どのような条件であれば、活動・参加したいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)**

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1 活動情報の提供がある | 7 特技や知識が活かせる |
| 2 友人などといっしょに参加できる | 8 身体的な負担が少ない |
| 3 身近なところで活動できる | 9 経済的な負担が少ない |
| 4 活動時間や曜日が自由 | 10 特にない |
| 5 気軽に参加できる | 11 その他 () |
| 6 適切な指導者やリーダーがいる | |

問34-(3) あなたが今後してみたい地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種支援活動などは何ですか。(3つまで○)

- 1 地域を元気にする活動 (行政区・町内会での交流活動など)
- 2 子育てを支援する活動 (子育て交流会や児童の一時預かりなど)
- 3 高齢者を支援する活動 (家事援助、話し相手、見守り・声かけ、外出付き添いなど)
- 4 障がいのある方を支援する活動 (手話、点字、要約筆記、軽介助、外出付き添いなど)
- 5 児童の健全育成の活動 (スポーツの指導、子ども会の活動など)
- 6 特技や趣味を活かした交流活動 (手芸、調理、農作業、スポーツ、外国語、パソコン、陶芸など)
- 7 周辺環境を整備する活動 (道路・公園の清掃、リサイクルなど)
- 8 地域の安全を守る活動 (防犯パトロール、子どもの見守りなど)
- 9 災害時の支援などの活動 (物資の寄付、復興支援、災害時要援護者の見守りなど)
- 10 生活困窮者への生活支援 (物資の寄付など)
- 11 特にない
- 12 その他 ()

問35 地域における助け合い、支え合い活動を活発にするためには、どのようなことが重要だと思いますか。(3つまで○)

- 1 地域における福祉活動の意義と重要性をもっとPRする
- 2 地域でボランティアなどの活動の拠点となる場を整備する
- 3 地域における福祉活動の活動費・運営費などの資金的な援助を行う
- 4 ボランティアリーダーや福祉活動に関わる人を育成する
- 5 福祉活動の相談・指導を担当する専門職員の充実を図る
- 6 困っている人と、支援できる人との調整を図る人材を育成する
- 7 困っている人や、助け合いの場や組織についての情報を得やすくする
- 8 介護やボランティア活動の方法などに関する研修を行う
- 9 学校教育や社会教育での福祉教育を充実する
- 10 特にない
- 11 その他 ()

VI. 福祉サービスなどについておたずねします。

問36 あなたは、次の団体や機関、制度、仕組みを知っていますか。(それぞれひとつだけ○)

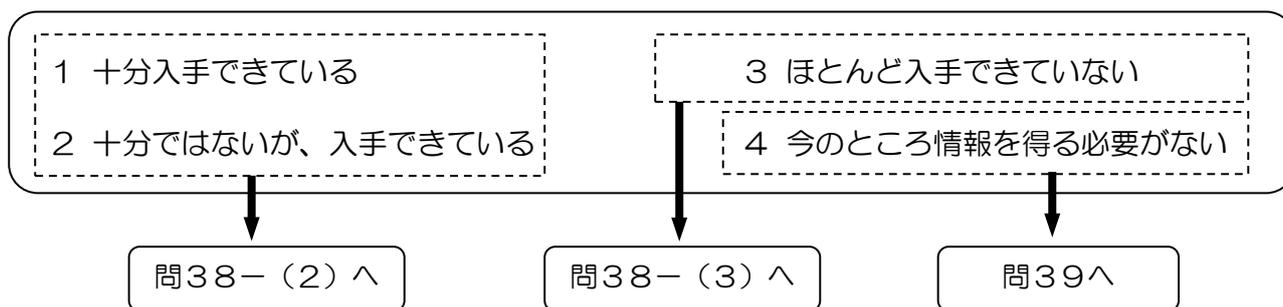
項目	よく 知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	まったく 知らない
①民生委員・児童委員	1	2	3	4
②館林市社会福祉協議会	1	2	3	4
③地域の防災訓練	1	2	3	4
④自主防災組織	1	2	3	4
⑤災害時要援護者登録制度	1	2	3	4
⑥高齢者あんしん相談センター (地域包括支援センター)	1	2	3	4
⑦障がい者相談支援事業所	1	2	3	4
⑧地域包括ケアシステム*	1	2	3	4

※『地域包括ケアシステム』とは、高齢者が住みなれた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援を地域で一体的・包括的に提供する仕組みのことです。

問37 館林市の福祉サービスについてどのように感じていますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 とても充実している | 3 あまり充実していない |
| 2 まあまあ充実している | 4 充実していない |

問38-(1) あなたは、自分に必要な「福祉サービス」の情報をどの程度入手できているとお考えですか。(ひとつだけ○)



(問38- (1) で「1」「2」を選んだ方におたずねします。)

**問38-(2) あなたは、「福祉サービス」に関する情報を主にどこから入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)**

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| 1 市役所の窓口や広報紙 | 7 居宅介護支援事業者(ケアマネジャー)やホームヘルパー |
| 2 民生委員・児童委員 | 8 近所の人・知人・友人 |
| 3 社会福祉協議会 | 9 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ |
| 4 障がい者相談支援事業所 | 10 インターネット |
| 5 地域子育て支援センター | 11 その他() |
| 6 高齢者あんしん相談センター(地域包括支援センター) | |

(問38- (1) で「3」を選んだ方におたずねします。)

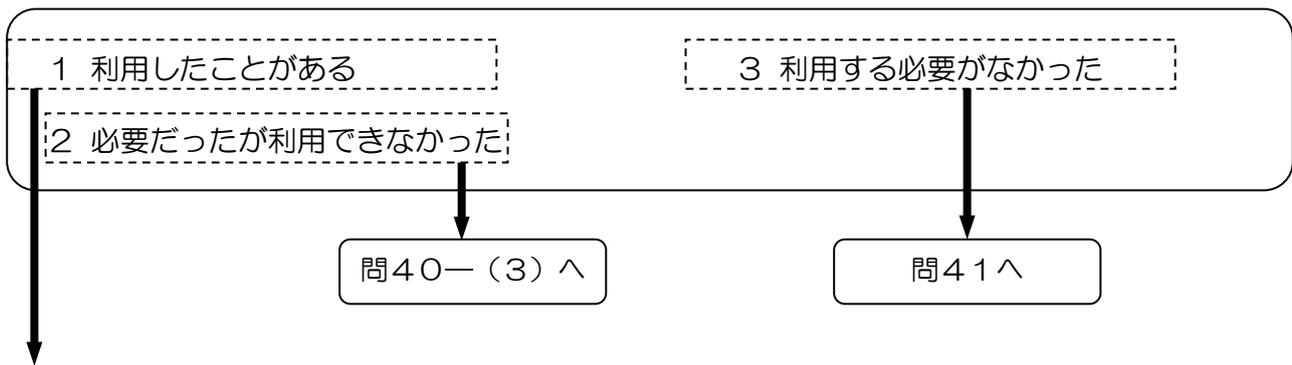
問38-(3) 情報の入手ができていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------|
| 1 パンフレットや広報紙を見る機会が少ない |
| 2 どこへ行けば情報を得られるのか、わからない |
| 3 情報を知っている人が身近にいない |
| 4 情報が難しすぎて、よくわからない |
| 5 情報量が少なすぎる |
| 6 その他() |

問39 館林市の「福祉サービス」に関する情報の提供について、何をもっと充実すべきだと思いますか。(3つまで○)

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| 1 市役所の窓口や広報紙 | 7 居宅介護支援事業者(ケアマネジャー)やホームヘルパー |
| 2 民生委員・児童委員 | 8 近所の人・知人・友人との交流 |
| 3 社会福祉協議会 | 9 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ |
| 4 障がい者相談支援事業所 | 10 インターネット |
| 5 地域子育て支援センター | 11 その他() |
| 6 高齢者あんしん相談センター(地域包括支援センター) | |

問40-(1) あなたは、自分あるいは家族のことで「福祉サービス」を実際に利用したことがありますか。(ひとつだけ○)



(問40-(1)で「1」を選んだ方におたずねします。)

問40-(2) 「福祉サービス」の利用にあたって、何かお困りのことはありましたか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 期待していたサービス内容ではなかった
- 2 利用したい期間(日数)を利用することができなかった
- 3 サービスを利用するための場所が遠く、通うのが不便だった
- 4 サービス提供者などから不当な扱いを受けたり、暴力や差別的発言などを受けたりした
- 5 特になかった
- 6 その他()

(問40-(1)で「2」を選んだ方におたずねします。)

問40-(3) 「福祉サービス」を利用できなかった理由は、下記のどれに該当しますか。(3つまで○)

- 1 家族や親戚への気兼ねがあった
- 2 近所の目が気になった
- 3 他人の世話にはなりたくなかった
- 4 経済的な負担が心配だった
- 5 サービスの内容や利用方法がわからなかった
- 6 必要な福祉サービスを受けることができなかった
- 7 その他()

問41 福祉サービスの利用が必要になったときどこに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族や親戚
- 2 友人や知人
- 3 市役所などの公的機関
- 4 民生委員・児童委員
- 5 高齢者あんしん相談センター(地域包括支援センター)
- 6 ふくし総合相談窓口
- 7 民間福祉団体
- 8 ボランティア団体
- 9 相談するところがない
- 10 相談はしない
- 11 その他()

問42 館林市の保健福祉施策をより充実していくために、あなたが重要と考える取り組みはどれですか。(3つまで○)

- 1 隣近所など、周囲の理解と協力による見守りなどの支援を行う
- 2 ボランティア団体など市民活動への援助を充実させる
- 3 高齢者や障がいのある方が地域で活動できる機会をつくる
- 4 人が集まり、気軽に相談できる場を充実させる
- 5 健康や福祉についての情報提供を充実させる
- 6 住民がお互いに支え合い助け合えるまちづくりをすすめる（住民同士や行政との協力など）
- 7 健康づくりや生きがいづくりがさかんなまちづくりをすすめる
- 8 自宅での生活を支援する在宅福祉サービスを充実させる
- 9 高齢者、障がいのある方、児童の施設サービスを充実させる
- 10 安心して子どもを産み育てられる子育て環境を充実させる
- 11 手当てなど金銭的な援助を充実させる
- 12 交通の利便性の確保をすすめる
- 13 道路の段差解消など、バリアフリー化をすすめる
- 14 その他（ ）

Ⅶ. 成年後見制度についておたずねします。

問43 あなたは「成年後見制度」についてどのくらい知っていますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1 制度を利用、相談したことがある | 3 名前は聞いたことがある |
| 2 名前も内容も知っている | 4 全く知らない |

問44-(1) 今後あなたやあなたの家族が認知症などにより判断する力が衰えたとき、成年後見制度を利用したいと思いませんか。(ひとつだけ○)

1 現在利用している	→ 問45へ	3 利用するつもりはない
2 利用したい		4 わからない

(問44-(1)で「2」を選んだ方におたずねします。)

問44-(3)へ

問44-(2) 後見人は誰になってもらいたいですか。(ひとつだけ○)

- | | |
|-------------------------|----------|
| 1 親・子・兄弟姉妹・配偶者・その他親族 | 4 市民後見人 |
| 2 専門職(弁護士・司法書士・社会福祉士など) | 5 その他() |
| 3 社会福祉協議会 | |

(問44-(1)で「3」「4」を選んだ方におたずねします。)

問44-(3) 選んだ理由は何ですか。(ひとつだけ○)

- | | |
|-------------------------------|---------------------|
| 1 制度をよく知らないから | 5 利用するために費用がかかる |
| 2 利用する必要がなさそうだから | 6 後見人とのやり取りがめんどうだから |
| 3 手続きが難しそうだから | 7 その他() |
| 4 後見人であっても他人に財産管理をされることに抵抗がある | |

問45 市民後見制度を知っていますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1 制度を利用、相談したことがある | 3 名前は聞いたことがある |
| 2 名前も内容も知っている | 4 全く知らない |

問46 市民後見制度を利用したいと思いませんか。(ひとつだけ○)

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1 利用したい | 3 利用したいと思わない |
| 2 今は必要としていないが、将来は利用したい | 4 わからない |

問47 市民後見人について、あなたの考えに最も近いものをお答えください。(ひとつだけ○)

- 1 研修内容や活動の条件次第では、市民後見人になってみたい
- 2 自分自身はなる気はないが、市民後見人という地域で支える仕組み自体は応援したい
- 3 自分自身はなる気はないし、関心もない
- 4 わからない

VIII. 生活困窮者の自立支援についておたずねします。

問48 生活困窮者自立支援制度を知っていますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1 制度を利用、相談したことがある | 3 名前は聞いたことがある |
| 2 名前も内容も知っている | 4 全く知らない |

問49-(1) あなたは生活困窮者の問題や支援について、どのように思いますか。
(ひとつだけ○)

- 1 自身や身近な人に問題を抱える人がいるため、必要な制度である
- 2 自身及び身近な人に問題を抱える人はいないが、必要な制度である
- 3 この制度は必要ない
- 4 生活困窮者の問題や制度に関心がない
- 5 わからない
- 6 その他 ()

(問49-(1)で「1」「2」を選んだ方におたずねします。)

問49-(2) 生活困窮者の自立支援に向けて、市が行うべき支援として望ましいと思うのはどのような取り組みですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 ハローワークなどと連携して仕事を斡旋する
- 2 職業訓練など就業支援
- 3 相談支援窓口の拡充
- 4 企業に就労を受け入れるように働きかける
- 5 生活再建に向けた貸し付けを行う
- 6 生活困窮家庭の子どもたちへの学習支援

問50 地域で生活困窮者を支援する場合、あなたならどのような支援ができると思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 自治会長や民生委員などの地域の代表や支援者に相談する
- 2 行政機関に相談する
- 3 本人または家族などに相談窓口に行くよう促す
- 4 ふくし総合相談窓口で相談する
- 5 地域で支援はできない
- 6 その他 ()

IX. 災害についておたずねします。

問51-(1) あなたは、地震など災害発生時に、誰かの助けを必要としますか。
(ひとつだけ○)

- | | |
|----------|---------|
| 1 必要とする | 3 わからない |
| 2 必要としない | |

(問51-(1)で「1」を選んだ方におたずねします。)

問51-(2) あなたは、災害発生時に助けてもらえる人がいますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

問52へ

(問51-(2)で「1」を選んだ方におたずねします。)

問51-(3) 助けてもらえる人がいる場合、どのような人ですか。(ひとつだけ○)

- | | |
|---------|-------------|
| 1 家族や親戚 | 4 民生委員・児童委員 |
| 2 友人や知人 | 5 その他 () |
| 3 近所の人 | |

問52 災害時に不安に思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族との連絡が取れなくなるのではないかと
- 2 災害についての的確な情報が得られるかと
- 3 避難場所を知らない
- 4 避難場所で病人、高齢者、障がい者、乳幼児に適したケアが受けられるかと
- 5 ペットと一緒に避難は可能かと
- 6 避難場所までひとりで行けない
- 7 必要な物資を手に入れられるか不安
- 8 不安に思うことは特にないと
- 9 その他 ()

問53 あなたは、災害時の対策として、地域でどのような備えをしておくことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 災害時に支援を必要とする人の把握
- 2 災害時に支援を必要とする人と面談して避難方法の確認をする(個別避難計画の作成)
- 3 支援する人(支援者)の確保
- 4 地域での防災訓練・避難訓練の実施
- 5 防災マップの作成
- 6 自主防災組織の運営
- 7 災害時に活躍できるボランティアの育成
- 8 高齢者や乳幼児などの要支援者に必要な物資の備蓄
- 9 地区防災計画の作成
- 10 その他 ()

- 館林市を『安心して暮らせるまち』にするには何が必要だと思いますか。何かご意見などがございましたら、ご自由にお書きください。

あなたができること、地域で取り組むべきことなど、なんでも結構です。

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、9月9日（木）までに、

同封の封筒に入れて無記名で切手を貼らずにポストに投函してください。

※すでに、パソコン、スマートフォン、タブレットを利用し、インターネット回答をされている方は、この調査票へのご記入や投函は不要です。

「館林市地域福祉計画」及び「館林市障がい者計画」
に関するアンケート調査報告書

発行年月／令和4年2月

発行／館林市

編集／館林市 社会福祉課 社会係

〒374-8501 群馬県館林市城町1-1

TEL : 0276 (47) 5127 (直通)

FAX : 0276 (72) 4210
